

依那古小学校統合改修工事（建築主体工事）

図面リスト

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
KA-01	特記仕様書(改修)1	KA-34	(校舎) 校長室平面詳細図(改修前後)	OA-01	特記仕様書(改修)1	G-01	門扉1詳細図
KA-02	特記仕様書(改修)2	KA-35	(校舎) 職員室他平面詳細図・展開図(改修前後)	OA-02	特記仕様書(改修)2	G-02	門扉2詳細図
KA-03	特記仕様書(改修)3	KA-36	(校舎) 音楽室平面詳細図	OA-03	特記仕様書(改修)3	G-03	外構平面図(改修前)
KA-04	特記仕様書(改修)4	KA-37	(校舎) 1階天井伏図(改修前後)	OA-04	特記仕様書(改修)4	G-04	外構平面図(改修後)
KA-05	特記仕様書(改修)5	KA-38	(校舎) 2階天井伏図(改修前後)	OA-05	特記仕様書(改修)5	G-05	外構撤去図
KA-06	(現況)配置図	KA-39	(校舎) 3階PH階天井伏図(改修前後)	OA-06	(屋内運動場) 仕上表(改修前後)		
KA-07	(校舎) 仮設計画図1	KA-40	(校舎) 1階・2階キープラン	OA-07	(屋内運動場・外構) 配置図・付近見取り図 ・仮設計画図(改修前後)		
KA-08	(校舎) 仮設計画図2	KA-41	(校舎) 3階・R階キープラン	OA-08	(屋内運動場) 1階平面図(改修前)		
KA-09	(校舎) 仕上表1	KA-42	(校舎) 建具表1(既設改修)	OA-09	(屋内運動場) 1階平面図(改修後)		
KA-10	(校舎) 仕上表2	KA-43	(校舎) 建具表2(既設改修)	OA-10	(屋内運動場) キーリ-部平面図		
KA-11	(校舎) 1階平面図(改修前後)	KA-44	(校舎) 建具表3(既設改修)	OA-11	(屋内運動場) 立面図1		
KA-12	(校舎) 2階平面図(改修前後)	KA-45	(校舎) 建具表4(既設改修・新設)	OA-12	(屋内運動場) 立面図2		
KA-13	(校舎) 3階平面図(改修前後)	KA-46	(校舎) 建具表5(新設)	OA-13	(屋内運動場) 断面図		
KA-14	(校舎) R階平面図(改修前後)	KA-47	(校舎) 外壁調査結果図1	OA-14	(屋内運動場) 矩計図1		
KA-15	(校舎) 立面図1	KA-48	(校舎) 外壁調査結果図2	OA-15	(屋内運動場) 矩計図2		
KA-16	(校舎) 立面図2	KA-49	(校舎) アルミサッシ(カバー-工法) 部分詳細図	OA-16	(屋内運動場) 体育室展開図1		
KA-17	(校舎) 断面詳細図1 普通教室部	KA-50	(校舎) 防水工事詳細図	OA-17	(屋内運動場) 体育室展開図2		
KA-18	(校舎) 断面詳細図2 廊下(手洗場)部			OA-18	(屋内運動場) 体育室展開図3		
KA-19	(校舎) 断面詳細図3 玄関部			OA-19	(屋内運動場) 体育室展開図4		
KA-20	(校舎) 断面詳細図4 生徒用便所部			OA-20	(屋内運動場) 1階天井伏図		
KA-21	(校舎) 階段詳細図			OA-21	(屋内運動場) 2階天井伏図		
KA-22	(校舎) 普通教室平面詳細図・展開図			OA-22	(屋内運動場) 建具表		
KA-23	(校舎) 生徒用便所平面詳細図(改修前後)			OA-23	(屋内運動場) 体育用具室A平面詳細図・展開図(改修前)		
KA-24	(校舎) 生徒用便所展開図1(改修前)			OA-24	(屋内運動場) 体育用具室A・多目的ホール平面詳細図・展開図(改修後)		
KA-25	(校舎) 生徒用便所展開図2(改修後)			OA-25	(屋内運動場) 玄関平面詳細図・断面詳細図(改修前後)		
KA-26	(校舎) 生徒用便所展開図3(改修後)						
KA-27	(校舎) 玄関平面詳細図(改修前後)						
KA-28	(校舎) 理科室平面詳細図(改修前後)						
KA-29	(校舎) 理科室家具詳細図						
KA-30	(校舎) 給食堂廻り平面詳細図(改修前後)						
KA-31	(校舎) 給食堂展開図						
KA-32	(校舎) 給食婦室・便所展開図(改修前)						
KA-33	(校舎) カウンセリングルーム・便所展開図(改修後)						

工事特記仕様書(改修)	
I. 工事名称	依那古小学校統合改修工事(建築主体工事)
II. 工事概要	
1 工事場所	三重県伊勢市津265地内
2 敷地面積	13.579/100㎡
III. 工事内容	
種名称	校舎棟 屋内運動場
構造	RC造3階建 S1階1階建
建築面積	2,395㎡ 563㎡
延べ面積	2,395㎡ 563㎡
工事項目	外部工事、内部工事、学校統合に伴う改修、その他 ※屋内運動場、外構の特記仕様書は別紙による。(O-A)～
III. 建築改修工事仕様	
1 共通仕様	
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、「三重県公共工事共通仕様書 令和2年8月改定版」及び「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編) 平成31年版(以下「改修標準仕様書」という。)」による。	

- 2 特記仕様
- (1) 項目は、番号にO印の付いたものを適用する。
 - (2) 特記事項は、O印の付いたものを適用する。
 - (3) 項目欄に記載の() 内表示番号は改修標準仕様書の該当項目を示す。

章	項目	特記事項
---	----	------

1 一般共通事項	1 適用基準等	1) 公共建築工事標準仕様書(建築工事編) 国土交通大臣官庁官庁整備部編修(平成31年版) 2) 建築工事標準詳細図 国土交通大臣官庁官庁整備部編修(平成28年版)
	2 施工条件 (1.3.5)	○ 監督員と協議し決定する。 施工可能日 ・ 指定なし ・ 一部は、土、日曜日、祝祭日施工あり 施工可能時間帯 ・ 指定なし ・ 時～時 概成工期 ・ 指定なし ・ 年 月 日
	3 部分引渡し、部分使用	・ 部分引き渡しあり ・ 部分使用あり 指定部分() 時 期(平成 年 月 日～)
	4 埋蔵文化財調査	埋蔵文化財の調査が行われる場合は協力すること。 発掘調査等の実施あり ・ 発見された場合、発掘調査等の実施あり

5 発生材の処理等 (1.3.12)

○ 本工事は、その施工に特定建設資材を使用する新築工事等であって、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」(平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。)施行令で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事であるため、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適切な措置を講ずることとする。
工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難い場合は、監督員と協議するものとする。

分別解体等の方法		分別解体等の方法	
工程	作業の有無	作業の有無	分別解体等の方法
造成等	○ 有 ・ 無	○ 有 ・ 無	○ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用
基礎・基礎ぐい	○ 有 ・ 無	○ 有 ・ 無	○ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用
上部構造部分・外装	○ 有 ・ 無	○ 有 ・ 無	○ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用
屋根	○ 有 ・ 無	○ 有 ・ 無	○ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用
建築設備・内装等	○ 有 ・ 無	○ 有 ・ 無	○ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用
その他 ()	○ 有 ・ 無	○ 有 ・ 無	○ 手作業 ○ 手作業、機械作業の併用

- ・ 引き渡しを要するもの ○ 有 ()
- ・ 特別管理産業廃棄物 ○ 有 () 処理方法()
- 水銀使用製品産業廃棄物 ○ 有 () 蛍光灯ランプ ○ HIDランプ ()
- 現場において再利用されるもの ○ ()
- 再資源化を図るもの ○ コンクリート塊 ○ アスファルトコンクリート塊 ○ 建設発生木材

引渡を要するもの、再資源化を図るものについては調査書を作成し、監督員へ提出すること。
引渡を要するもの以外のものは、全て構外に搬出し、建設リサイクル法、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令によるほか、「建設副産物適正処理推進要綱」に従い適切に処理し、監督員に報告すること。
成形板等の解体・撤去にあたっては、事前に石巻倉庫に係る施工調査を行う。倉庫が有明した等の場合、改修標準仕様書(9.1.5)に従い処理する。

6 建設副産物情報交換システムの利用

再生資源の利用又は建設副産物の搬出がある場合、発注者は受注時において工事請負代金が一億円以上の工事については、工事着手前及び工事完了後に「再生資源利用計画書(実施書)」、「再生資源利用促進計画書(実施書)」を監督員に提出することとし、工事着手前にはAGICが運営する「建設副産物情報交換システム」へデータを入力し、工事完了時にシステムへ実績報告を行うこと。

7 三重県産業廃棄物

本工事は産業廃棄物処理計画が計上されていないため、発注者が対象となった場合には完成年度毎の年度年度の4月1日から8月31日までの間に別記の形式に産業廃棄物処理証明書添付して当該工事の発注者に対して支払請求を行うことができる。
なお、この期間を超えて請求することはできない。また、産業廃棄物処理集計表(マニフェストの数量の集計)を超えて請求することはできない。

8 電気保安技術者 (1.3.3)

配置する

9 技能士 (1.6.2)

職種別に可能なものについては、積極的に活用すること。

10 施工数量調査 (1.5.2)

調査範囲及び調査方法 ○ 工種別の特記による

11 調査のための破壊部分の補修 (1.5.3)

補修方法 ・ 図示(図面番号:) ・ ()

- 12 建築材料等
- 1) 本工事に使用する建築材料等は、設計図書に定める品質及び性能を有する新品とするほか「建築材料・設備機材等品質性能評価事業建築材料等評価名簿」(最新版)(以下「評価名簿」という。)と同等とする。品質が求められる水準以上であれば、県内生産品の優先使用に努めること。
 - 2) 本工事で使用する建設材料の調達にあたっては、権力圏内取扱業者から購入するよう努めること。
 - 3) 製材等、フローリング又は再生木質ボードを使用する場合は、三重県「環境物品等の調達方針」に従い、あらかじめ「木材・木製製品の合法性、持続可能性の証明のためのガイドライン」に準拠した証明書等、監督員へ提出すること。
 - 4) 本工事に使用する木材は、品質が求められる水準以上であれば、「三重の木」利用推進協議会が認定する「三重の木」やあか材材認証機構が認定する「あか材」の優先利用に努めること。
 - 5) 本工事に使用する建築材料の木目ムルムル材で取換等は、「F☆☆☆☆以上とする。
 - 6) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進委員会に基づき認定製品を使用する。ただし認定製品が入手できない場合は、監督員と別途協議を行うこと。
(認定製品の品名:)
 - 7) 下記製品を本工事で使用する場合は、三重県リサイクル製品利用推進委員会に基づき認定製品を使用するよう努める。
認定製品の品名: ・ 間伐材製工事用バリケード ・ 間伐材工事用パネル ・ 間伐材指示板 ・ ()

測定対象化学物質(●で示したものをとする。)

用途	指定用途	4447757F	トルエン	キシレン	エチルベンゼン	スチレン	15922542V
学校、教育施設		●	●	●	●	●	●
住宅		●	●	●	●	●	●
その他		●	●	●	●	●	●

測定対象室及び測定個所数 ・ 図示(図面番号:) ・ ()
測定方法(・ パツツ法 ・ アクティブ法)
測定時期()
報告書提出回数 2部

14 特別な材料の工法

改修標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は当該製品の指定工法による。

15 騒音・振動の防止

低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規程に基づき指定された建設機械の使用に努めること。

16 工事写真 (1.2.4)

写真等写真撮影要領(国土交通大臣官庁官庁整備部(平成31年版))に従い撮影すること。
なお、デジタル工事写真の集約情報電子化を行う場合は、「デジタル工事写真の集約情報電子化について(平成29年3月1日付付内閣審議第211号)」による。

17 完成図等 (1.8.2)

作成する() 完成図 ○ 保全に関する資料 ・ ()
A2. A3製本別付け 各2部
完成図はCADにより作成することとし、著作権(著作権法第27条及び第28条に規定する権利を含む)にかかる使用権は発注者に移譲するものとする。

18 完成写真

デジタルカメラで撮影し、全てA4版相当サイズで印刷する。(A4版用紙に1ページあたり3枚) 1部
箇所数は外観4面各2面程度とし、規定の箇所数が確保できない場合には、監督員と協議すること。
・ アルム(大きさ335mm×230mm程度、カラー) 1部

19 電子納品

工事写真等は、「管理工事に係る電子納品マニュアル(デジタル工事写真編)」等に基づき電子媒体も提出すること。
(提出回数 ・ 3部 ・ 部)
工事完成図書は、「管理工事に係る電子納品マニュアル(デジタル工事完成図書編)」に基づき電子媒体も提出すること。
(提出回数 ○ 3部 ・ 部)

20 設備工事との取合い

施工範囲
・ 図示した鉄筋コンクリート部の貫通孔・開口部の補修
・ 図示した壁・天井の仕上材・下地材の切込み及び補強
・ 自動昇降装置取付け箇所の切込み及び補強
・ 電動装置が駆動による建具等の2次側の配管・配線及び操作スイッチ

21 既存部分等への取合い (1.3.13)

施工工事に際し、既存部分を汚損した場合は又は損傷した場合は、監督職員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修する。

22 事故の発生時

工事の施工中に事故が発生した場合には、直ちに監督員に通報するとともに、所定の様式により工事事故発生報告書を監督員が指示する期日までに、監督員に提出することとし、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。
また、事故発生後の措置について監督員と協議を行うとともに、当該事故に係る状況聴取、調査、検証等に協力すること。

23 下請次数制限

本工事における下請の次数は、2次(建築一式工事は3次)までとする。なお、その次数を超える下請契約を締結する場合は、下請契約締結前に書面により発注者の承諾を得ること。
本工事に於いて、下請契約を締結する場合は、当該契約の相手方(2次以下での請負人を含む)を三重県内に本店(建設業法において規定する主たる営業所を含む)を有する者の中から選定するよう努めること。また、工事場所を所管する建設事務所管内又は所管する建設事務所管内に本店(建設業法において規定する主たる営業所を含む)を有する者を優先して選定するよう努めること。なお、県外企業を下請契約の相手方と選定する場合は、下請契約締結前に書面により発注者に報告を行うこと。
本工事で提案不履行があった場合は、本工事完成年度の受入年度に総合評価方式で発注する案件(以下「発注工事」という。)で、貴社の評価値において発注工事の加算点(満点)の1割を減点します。

24 総合評価方式 ※別記

25 不当介入を受けた場合の措置

暴力団員等による不当介入(三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第4号)を受けた場合の措置については、発注者は暴力団員等(三重県公共工事等暴力団等排除措置要綱第2条第1項第2号)による不当介入を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、不当介入があった時点で速やかに三重県警察本部と通報を行うとともに、捜査に必要な協力を行うこと。
1) 1)により三重県警察本部と通報を行うとともに、捜査に必要な協力を行った場合には、速やかに報告者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。
2) 2) 1)により三重県警察本部と通報を行うとともに、捜査に必要な協力を行った場合には、速やかに報告者に報告すること。発注者への報告は必ず文書で行うこと。
3) 受注者は暴力団員等により不当介入を受けたことから工程上遅れが生じる等の被害が生じた場合は、発注者と協議を行うこと。

26 消防法関係の手続き

- 1) 消火器に係る消防用設備等設置届出書の作成
・ 本工事(・ 建築工事 ・ 電気設備工事 ・ 機械設備工事) ・ 別途工事
- 2) 防火対象物使用開始届出書
書類の作成(電気設備図面の作成及び電気設備に関する部分の記入)を行うこと。

27 主任技術者又は監理技術者

1) 技術者要件
工事現場に配置する主任技術者又は監理技術者は、本工事の入札公告で定める技術者要件を満たす者としなければならない。
2) 専任を要しない期間
(1) 現場施工に着手するまでの期間
請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間(現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまでの期間)については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、現場施工に着手する日については、請負契約締結後、監督員との打合せにおいて定める。
(2) 検査終了後の期間
検査完成後、検査が終了し(発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。)、事務手続、後片付け等のみが残っている期間については、主任技術者又は監理技術者の工事現場への専任を要しない。なお、検査が終了した日は、発注者が工事の完成を確認した日。発注者に通知した日とする。

28 工事の一時中止

工事の一時中止の取り扱いについては「工事の一時中止のガイドライン(案)」(平成27年6月 国土交通省)による。
三重県建設工事契約書第20条の規定により工事の一時中止の通知を受けた場合は、中間期間中における工事現場の管理に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承認を受けるものとする。
なお、基本計画書には、中止時点における工事の出来形、職員の体制、労働者数、搬入材料及び建設機械等員の確認に関する計画(以下「基本計画書」という。)を発注者に提出し、承認を受けるものとする。
工事の施工を一時中止する場合は、工事の続行に備え工事現場を保全すること。

29 労働安全衛生法に基づく労働安全衛生法第30条第1項に規定する措置を講ずる必要がある場合、その措置を講ずべきとして、同法第30条第2項の規定に基づき、本工事の請負者を指名する。この場合における指名への同意は、本工事の請負契約を締結することにより得られたものとみなす。

30 建築基準法に基づき定まる風圧及び積雪荷重

建築基準法に基づき定められた区分等
基準風速 V=34 m/s
地面粗度区分(・ II ・ III)
積雪区分(・ II)

31 火災保険等

三重県建設工事請負契約書5条第1項の規定により、火災保険、建設工事保険又はその他の保険等に加入し、その加入証券等を示さなければならない。
1) 保険の目的物 工事目的物及び工事材料(給付料を含む)
2) 保険の加入期間 工事着手後速やかに加入し、完成引渡しまでの間
3) 保険金額 原則として請負金額に相当する金額

32 不正経路の使用の禁止

1) 一般事項
県工事の施工にあたり、工事現場で使用し、又は使用させる車両(資機材等の搬入車両を含む。)並びに建設機械等の燃料として、不正経路(地方税法第14条の32(製造等の承認を受ける義務等)の規定に違反する燃料をいう。)を使用してはならない。
2) 調査の協力
受注者は、県が使用燃料の採油調査を行う場合には、その調査に協力しなければならない。また、受注者は下請負者等と同調査に協力するよう管理及び監督しなければならない。
3) 是正措置
受注者は、不正経路の使用が判明した場合は、速やかに是正措置を講じなければならない。また、受注者は下請負者等に不正経路の使用が判明した場合は速やかに是正措置を講じるよう管理及び監督しなければならない。

33 技術検査

中間技術検査
実施回数 回
実施する段階 ()

34 保全に関する資料

・ 2部 ・ ()

35 屋外広告物

屋外広告物を設置する場合は、「三重県屋外広告物条例」第23条に規定する屋外広告物の登録事業者であること。

36 社会保険等未加入対策

適用除外でないにも関わらず、社会保険等に未加入である建設業者を下請負人としてはならない。
受注者は、施工体制台帳、再下請負通知書の「健康保険等の加入状況」欄により下請業者が社会保険等に加入しているかどうかを確認すること。また、発注者が加入状況を確認する旨の提出又は提示を求めた場合、速やかに対応すること。
受注者は、工事中の適切な安全確保の措置等一切の手続きについて、自らの責任において定め、工事を実施すること。設計図書に明示された施工条件と工事現場が一致せず、安全確保のために指定図書の変更や計上が必要な場合は、監督員と協議を行い、指示を受けた後、発注者として適切な安全確保の措置を講じたうえで、工事を実施すること。

37 電子メールの活用

「電子メールを活用した情報共有における実施要領 令和元年7月」を適用する。
(三重県HP「三重県の公共事業情報」を参照)

38 図取図書の照査

三重県公共工事共通仕様書第1編1章1-1-3 2.設計図書の照査に基づく照査を実施すること。また、照査の実施において、契約書第18条第1項から4号に該当する事実がない場合についても、その旨を監督員に報告すること。
なお、監督員の請求があった場合は、照査の実績が確認できる資料を提示すること。

2 仮設工事

1 騒音・粉じん等の対策 (2.1.3)

- ・ 防音パネル 設置範囲 ・ 図示(図面番号:)
- ・ 防音シート 設置範囲 ・ 図示(図面番号:)

2 足場 (2.2.1)

足場を設ける場合には、「手すり先行工法等に関するガイドライン」によるものとし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、同ガイドラインの別紙「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり設置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。
外部足場 ○ 設置する(設置範囲) ○ 工事に必要な範囲() ・ 設置しない
防護シート ○ 設置する(設置範囲) ○ 工事に必要な範囲() ・ 設置しない
内部足場 ○ 設置する(○加圧足場) ・ 設置しない

3 既存部分の養生 (2.3.1)

既存部分の養生 ○ 図示(図面番号: A-)
既存ブランド・カーテンの養生 ○ 図示(図面番号:)
養生方法(・ 養生シート ・ 養生シート ・ 養生シート ・ 養生シート ・ 養生シート ・ 養生シート ・ 養生シート)
搬入された機材、机、ロッカーの移動 ○ 行方 行わない

4 仮設閉じ切り (2.3.2) (表2.3.1)

屋内の仮設閉じ切り ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種)
合板 厚さ ・ 9mm
セッコウボード 厚さ ・ 9.5mm
合板又はセッコウボードの建築 ・ 行方 行わない
仮設扉 ○ 図示(図面番号:)
設置 ・ 図示(図面番号:)
合板張り木製扉 ・ ()

5 監督員事務所 (2.4.1)

- ・ 構内建物内の一部を使用する。
- ・ 設置する
- ・ 監督員事務所の規模(単位:m)

項目	10程度	20程度	35程度	65程度	100程度
採採					

監督員事務所の仕上

部 位	等	仕 上 げ
内装	等	合板張り又はビニール床シート張り
内装	等	合板張り又はセッコウボード張り、合成樹脂エマルジョン塗り
屋根	等	塗料粘着剤めっき鋼板張り、又は鉄板張り、鋼合板ペイント塗り

6 その他 設備、備品等

・ 本工事で設置する仮囲い、鉄板、足場等の仮設物は、別途発注の電気設備・機械設備工事業者へ無償利用させること。

特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事				承認	後回	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-01
	図面名称	特記仕様書(改修) 1				縮尺	(A2) NS	(A3) NS			訂正年月日		

2 仮設工事

7 仮設場所
8 工事用水
9 工事用電力
10 交通誘導警備員

3 防水改修工事

1 アスファルト防水 (3.3.3) (表3.3.3)~(表3.3.10)

改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ()

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.3.3)~(表3.3.9)による ()

断熱工法の断熱材 (PIB1, F2A1, T1B1, P0D1, M3D1, M4D1)
材質 ()
・ 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA (スキャンあり)
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種1号
・ 硬質ウレタンフォーム断熱材2種2号
厚さ ()
ルーフトレンドリ回り及び立上り部周断熱材の張りじまい位置 図示 (図面番号:)

3.3.3(2)(4) (3.3.3)(3)

断気装置 (M3D, P0D, P0D1, M3D1, M4D1)
・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ())
・ 設けない
・ 仕上塗料 種類 () 使用量 ()

3.3.5 (表8.1.5)

保護コンクリートの厚さ こと仕上げ ・ 水下80mm以上 ()
床タイル張り ・ 水下60mm以上 ()
こと仕上げの場合のコンクリートの平たんさ ・ a種 ・ b種 ・ c種
保護層 ・ 設ける ・ 設けない
立上り保護 ・ 適用する
乾式保護材 ()
・ れんが(材質 ・ JIS R1250)

2 改質アスファルトシート防水 (3.4.2)

改質アスファルトシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ()

粘着層付改質アスファルトシート及び部分粘着層付改質アスファルトシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.4.1)~(表3.4.3)による ()

断熱工法の断熱材 (M3A1, M4A1, P0A1)
材質、厚さ ()
図示 ()

3.4.3 (表3.4.3)~(表3.4.3)

工法 種類 種類 施工箇所 仕上塗料
・ M3A1 ・ AS-T1 ・ AS-T2
・ AS-2

断気装置
・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ())
・ 設けない

ルーフィングシート
種類 ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)~(表3.5.3)による ()
厚さ ・ 改修標準仕様書(表3.5.1)~(表3.5.3)による ()

絶縁用シート ・ 発泡ポリエチレンシート
固定金具の材質及び寸法形状 図示 ()
断熱工法の断熱材 (P0S1, S4S1, S3S1, M4S1)
材質、厚さ ()
図示 ()

3.5.3 (表3.5.1)~(表3.5.3)

工法 種類 種類 仕上塗料
・ S3S1 ・ S-F1(S1-F1)
・ S3S1 ・ S-F2(S1-F2)

3.5.3 (表3.5.3)

断気装置
・ 設ける (設置数量 ・ 図示 (図面番号:)、材質 ())
・ 設けない

3.5.4 (表3.5.4)

既存防水層下層がPCコンクリート部材の場合
目地処理 図示 (図面番号:)
増張り 図示 (図面番号:)
保護層の施工 図示 (図面番号:)

4 塗膜防水 (表3.6.1) (表3.6.1) (表3.6.1)

断気装置
・ 設ける (設置数量 図示 (図面番号: KA-38.39)、材質 (ステンレス))
・ 設けない

3.6.3(2)

工法 種類 種類 施工箇所 仕上塗料
・ P1Y ・ X-1 ○ X-2
・ P2Y ・ Y-2

保護層 図示 (図面番号:)

5 既存防水層面の仕上塗料の除去 (3.2.6)(3)(4) (3.2.6)(3)(4)

6 シーリング (表3.7.1) (3.7.4)~(3.7.8)

7 とい (表3.8.1) (表3.8.2)

8 アルミニウム製窓木 (表3.9.1) (3.9.3)(2) (3.9.3)(4) (3.9.3)

4 外壁改修工事

1 施工数量調査
○ 行う ・ 行わない
調査範囲 ○ 全面 ()
調査項目 ○ ひび割れ部 (幅0.2mm ○ 0.3mm~1.0mm ○ 1.0mm以上)
○ はがれ及びはく落部分
○ 浮き部
調査方法 ○ 打診、目視及びクラックスケール等 (○ 足場 ・ Gondra)
報告書 2部 (立面図等に記載、必要に応じて写真添付)

2 改修工法の種類 (4.1.4) (4.1.5)

※図示による [既設外壁仕上材: 珪藻土含有品]

外壁	種類	改修工法
・ コンクリート打抜き 仕上り外壁	ひび割れ部 欠損部	・ 樹脂注入工法 ・ シール工法
○ モルタル塗り仕上り外壁	ひび割れ部 欠損部 浮き部	○ 樹脂注入工法 ○ Uカットシール材充填工法 ○ シール工法 ○ 充填工法 ○ モルタル塗替え工法 ○ アンカーピンニング ○ 部分エポキシ樹脂注入工法 ○ 全面エポキシ樹脂注入工法 ○ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ○ 注入口付アンカーピンニング ○ 部分エポキシ樹脂注入工法 ○ 全面エポキシ樹脂注入工法 ○ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ○ 充填工法 ○ モルタル塗替え工法 ○ 樹脂注入工法 ○ Uカットシール材充填工法 ○ タイル部分張替え工法 ○ タイル張替え工法
・ タイル張り仕上り外壁	ひび割れ部 欠損部 浮き部 目地	・ アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面ポリマーセメントスラリー注入工法 ・ 注入口付アンカーピンニング ・ 部分エポキシ樹脂注入工法 ・ 全面エポキシ樹脂注入工法 ・ エポキシ樹脂注入工法 ・ タイル部分張替え工法 ・ タイル張替え工法 ・ 目地ひび割れ部改修工法 ・ 伸縮調整目地改修工法
○ 塗り仕上り外壁	新規仕上げ	・ 薄付け仕上塗料塗り ・ 厚付け仕上塗料塗り ○ 復原仕上塗料塗り [給食室内壁のみ] ・ 可とう形改修用仕上塗料塗り ・ 各種塗料塗り ・ マスチック塗料塗り ○ 外壁用塗膜防水材塗り

3 改修工法等 (4.2.2)(1) (4.3.4) (4.4.5) (4.5.5)

○ 樹脂注入工法
種類 ○ 自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 [給食室内壁のみ]
注入量 (メーカー仕様による) 注入間隔 (メーカー仕様による)
・ 手動式エポキシ樹脂注入工法
注入量 () 注入間隔 ()
・ 機械式エポキシ樹脂注入工法
注入量 () 注入間隔 ()
材料 エポキシ樹脂JIS A8024(建築修繕用注入エポキシ樹脂)
○ 低粘度形 ・ 中粘度形
コア採取検査 ・ 行う ○ 行わない
・ 採取回数 ()
・ 採取部分補修方法 ()

(4.2.2)(2) (4.3.5) (4.4.6) (4.5.6)

○ Uカットシール材充填工法 [給食室内壁のみ]
材料 ○ シーリング用材料
(・ PU-1 ○ PU-2 ())
・ 可とう性エポキシ樹脂充填
シーリング材の上にポリマーセメントモルタル充填
○ 行う ・ 行わない

(4.2.2)(3) (4.3.6) (4.4.7)

・ シール工法
材料 ・ パテ付エポキシ樹脂
・ 可とう性エポキシ樹脂

(4.2.2)(4) (4.3.7) (4.4.8)

・ 充填工法
材料 ・ エポキシ樹脂モルタル
・ ポリマーセメントモルタル

(4.2.2)(7) (4.4.9)

・ モルタル塗替え工法
材料 ・ 既設適合材料
・ 既設目地材の適用及び形状 ()
・ 仕上げ厚 ()

(4.2.2)(5) (4.4.10) (表4.4.1)

○ アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [外壁浮き部]
アンカーピンニングの本数 ○ 標準 ○ 指定部分(見上げ面、底の鼻先面等): 25本/m² 狭幅部: 巾中央に'x'φ200)
材料 ○ ステンレス鋼 (SUS304) ()

(4.2.2)(5) (4.4.11) (表4.4.2)

・ アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
アンカーピンニングの本数及び注入口の数 ・ 標準 ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ()

(4.2.2)(5) (4.4.12) (表4.4.2)

○ 注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法 [外壁浮き部]
注入口付アンカーピンニングの本数 ○ 標準 ○ 指定部分(見上げ面、底の鼻先面等) 16本/m² 狭幅部: 巾中央に'x'φ200)
材料 ○ ステンレス鋼 (SUS304) ()
呼び径 ・ 6mm ()

(4.2.2)(6) (4.4.13) (表4.4.3)

・ 注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンニングの本数及び注入口の数 ・ 標準 ()
材料 ・ ステンレス鋼 (SUS304) ()
呼び径 ・ 6mm ()

(4.2.2)(8) (4.5.7)

・ タイル部分張替え工法
張替え材料 ・ ポリマーセメントモルタル
・ 接着剤 (一液反応硬化形変成シリコーン樹脂) ()

施工箇所	形状	工法	耐清り性	標準・特注色の別	耐薬害性の有無

(4.2.2)(8) (表4.5.8)

○ タイル張替え工法
工法 塗り厚(mm)
・ 密着張り ○ 改良積み上げ張り 5~8
・ 改良圧着張り 下地側 4~6
・ モザイクタイル貼り 3~4

(4.5.15)

・ 注入口付アンカーピンニングエポキシ樹脂注入工法
注入口付アンカーピンニングの本数 (本)

(4.2.2)(9) (4.5.16)

・ 目地ひび割れ部改修工法
伸縮調整目地改修工法
伸縮調整目地
(位置 寸法 ×)
検査 シーリング接着性試験
・ 行う (・ 簡易接着性試験 ・ 引張接着性試験)

4	塗り仕上げ (表4.2.1(10) (表4.2.4(その1) (その2))	種 類	呼び名	仕上げ形状	工法		
	薄付け仕上塗材	・ 外装薄塗材E	・ 砂壁状	吹付け			
			・ 砂す肌状				
	厚付け仕上塗材	・ 外装厚塗材C	・ 平たん状	こて			
			・ 凹凸状				
	複層仕上塗材 [給食室内壁]	・ 複層塗材E ・ 複層塗材E ・ 防水形複層塗材E ・ 防水形複層塗材E	・ 砂す肌状	ローラー			
			・ 凹凸状	吹付け			
	可とう形改修用 仕上塗材	・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材E ・ 可とう形改修塗材E	・ 平たん状	ローラー			
			・ 凹凸状	吹付け			
	(表4.2.5)	(表4.7.1)	・ 外装厚塗材Cの上塗材がセメントスタッコ以外の場合 材所要量 (kg/m ²)				
・ マスチック塗料塗り ・ A種 ・ B種							
5	建具 改修工事	複層仕上塗材及び可とう形改修塗材の上塗材の種類					
		樹脂種類	溶媒種類	外 観			
		・ アクリル系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック			
		・ シリカ系	・ 水系	・ 艶有 ・ 艶無			
		・ ポリウレタン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック			
		・ アクリル シリコン系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無			
		・ ふっ素系	・ 溶剤系	・ 艶有 ・ 艶無 ・ メタリック			
		(注) 艶無及びメタリックは、可とう形複層塗材、防水形複層塗材、及び可とう形改修塗材には適用しない。					
		外壁用塗膜防水材の仕上げの形状及び工法					
		種類	仕上げの形状	工法			
外壁用塗膜防水材	・ 凹凸状	・ 吹付け					
	・ 凹凸処理						
	・ 砂す肌状	・ ローラー					
	・ さざ波状						
6	既存塗膜等の除去及び下地処理	工法					
		・ サンダー工法					
		・ 高圧水洗工法					
		・ 高圧水蒸気工法					
		・ 水洗い工法 (○) デッキブラシ ・ 高圧ポンプ					
		・ 下地調整					
		○ C-1 ・ C-2 ・ CM-2 ・ E ・ ()					
		1	改修工 (表5.1.3)	○ かぶせ工法			
				○ カバー工法 ・ 持出し工法 ・ ノンシール工法			
		2	防火戸 (表5.1.4)	・ 撤去工法			
・ はつり工法 ・ 引抜き工法							
3	見本の製作 (表5.1.5)	・ 例示仕様 ・ 個別認定 (認定番号:)					
		・ 自動閉鎖機構 ・ 図示 (図面番号:)					
4	防犯補助部品 (表5.1.7)	・ 製作する ・ 製作しない					
		・ 図示 (図面番号:)					
5	ブラインドボックス等 (表5.1.6(3))	○ 再使用する ・ 再使用しない					
7	アルミニウム製 建具 (表5.2.2) (表5.2.4) (表5.2.1) (表5.2.2)	外部建具の性能等級等 ・ A種 ・ B種 ・ C種					
		・ 枠の見込み寸法 ・ 70mm ・ ()					
		・ 防音ドアセット、防音サッシ (等級)					
		・ 断熱ドアセット、断熱サッシ (等級)					
		・ 耐震ドアセット (等級)					
		・ 結露水の処理方法 ・ 図示 (図面番号:)					
		アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理の種類					
		・ 外部に面する建具 (過酷な環境の除外)					
		・ BA-1 ・ BA-2 ・ ()					
		・ 内部に面する建具 (一般的な環境の除外)					
・ BB-1 ・ BB-2 ・ ()							
・ 内部に面する建具							
・ BC-1 ・ BC-2 ・ ()							

7	網戸 (表5.2.3(5))	○ 可動式 ・ 固定式				
		防虫網の材質				
		・ 合成樹脂製 ○ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製				
		網目				
		○ 16メッシュ ・ 18メッシュ				
		8	樹脂製建具 (表5.3.2)~(表5.3.5) (表5.3.1)~ (表5.3.3)	外部に面する樹脂製建具の性能等級等		
				・ A種 ・ B種 ・ C種		
		9	鋼製建具 (表5.4.2)	鋼製建具の性能等級		
				・ 簡易気密性ドアセット		
		10	鋼製軽量建具 (表5.4.4)	鋼製軽量建具の性能等級		
・ 簡易気密性ドアセット						
8	網戸 (表5.2.3(5))	表面仕上げ				
		・ 塗装				
		・ ビニル被覆鋼板				
		・ カラー鋼板				
		・ ステンレス鋼板 (・ HL ・ 鏡面)				
		11	ステンレス製 建具 (表5.6.2) (表5.4.2)	ステンレス製建具の性能等級		
				・ 簡易気密性ドアセット		
		13	自動ドア開閉 装置 (表5.8.2)	駆動装置及び検出装置の性能 (・ 多機能トイレ出入口)		
				・ 図示 (図面番号:)		
		14	自動ドア開閉 装置 (表5.8.2)	引き戸用検出装置の種類		
・ 図示 (図面番号:)						
15	重量シャッター (表5.10.2(3)) (表5.10.1)	凍結防止措置 ・ あり ・ なし				
		引閉装置				
16	軽量シャッター (表5.11.2) (表5.11.3) (表5.11.4)	自閉式上吊り引閉装置の性能				
		・ 改修標準仕様書(表5.9.1)による ・ ()				
17	オーバード ード (表5.12.2)	種類				
		・ 一般重量シャッター ・ 外壁用防火シャッター				
18	板ガラス (表5.13.2(1)) (表5.13.2(2))	耐風圧強度 (Pa以上)				
		閉鎖機能				
19	ガラス窓材 (表5.13.2(2))	一般重量シャッターのシャッターケース				
		・ 設ける ・ 設けない				
20	ガラス塊の寸 法、形状等 (表5.13.3)	めつき付着量 ・ Z12 ・ F12 ・ ()				
		開閉形式				
21	ガラスブロッ ク積み (表5.13.5)	耐風圧強度 (Pa以上)				
		スラットの材質及び形状				
22	ガラスブロッ ク積み (表5.13.5)	・ インターロック型 ・ オーバーラッピング型				
		めつき付着量 JIS G 3312 ・ Z06 ・ F06 ・ ()				

6	内装 改修 工事	17	オーバード ード (表5.12.2)	型式及び機構	セクション材料	・ スチールタイプ ・ アルミニウムタイプ ・ ファイバーグラスタイプ			
				耐風圧強度 (Pa以上)					
				開閉方式	・ バランス式 ・ チェーン式 ・ 電動式				
				収納形式	・ スタンダード形 ・ ローヘッド形 ・ ハイリフト形	・ パーチカル形			
				ガイドレール	・ 溶融亜鉛めっき鋼板	・ ステンレス鋼板			
				図示 (図面番号:)					
				18	板ガラス (表5.13.2(1)) (表5.13.2(2))	図示 (図面番号:)			
						図示 (図面番号:)			
				19	ガラス窓材 (表5.13.2(2))	図示 (図面番号:)			
						図示 (図面番号:)			
20	ガラス塊の寸 法、形状等 (表5.13.3)	図示 (図面番号:)							
		改修標準仕様書(表5.13.1)による							
21	ガラスブロッ ク積み (表5.13.5)	ガラスブロック							
		表面形状、寸法、厚さ ・ 図示 (図面番号:)							
				金属枠、補強材 ・ 図示 (図面番号:)					
				化粧カバー ・ 図示 (図面番号:)					
				工法 ・ 図示 (図面番号:)					
				建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法を施工計画書として提出する。					
6	内装 改修 工事	3	既存壁撤去、下 地補修 (表6.2.2(1)(7)) (表6.2.2(1)(4)) (表6.2.2(3))	既存壁撤去の撤去に伴う取り合い部分の改修範囲	改修部分				
				改修範囲					
				○ 天井			○ 壁		
				○ 床			○ 既		
				天井の撤去に伴う取り合い部の天井改修範囲			図示 (図面番号:)		
				天井の撤去に伴う取り合い部の壁面改修範囲			図示 (図面番号:)		
				既存床仕上げ材の除去等			浮き、欠損部等による下地モルタルの撤去		
				○ 行う ・ 行わない					
				合成樹脂塗塗り床材の除去等			機械的除去工法 ・ 目視し工法		
				改修後の床の清掃範囲			・ 施工範囲及び施工によって汚れた範囲		
既存間仕切壁の撤去に伴う他の構造体の補修工法			・ ()						
4	木下地等 (表6.5.1(3)) (表6.5.2) (表6.5.2(1)(4)) (表6.5.3)	表面仕上げ			機械加工 ・ A種 ・ B種 ・ C種				
		手加工 ・ H-A種 ・ H-B種 ・ H-C種							
				木材の含水率 (工事現場搬入時、質量比)					
				部材名称					
				種 別					
				下地材					
				造作材					
				「製材の日本産規格」による製材					
				「製材の日本産規格」以外の製材					
				樹種、寸法、材面の品質、防虫処理、含水率 ・ 図示 (図面番号:)					
				造作材の材面の品質 ・ A種 ・ ()					
				樹種					
				部 位					
				樹 種					
				県 産 材					
				造作用集材					
				「集材の日本産規格」による造作用集材					
				部 位					
				品 名 ・ 樹 種					
				見付け材面の寸法・品質・数					
				厚さ					
				造作用集材					
				化粧びり造作用集材					
				集材					
				化粧びり構造用集材					
				造作用集材					

特 記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)			承認	後 図	設 計	製 図	作 図 年 月 日	2022.01	図 面 No.	KA-03
	図面名称	特記仕様書(改修) 3			縮 尺	(A2) NS	(A3) NS		訂 正 年 月 日			

(6.5.2)(3)(4) 【集材材の日本農林規格】以外の製材
樹種、寸法、見付け材面の品質 ・ 図示 (図面番号:)
含水率 ・ 1.5%以下 ・ ()

(6.5.2)(4)(7) 造作用単板積層材
【単板積層材の日本農林規格】による造作用単板積層材
積層部
品名・寸法 表面の品質 防虫処理
造作用単板積層材 ・ 図示 (図面番号:) ・ () ・ ()

(6.5.2)(4)(4) 【単板積層材の日本農林規格】以外の造作用単板積層材
寸法、表面の品質、防虫処理 ・ 図示 (図面番号:)
含水率 ・ 1.4%以下 ・ ()

(6.5.2)(5) 「直交集成材の日本農林規格」による直交集成材
品名、曲げ強度、種別、接着性能、樹種及び寸法 ・ 図示 (図面番号:)

(6.5.2)(6) 合板等
品名 (品目) 樹種名 接着の程度 等級 表面の品質 防虫処理等 厚さ

(6.5.3)(1) 接合具等
造作材化粧面の釘打ち ・ 隠し釘打ち ・ ()

(6.5.3)(2) 塗金物
形状、寸法及び材質 ・ 図示 (図面番号:)

(6.5.5)(1) ・ 防蟻、防蟻処理
適用部位 図示 (図面番号:)
保存処理性能区分 ()
薬剤の塗布等の処理方法 ()
耐腐蝕Aに基づく表面処理用木材保存剤 ・ 適用する () ・ 薬剤の種類 () ・ 適用部位 ()
ボード原料接着剤への防蟻、防蟻処理 ()

(6.5.5)(2) ・ 防虫処理
・ 図示 (図面番号:)

5) 軽量鉄骨天井下地
(6.6.2) 野縁等の種類
(表6.6.1) ○ 屋内 ○ 19形 ・ ()
○ 屋外 ○ 25形 ・ ()
(6.6.3) 形状及び寸法
・ 屋外 ・ 図示 (図面番号:)
・ 耐震天井 ・ 図示 (図面番号:)
・ ふところ $\geq 1.5m$ ・ 改修標準仕様書(6.6.4)(8) ・ 図示 (図面番号:)

(6.6.4) 既存埋込みインサート
・ 使用する ・ 使用しない (※使用する場合は、確認試験を行う)
既存埋込みインサート、あと施工アンカーの確認試験
・ 行う (図示 (図面番号:)) ・ 行わない
・ 確認試験の箇所数 (箇所) ・ 確認強度 ()
耐震性、耐風圧性を考慮した補強
・ 図示 (図面番号:)

6) 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3)

7) ビニル床シート、ビニル床タイル及びゴム床タイル張り
(6.8.2) 材料 ・ ビニル床シート【JIS A 5705 (ビニル系床材)】
種類の記号 色柄 厚さ 備考
FS 無地 2.0mm
(6.8.2)(1)
(6.8.2)(2) ・ ビニル床タイル【JIS A 5705 (ビニル系床材)】
種類の記号 色柄 寸法 厚さ 備考
KT
(6.8.2)(3)(7)(4) ・ 帯電防止床シート又は床タイル
種類 性能 寸法 厚さ 備考
(6.8.2)(3)(9) ・ 視覚障害者用床タイル
種類 形状 備考
ビニル床タイル 300×300×7.0mm
(6.8.2)(3)(1) ・ 耐動荷重性床シート
種類 厚さ 備考
(6.8.2)(3)(4)(8) ・ 防滑性床シート又は床タイル
種類 寸法 厚さ 備考
(6.8.2)(5) ・ ゴム床タイル
種類 色柄 寸法 厚さ 備考
(6.8.3)(1) 工法
下地 ・ モルタル塗り ・ セルフレベリング材塗り ・ 木下地 ・ その他 ()

(6.8.3)(2)(9) ビニル床シート張り
熱溶接工法 ・ 適用する ・ 適用しない

8) カーペット敷き (6.9.3)(1) (表6.9.1)
種類 糸の種類 バイルの形状 帯電性 品質の程度 色柄
・ A種 ・ 羊毛 ・ カットバイル ・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ () ・ 無地
・ B種 ・ 紡糸 ・ ループバイル
・ C種 ・ () ・ カット、ループ併用 ・ ()
品質の程度欄に記載した商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。(以下同様)
・ タフテッドカーペット
バイルの形状 バイル長(mm) 帯電性 工法 品質の程度
・ カットバイル ・ 人体帯電圧 3KV以下 ・ 全面接着工法
・ ループバイル ・ グリッパー工法 ・ ()
・ カット、ループ併用 ・ ()
(6.9.2)(2) (表6.9.2)
・ ニードルパンチカーペット
厚さ(mm) 帯電性 備考
・ 人体帯電圧 3KV以下
・ ()
(6.9.2)(3) ○ タイルカーペット
種類 バイルの形状 寸法(mm) 総厚さ(mm) 品質の程度
・ カットバイル ○ 300×500 ○ 5
・ ループバイル ・ () ・ ()
(6.9.2)(4) (表6.9.2)
下敷き材 ・ 第2種第2号、厚さ8mm ・ ()
見切り、押え金物 ・ 適用する (材質、種類及び形状 ・ 図示 (図面番号:))
(6.9.2)(5) 織りじつたんの接合法
(6.9.2)(6) ・ ヒートボンド工法 ・ ()
(6.9.3)(3) 織りじつたんの接合法
・ ヒートボンド工法 ・ ()
(6.9.3)(5) タイルカーペットの敷き方
平場 ○ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()
階段部分 ○ 市松敷き ・ 模様流し ・ ()
(6.9.3)(4) 弾性ウレタン樹脂系塗床の仕上げ種類、工程
(6.10.3)(2)(a) (表6.10.4) ・ 平滑仕上げ ○ 防滑仕上げ ・ つや消し仕上げ
(6.10.3)(2)(b) エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類
(6.10.3)(3) ・ 薄膜流しのべ仕上げ (平滑・防滑) ・ 厚膜流しのべ仕上げ (平滑・防滑)
(表6.10.5) ~ (表6.10.8) ・ 樹脂モルタル仕上げ (平滑・防滑) ・ 薄膜型塗床仕上げ (平滑)

9) 合成樹脂塗床 (6.10.3)(2)(a) (表6.10.4)
(6.10.3)(2)(b) エポキシ樹脂系塗床の仕上げ種類
(6.10.3)(3) ・ 薄膜流しのべ仕上げ (平滑・防滑) ・ 厚膜流しのべ仕上げ (平滑・防滑)
(表6.10.5) ~ (表6.10.8) ・ 樹脂モルタル仕上げ (平滑・防滑) ・ 薄膜型塗床仕上げ (平滑)

10) フローリング張り
(6.11.4) (表6.11.2) ・ 釘留め工法
材料 種類 樹種
・ フローリングボード (概太適用) ・ A種 ・ なら
・ 複合フローリング (概太適用) ・ B種
・ C種
防蟻処理 ・ 図示 (図面番号:)
(6.11.5) ・ 接着工法
材種 樹種 厚さ 大きさ
・ フローリングボード (直張用)
・ フローリングブロック (直張用) ・ なら
・ 複合フローリング (直張用) ・ ()
・ A種 ・ B種 ・ C種
繊維材 ・ 合成樹脂発泡シート ・ 図示 (図面番号:)
(6.11.6)(3) 塗装
ウレタン樹脂ワニス塗り (1液形、B種)
・ オイルステイン塗りのうすワックス塗り
・ 生地そのままワックス塗り
()
(6.11.6)(3) 種類 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種
・ D種の塗床 KT-(I・II・III・K・N)

11) 畳敷き (6.12.2) (表6.12.1)
12) せつこうボード
種類 厚さ(mm)
○ せつこうボード 壁 9.5(準不燃)
天井 9.5(準不燃)
9.5(準不燃)
12.5(不燃)
(6.13.2) (表6.13.1) 化粧せつこうボード
・ トラバーチン模様 ・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)
・ 木目模様 ・ 9.5(不燃) ・ 9.5(準不燃)
○ ロックウール化粧吸音板 ○ 普通 ○ 9() ・ ()
○ 立体模様 ・ 9() ・ ()
・ けい酸カルシウム板 ・ タイプE0.8FK
(6.13.2)(8) 遮音シール材
・ シーリング材 ・ ジョイントコンパウンド
(6.13.3)(5)(7) 合板類の張付け
・ A種 ・ B種
(6.13.3)(7)(7) (表6.13.5) せつこうボードの目地工法
・ 縦目処理 ・ 突付け ・ 目透し
(6.14.2) 13) 壁紙張り
施工箇所 種類 防火性能
カクシタックルーム 常備品 ○ 不燃 ・ 準不燃
・ 不燃 ・ 準不燃
・ 不燃 ・ 準不燃

14) モルタル塗り (6.15.3) (6.15.5) (6.15.6)
モルタル ・ 現場調合材料 ・ 既調合材料
既製目地材 ・ 使用する (形状:)
床の目地 ・ 図示 (図面番号:)
下地処理 ・ 壁面の仕上げ厚又は全厚が25mm超 図示 (図面番号:)

15) タイル張り (6.16.2) (6.16.3)
伸縮調整目地
位置 ・ 図示 (図面番号:)
タイルの種類
施工箇所 形状 寸法 耐滑り性 標準・特注色の別 耐凍害性の有無
(6.16.3)(2) 試験張り ・ 行う ・ 行わない
見本焼き ・ 行う ・ 行わない
既調合モルタル ・ 使用できる ・ 使用できない

16) セルフレベリング材塗り (6.17.2) (6.17.3)
・ せつこう系 ・ セメント系
塗厚 () mm
(17) 断熱材 (6.17.2) (6.17.3)
断熱材打込み工法
(9.5.2) 種類 厚さ(mm) 施工箇所
・ ビーズ法ポリスチレンフォーム
・ 押出法ポリスチレンフォーム
・ A種硬質ウレタンフォーム
・ フェノールフォーム
(9.5.3) 断熱材現場発泡工法 (収め硬質ウレタンフォーム)
種類 厚さ(mm) 施工箇所
・ A種1
・ A種1H ・ ()
・ ()
・ ()
窓回り等の断熱材補修部分、ルーフトン回りの床版下等、部分的に後張りとしなければならない箇所

7) 塗装改修工事
(7.1.3) 1) 材料
(7.1.2) 2) 下地調整 (7.2.1)~(7.2.7) (表7.2.1)~(表7.2.7)
既存塗膜の除去範囲 (塗りが替えてR/B種の場合)
・ 図示 (図面番号:)
種類 下地 種類 ひび割れ部の補修
○ 木部 ○ RA種 ○ RB種 ○ RC種
○ 鉄鋼面 ○ RA種 ○ RB種 ○ RC種
・ 垂れめっき鋼面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種
・ モルタル、プラスチック面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う
・ コンクリート、A・L・Cパネル面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う
・ コンクリート、押出成形セメント板面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種 ・ 行う
・ せつこうボード、その他ボード面 ・ RA種 ・ RB種 ・ RC種
(7.3.2) 3) 錆止め塗料種類 (7.3.3) (表7.3.1)~(表7.3.4)
鉄鋼面 ・ A種 ○ B種
垂れめっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種
錆止め塗料種類 ○ A種 ・ B種 ・ C種
鉄鋼面
垂れめっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ・ C種
(7.4.2) 4) 合成樹脂調合ベイント塗り (SP) (7.4.3)~(7.4.5) (表7.4.1)~(表7.4.3)
塗料種類 ○ 1種 ・ ()
種類 下地 種類
○ 木部 ・ A種 ○ B種 ○ C種
○ 鉄鋼面 ・ A種 ・ B種 ○ C種
・ 垂れめっき鋼面 ・ A種 ・ B種 ○ C種
5) クリヤラッカー塗り (CL) (7.5.2) (表7.5.1)
種類 木部 ・ A種 ・ B種
6) アクリル樹脂系非水分散形塗料 (ND) (7.7.2) (表7.7.1)
種類 ・ A種 ・ B種
(7) 耐候性塗料塗り (SP) (7.8.2)~(7.8.4) (表7.8.1)~(表7.8.3)
上塗り等級
○ 1級 (フッ素系) ・ 2級 (シリコン系) ・ 3級 (ポリウレタン系)
種類 下地 種類
鉄鋼面 ・ A種 ○ B種 ○ C種
垂れめっき鋼面 ・ A種 ○ B種 ○ C種
コンクリート面及び押出成形セメント板面 ・ A-1種 ・ A-2種
・ B-1種 ・ B-2種
・ C-1種 ・ C-2種

特記

工事名称 依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)

図面名称 特記仕様書(改修)4

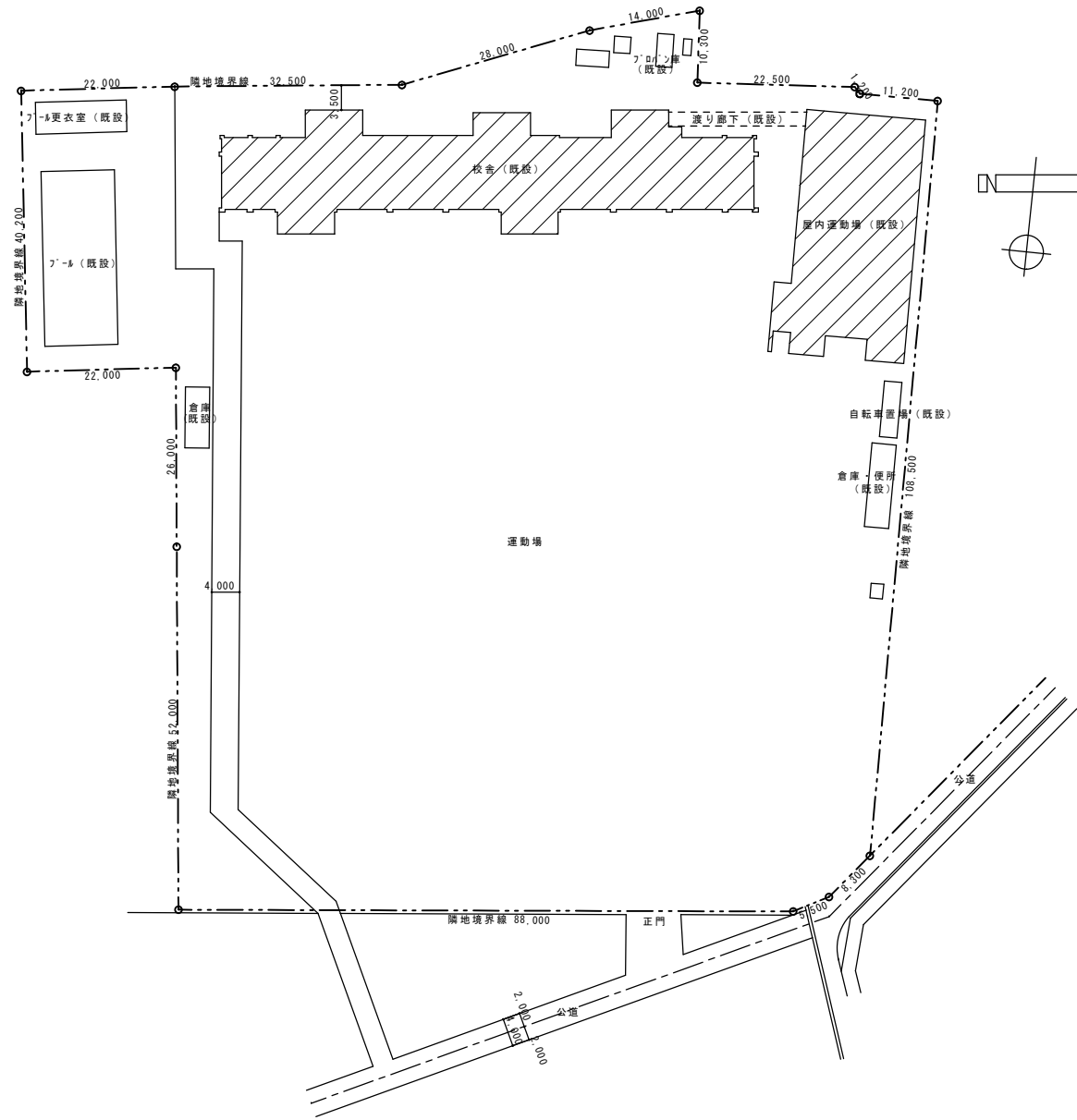
縮尺 (A2) NS (A3) NS

承認 後図 設計 製図 作図年月日 2022.01 図面No. KA-04
訂正年月日

舗装工事	8 つや有合成樹脂 エマルションペ イント塗り (EP-9) (7.9.2)~(7.9.5) (表7.9.1)~ (表7.9.4)	種別 コンクリート、モルタル、 プラスター、せつこうボード、 その他ボード 床部(屋内) 鉄鋼面(屋内) 垂れめっき鋼面(屋内)	種別 ・ A種 ○ B種 ・ C種 しみ止め ()
	9 合成樹脂エマ ルションペイン ト塗り(EP) (7.10.2) (表7.10.1)	種別 ・ A種 ○ B種 ・ C種 しみ止め ()	
	1.0 合成樹脂エマ ルション模様 塗料塗り (EP-1) (7.11.2) (表7.11.1)	種別 ・ A種 ・ B種 ・ C種	
	1.1 ウレタン樹脂 フニス塗り (UC) (7.12.2) (表7.12.1)	種別 ・ A種 ・ B種	
	1.2 オイルステイ ン塗り(OS) (7.13.2) (表7.13.1)	塗料 ()	
	1.3 木材保護塗料 塗り(MP) (7.14.2) (表7.14.1)	種別 ・ A種 ・ B種	

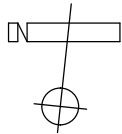
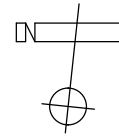
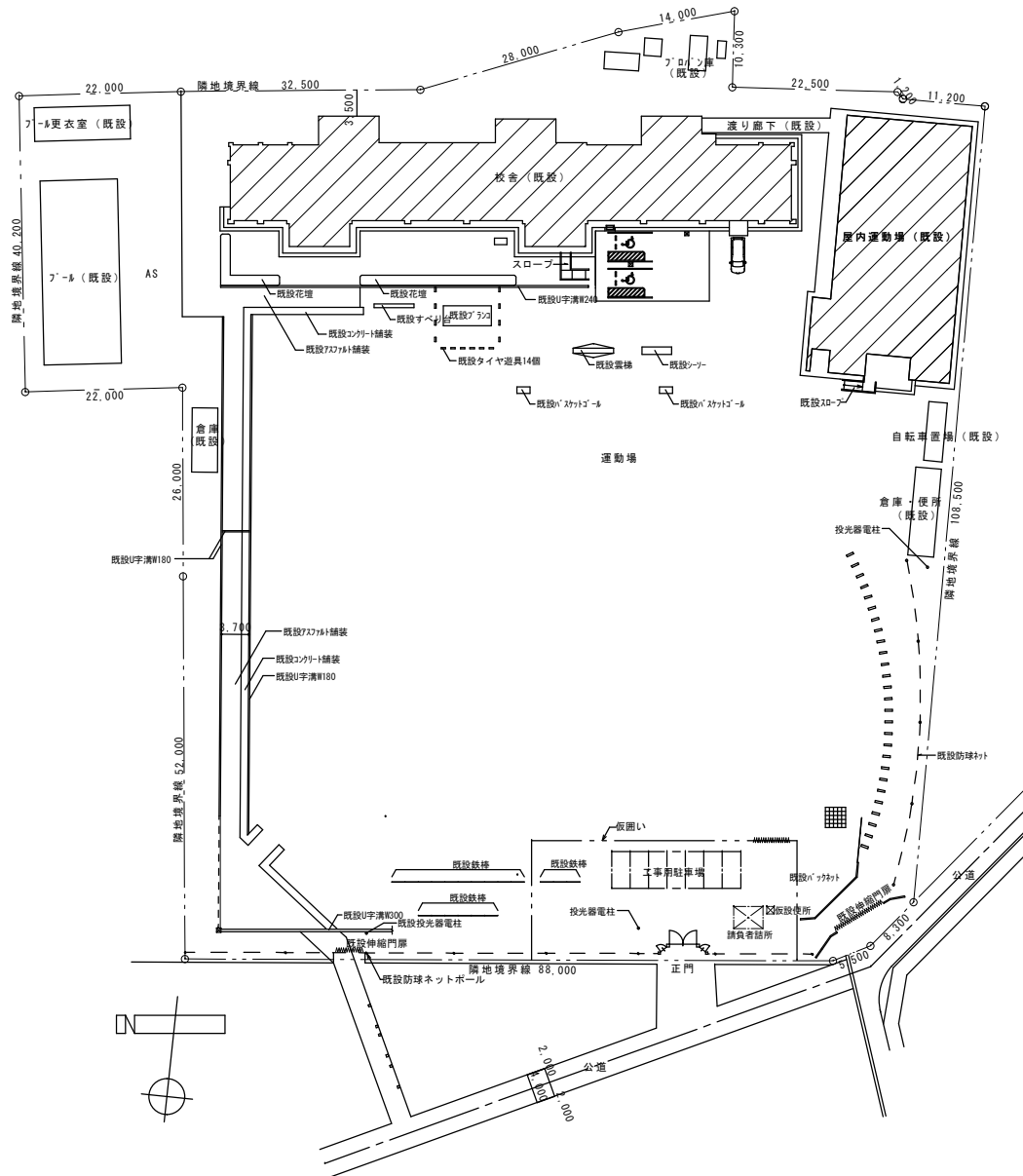
舗装工事	1 路床 (22.2.2) (22.2.3) (表22.2.1) (22.2.4) (22.2.5)	路床の材料(厚さは図示(図面番号:)) ・ 遮断層 ・ 川砂 ・ 海砂又は良質な山砂 ・ 凍上抑制層 ・ 切込み砂利 ・ 砂 ・ () ・ フィルター層 ・ 砂 路床安定処理 ・ 行う 添加材料による安定処理 種類 ・ 普通ポルトランドセメント ・ フライアッシュセメントB種 ・ 生石灰()号 ・ 消石灰()号 添加量()kg/m ³ (目標CBR ・ 5以上 ・ ()) 盛土に用いる材料 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ 建設汚泥から再生した処理土 C種の場合:建設発生土受入量()m ³ 片道の運搬距離()km 試験 ・ 路床土の支持力比(CBR)試験 ・ 路床締固めの試験 ・ 現場CBR試験																									
	2 路盤 (22.3.2) (表22.3.1) (22.3.3)	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">舗装の種類</th> <th colspan="2">路盤の厚さ(mm)</th> <th rowspan="2">路盤材料</th> </tr> <tr> <th>車道部</th> <th>歩道部</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ アスファルト舗装</td> <td>・ () ・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ 再生クラッシュラン</td> </tr> <tr> <td>・ カラー舗装</td> <td>・ () ・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ クラッシュラン</td> </tr> <tr> <td>・ 透水性アスファルト舗装</td> <td>・ () ・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ 鉄鋼スラグ</td> </tr> <tr> <td>・ インターロッキング ブロック舗装</td> <td>・ () ・ ()</td> <td>・ ()</td> <td>・ クラッシュラン ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ ()</td> <td>・ () ・ ()</td> <td>・ ()</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	舗装の種類	路盤の厚さ(mm)		路盤材料	車道部	歩道部	・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ ()	・ 再生クラッシュラン	・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ ()	・ クラッシュラン	・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ ()	・ 鉄鋼スラグ	・ インターロッキング ブロック舗装	・ () ・ ()	・ ()	・ クラッシュラン ・ ()	・ ()	・ () ・ ()	・ ()
舗装の種類	路盤の厚さ(mm)			路盤材料																							
	車道部	歩道部																									
・ アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ ()	・ 再生クラッシュラン																								
・ カラー舗装	・ () ・ ()	・ ()	・ クラッシュラン																								
・ 透水性アスファルト舗装	・ () ・ ()	・ ()	・ 鉄鋼スラグ																								
・ インターロッキング ブロック舗装	・ () ・ ()	・ ()	・ クラッシュラン ・ ()																								
・ ()	・ () ・ ()	・ ()																									
3 アスファルト 舗装 (22.4.2)~ (22.4.6) (表22.4.1)~ (表22.4.6)	舗装の構成及び厚さ ・ A-5-15 ・ 図示(図面番号:) ・ A-3-10 ・ () 表層の種類 ・ 密粒度757 μ m混合物(13) ・ 細粒度757 μ m混合物(13) ・ () 基層の種類 ・ 粗粒度757 μ m混合物(20) ・ () 試験 ・ アスファルト混合材等の抽出試験																										

舗装	4 コンクリート 舗装 (22.5.2)~ (22.5.6)	舗装の構成及び厚さ ○ 図示(図面番号: A-84) 構造 ○ 標準仕様書 [表22.5.1] ・ () 早強セメント ・ 使用する 注入目地材料 ・ 低弾性タイプ ・ 高弾性タイプ 目地 ・ 種類 () ・ 間隔 () ○ 標準仕様書 [表22.5.3]																				
	5. カラー舗装 (22.6.2) (22.6.3)	種類 ・ 加熱系 構成及び厚さ () 混合物 ・ アスファルト ・ 石油樹脂系 (顔料の添加量:) 添加材 ・ 着色骨材 ・ 自然石 ・ 常温系 工法 ・ ニート工法 ・ 塗布工法 着色部下部 ・ アスファルト舗装 ・ コンクリート舗装																				
	6. 透水性アス ファルト舗装 (22.7.2) (表22.7.1)	舗装材料及び厚さ ストレートアスファルト 厚さ(mm) ・ () ・ 図示(図面番号:)																				
	7. ブロック系舗装 (22.8.2) (22.8.3)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>舗装</th> <th>種類</th> <th>寸法(mm)</th> <th>厚さ(mm)</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>・ コンクリート 平板舗装</td> <td>・ 普通平板 ・ 透水平板</td> <td>・ 300角 ・ ()</td> <td>・ 60 ・ ()</td> <td>目地 ・ 砂 ・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し</td> </tr> <tr> <td>・ インター ロッキング ブロック舗装</td> <td>・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック</td> <td></td> <td>車道部 ・ 80 ・ () 歩道部 ・ 60 ・ ()</td> <td>表面加工 ・ 標準品 ・ () 曲げ強度 ・ ()</td> </tr> <tr> <td>・ 鋪石舗装</td> <td>・ 小鋪石 ・ 花こう岩 ・ ()</td> <td></td> <td>・ 80・100</td> <td>施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装</td> </tr> </tbody> </table>	舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考	・ コンクリート 平板舗装	・ 普通平板 ・ 透水平板	・ 300角 ・ ()	・ 60 ・ ()	目地 ・ 砂 ・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し	・ インター ロッキング ブロック舗装	・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック		車道部 ・ 80 ・ () 歩道部 ・ 60 ・ ()	表面加工 ・ 標準品 ・ () 曲げ強度 ・ ()	・ 鋪石舗装	・ 小鋪石 ・ 花こう岩 ・ ()		・ 80・100	施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装
	舗装	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考																	
	・ コンクリート 平板舗装	・ 普通平板 ・ 透水平板	・ 300角 ・ ()	・ 60 ・ ()	目地 ・ 砂 ・ モルタル 表面加工 ・ 研ぎ出し ・ 洗い出し ・ たたき出し																	
	・ インター ロッキング ブロック舗装	・ 普通ブロック ・ 透水性ブロック		車道部 ・ 80 ・ () 歩道部 ・ 60 ・ ()	表面加工 ・ 標準品 ・ () 曲げ強度 ・ ()																	
	・ 鋪石舗装	・ 小鋪石 ・ 花こう岩 ・ ()		・ 80・100	施工方法 ・ うろこ張り ・ () 基層 ・ コンクリート舗装 ・ アスファルト舗装																	
	8. 砂利敷き (22.9.2)	・ 道路部 ・ A種 ・ B種 ・ () ・ 建物周囲 ・ B種 ・ A種 ・ ()																				



(現況) 配置図 1/500

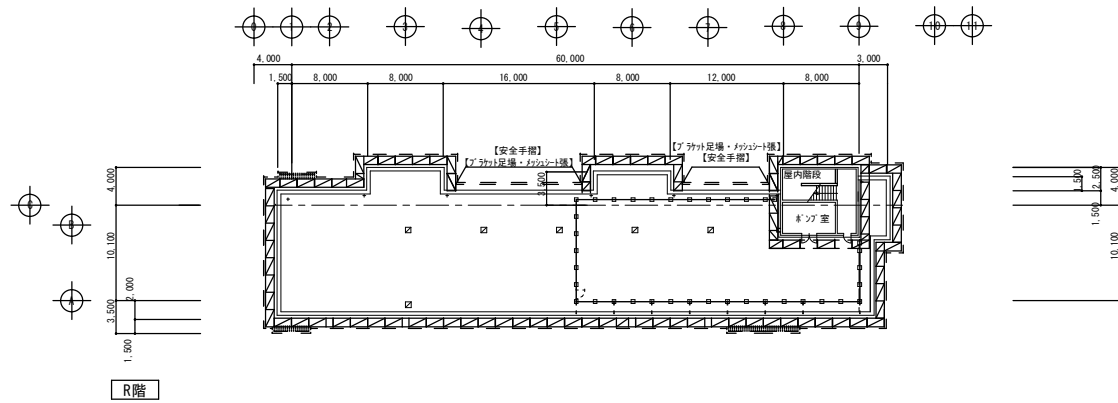
特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)				承認	検閲	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-06
	図面名称	(現況) 配置図	縮尺	(A2) 1/500 (A3) 1/704						訂正年月日			



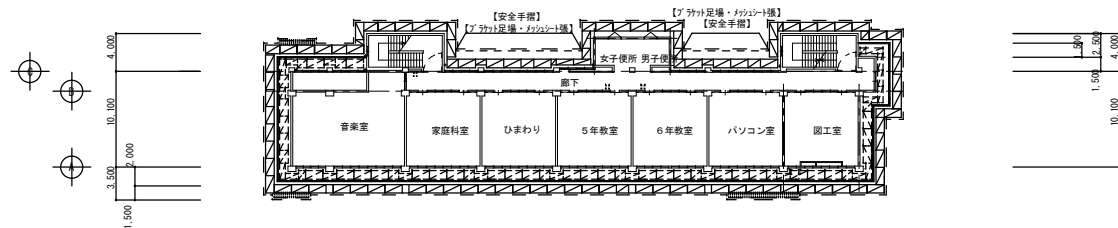
点線：仮設圍い 幅1000を示す。
 点線：仮設圍い 幅1000を示す。
 点線：出入口 幅2000、幅3000を示す。
 点線：勝負者座席を示す。
 点線：仮設座席 (点取り式) を示す。
 ※本図面は概略図に過ぎず、詳細は現場調査に基づき決定すること。
 ※図面記載の設備は、工事及び外構工事の際にはA版(バリエーション)で変更を要する。

配置図 (改修後) 1/500

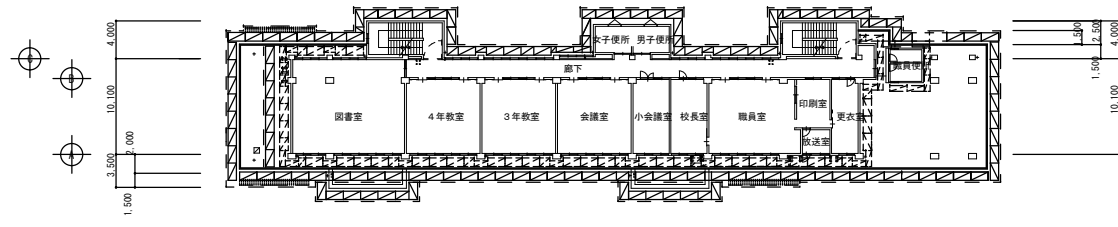
特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)			承認	後園	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-07
	図面名称	(校舎) 仮設計画図1			縮尺	(A2) 1/500	(A3) 1/704		訂正年月日			



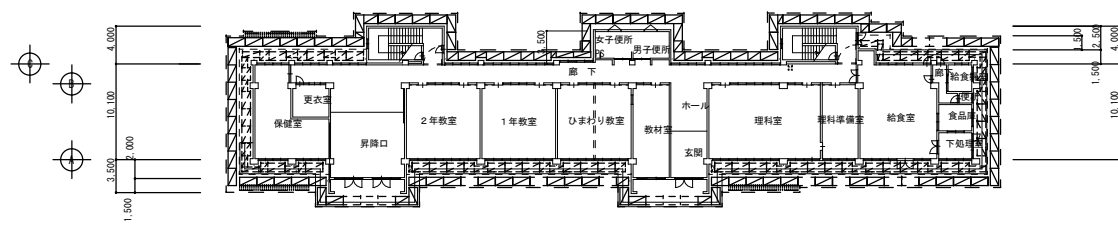
2階



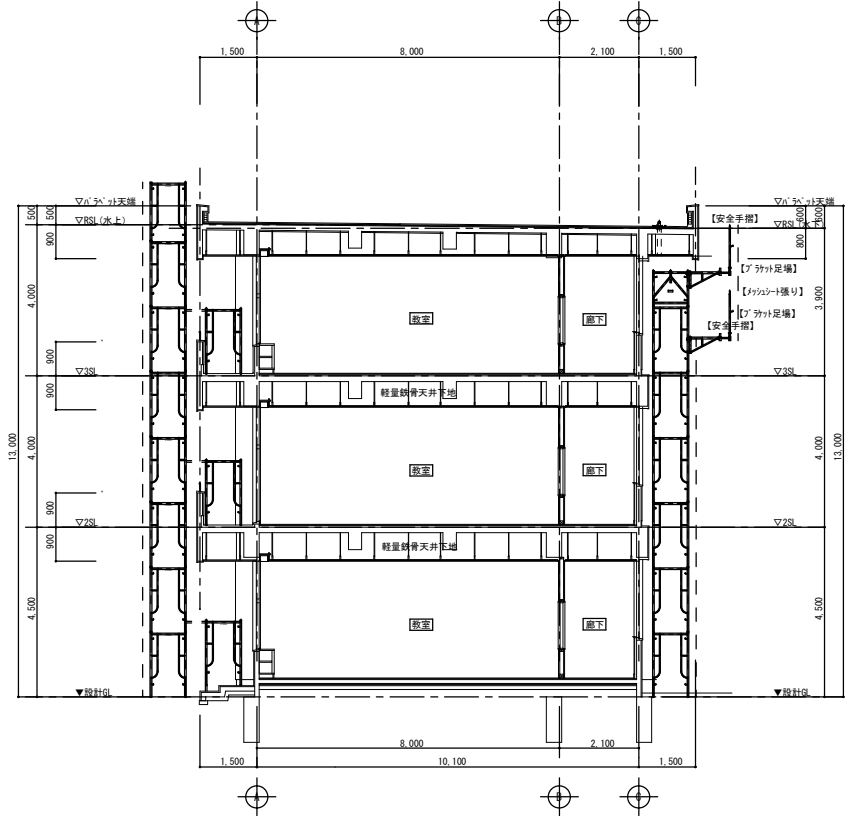
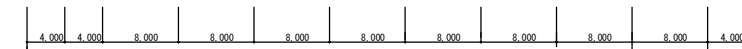
3階



4階



5階

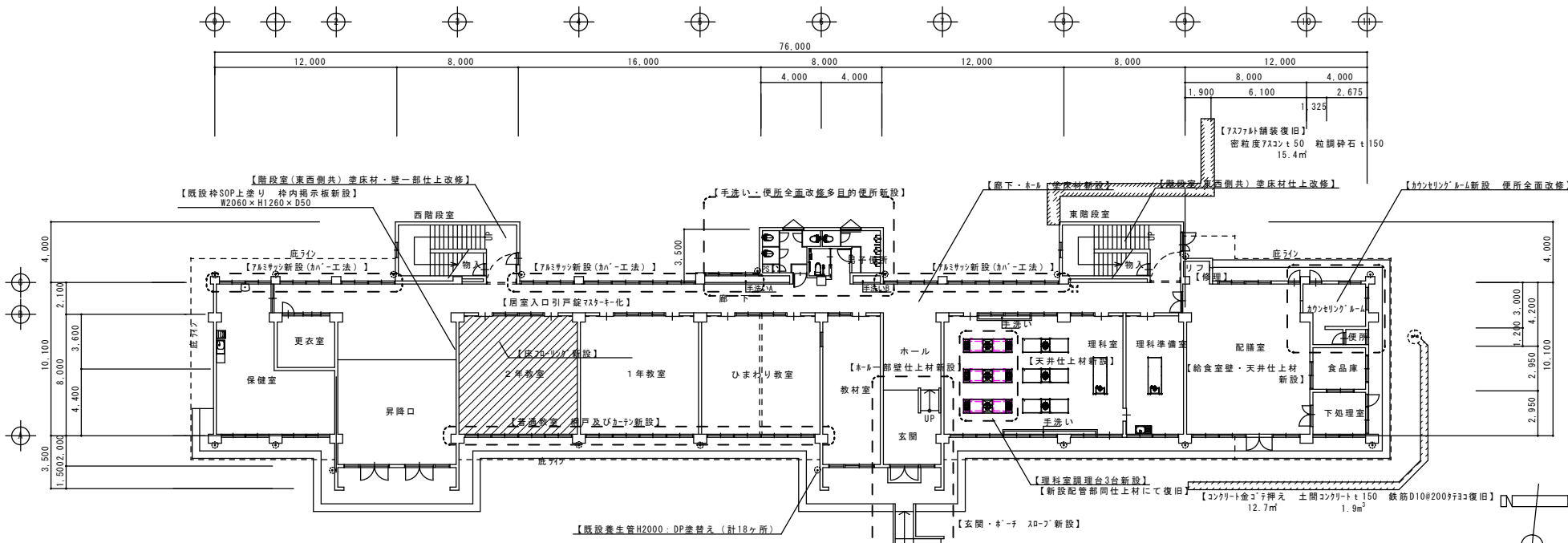


仮設計画図(断面) 1/100

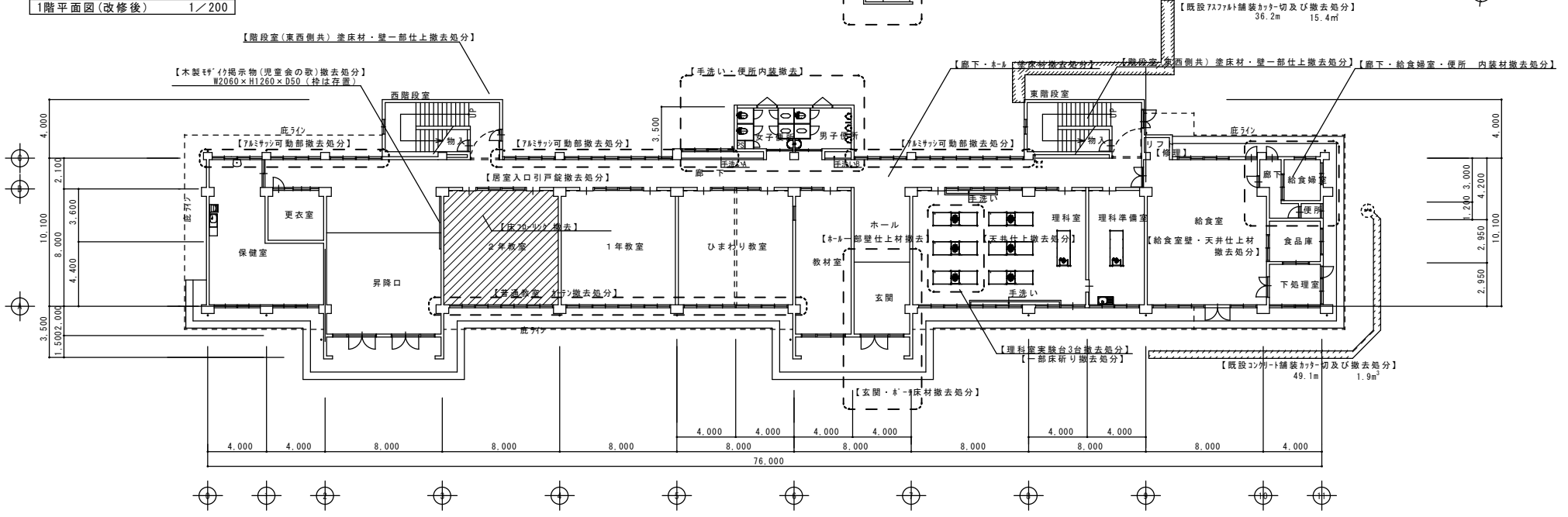
- 凡例
- 外部足場：枠組本足場(手摺先行方式) 建地幅900 垂直養生：メッシュシート張り
 - 'ア'ラング'足場：枠組本足場 建地幅900
 - 昇降足場：登り橋
 - 外部足場：枠組本足場(手摺先行方式) 建地幅600 垂直養生：メッシュシート張り
 - 'ア'ラング'足場：枠組本足場 建地幅600

仮設計画図 1/400

特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)		承認	後援	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-08
	図面名称	(校舎) 仮設計画図2	縮尺	(A2) 1/400・1/100 (A3) 1/563・1/141				訂正年月日			

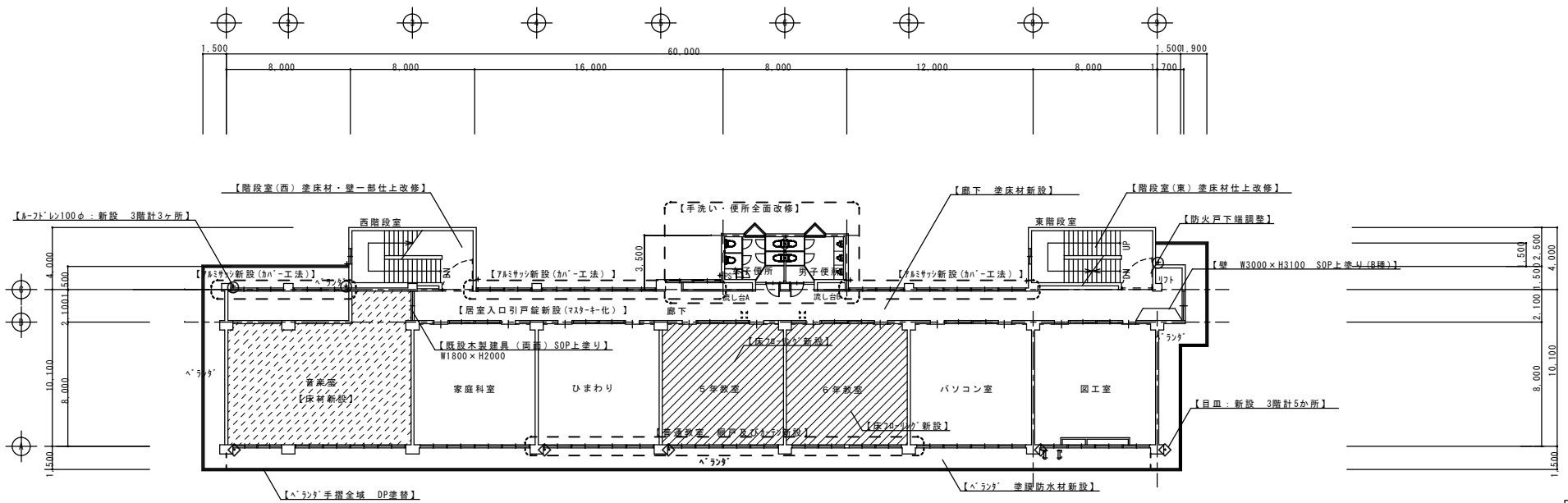


1階平面図(改修後) 1/200



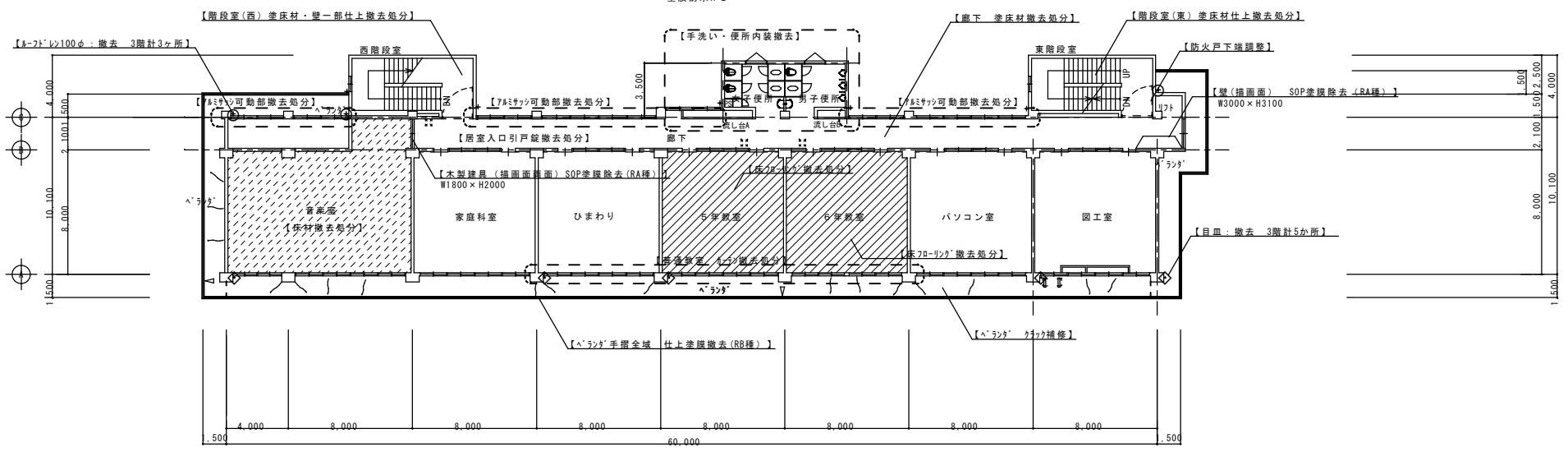
1階平面図(改修前) 1/200

特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)			承認	検閲	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-11
	図面名称	(校舎) 1階平面図 (改修前後)	縮尺	(A2) 1/200 (A3) 1/282					訂正年月日			



3階平面図(改修後) 1/200

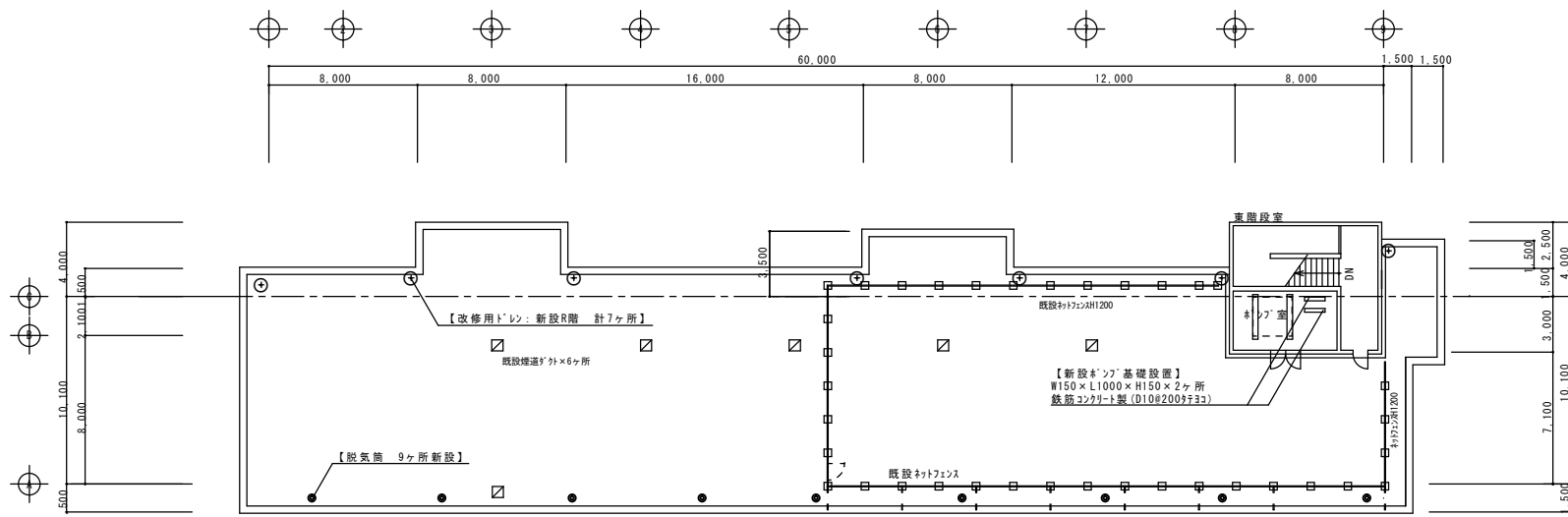
- 【ベランダ(2階・3階共) 平場の防水改修】
- ・高圧水洗浄
 - ・0.5mm以上のクラック補修 (Uレジン・リング 充填処理)
 - ・エポキシ系プライマー / 目引き
 - ・既設排水撤去 (目皿・上皿撤去)
 - ・排水口修正
 - ・改修用排水設置
 - ・範囲内既設室外機一時撤去復旧
 - ・塗膜防水X-2
- 【ベランダ(2階・3階共) 立上りの防水改修】
- ・高圧水洗浄
 - ・0.5mm以上のクラック補修 (Uレジン・リング 充填処理)
 - ・エポキシ系プライマー / 目引き
 - ・塗膜防水X-2
 - ・防水端未シリング処理 (MS-2)



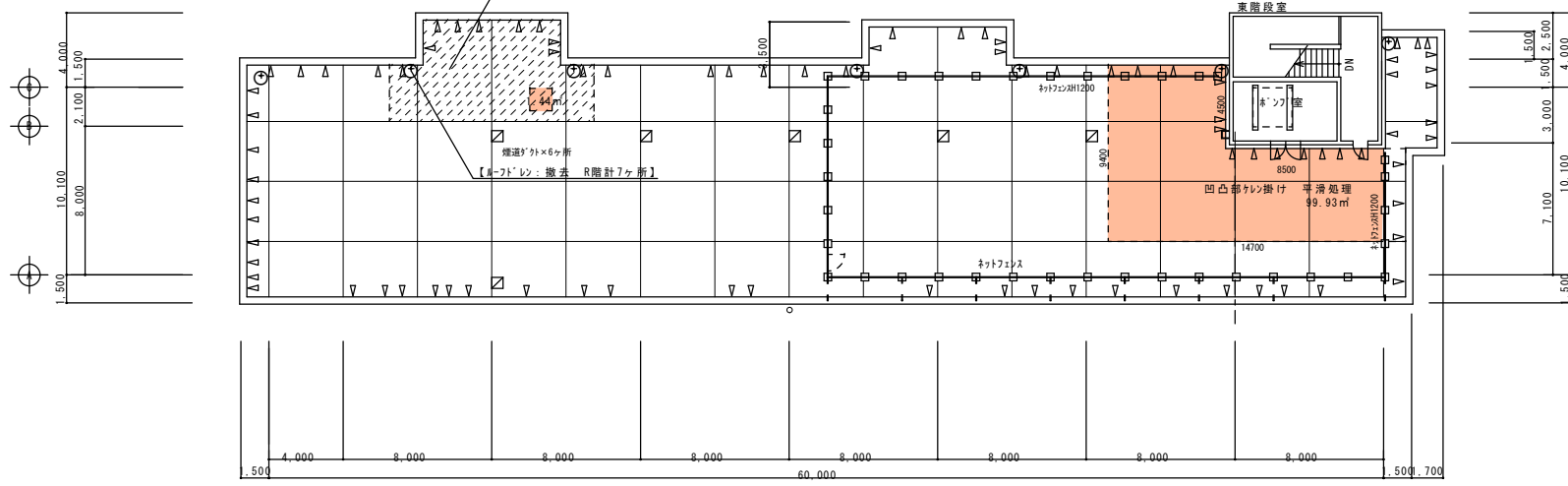
3階平面図(改修前) 1/200

凡例
 - - - 0.5mm以上のクラック L1000程度 (3階ベランダ部 計17m程度)
 ▲ 立上り0.3mm以上のクラック位置を示す。(3階ベランダ部 2か所×3=0.6m)

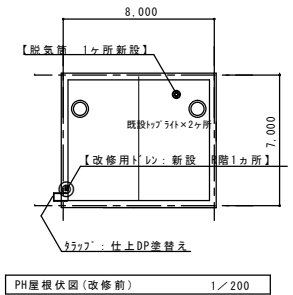
特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)			承認	後回	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-13
	図面名称	(校舎) 3階平面図(改修前後)	縮尺	(A2) 1/200 (A3) 1/282					訂正年月日			



R階平面図 (改修後) 1/200

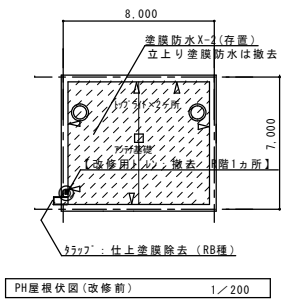


R階平面図 (改修前) 1/200



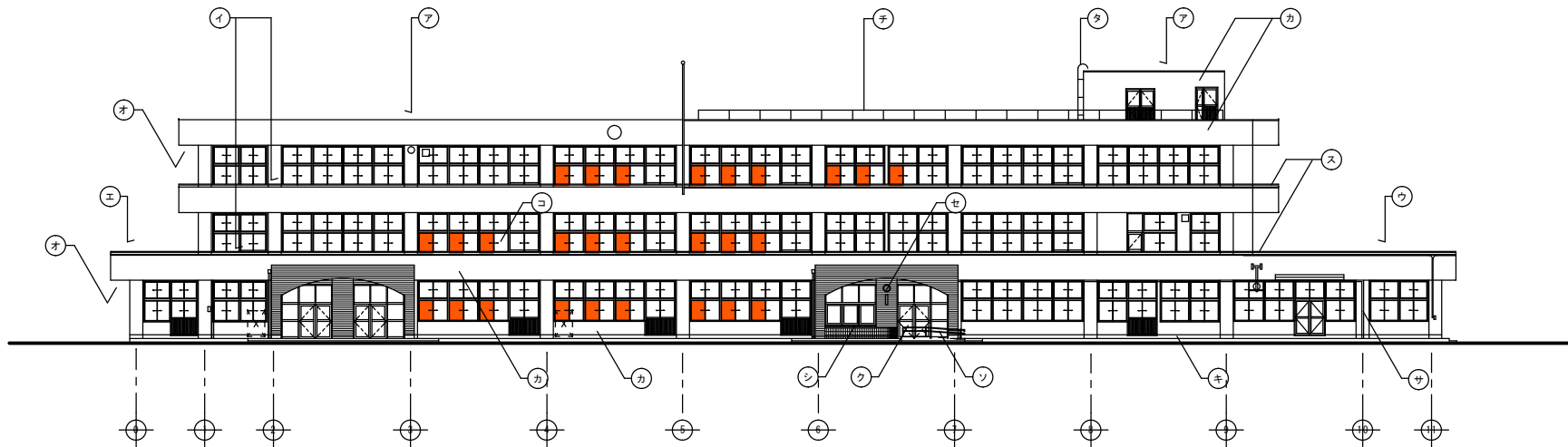
- 【屋上 平場の防水改修】
- ・ 高圧水洗浄
 - ・ 既設ドレン撤去 (目皿・上皿撤去)
 - ・ 改修用ドレン設置
 - ・ エキシ系樹脂マニセメント ノロ引き
 - ・ 塗膜防水X-1
 - ・ 脱気筒設置

- 【PH屋上 立上りの防水改修】
- ・ 高圧水洗浄
 - ・ アンチ架台: 鉄部取合いシーリング処理
 - ・ エキシ系樹脂マニセメント ノロ引き
 - ・ 塗膜防水X-2

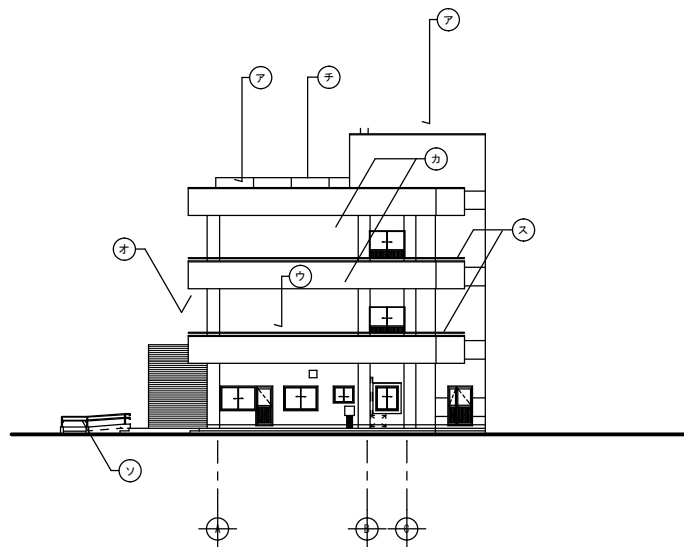


PH屋根伏図 (改修後) 1/200

特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)			承認	検閲	設計	製図	作図年月日	2022.01	図案No.	KA-14
	図面名称	(校舎) R階平面図 (改修前後)	縮尺	(A2) 1/200 (A3) 1/282					訂正年月日			



南側立面図 1/200

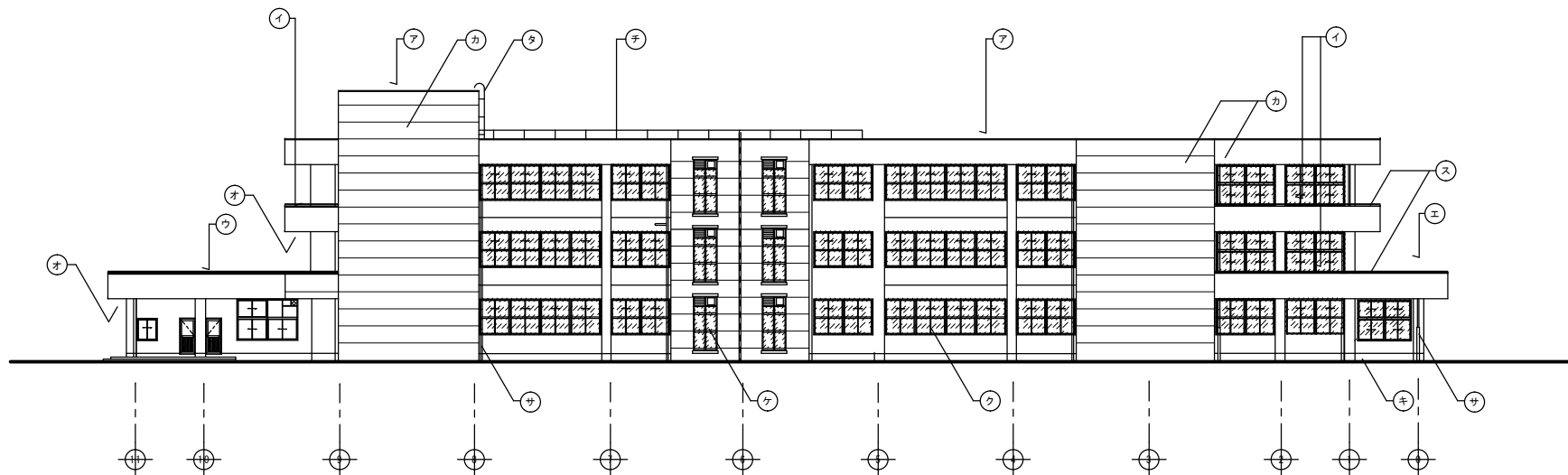


東側立面図 1/200

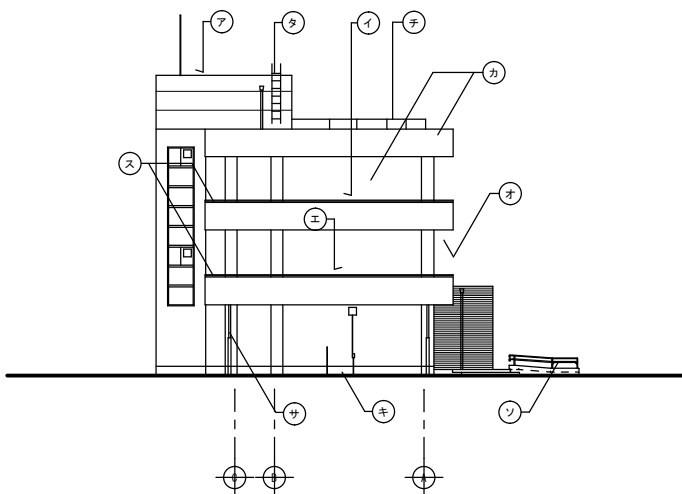
凡例 ※各仕上の詳細な仕様については、他図面を参照すること。			
記号	仕上	記号	仕上
ア	屋上 (改修前) 歩行用727防水 保護モルタル t30 (改修後) 平場: 9/19塗膜防水X-1工法 立上り: 9/19塗膜防水X-2工法	サ	樋 (改修前) 硬質塩ビ管100φ SGP塗 養生管: H2000 (改修後) 堅樋: 既設塩ビ管DP塗替 既設養生管: DP塗替
イ	ベランダ (改修前) 歩行用727防水 保護モルタル t30 (改修後) 平場・立上り: 9/19塗膜防水X-2工法	シ	玄関前校取石段 (改修前) W70×H750×L130 (台座1270×330×H160) (改修後) 撤去処分
ウ	2階東側ベランダ (改修前) 歩行用727防水 保護モルタル t30の上塗膜防水 (改修後) 平場: 9/19塗膜防水X-1工法 立上り: 9/19塗膜防水X-2工法	ス	ベランダ手摺 (改修前) スチール 42.7φ SGP塗 21.7φφ1000 SGP塗 (改修後) DP塗替え
エ	2階西側ベランダ (改修前) 歩行用727防水 保護モルタル t30の上塗膜防水 (改修後) 既設防水層撤去処分 平場: 9/19塗膜防水X-1工法 立上り: 9/19塗膜防水X-2工法	セ	校章 (改修前) 樹脂製校章 (改修後) DP塗替え
オ	ベランダ上表 (改修前) 大平板 t5 VP塗 一部有孔板 (改修後) 既設仕上存置	ソ	玄関前 (改修前) コンクリート舗装 (改修後) 既設コンクリート舗装撤去切 20-G 新設
カ	外壁 (改修前) モルタル引下地 吹付け [7X×3含有品] 水洗い(ブランク程度) (改修後) 下地調整の上、ケラフ即地下発動緩衝材 外壁用塗膜防水材交付	タ	屋上ラップ (改修前) 鉄製SP塗 (改修後) DP塗替え
キ	根廻り (改修前) モルタル引上 (改修後) 既設仕上存置	チ	屋上バルコニー: 既設存置
ク	開口部 (改修前) 7&37 (改修後) 可動部のみ撤去処分 水洗いの上 加1工法にて新設	ツ	
ケ	開口部 (改修前) 7&37 (改修後) 水洗いの上 5'5&のみ取替	テ	
コ	開口部 (改修前) 7&37 (改修後) 水洗いの上 網戸(0-1共) 新設	ト	

※外壁に面する7&37は全て既設周囲コナリ撤去処分の上新設(MS-2)とする。

特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)				承認	後援	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-15
	図面名称	(校舎) 立面図1	縮尺	(A2) 1/200 (A3) 1/282						訂正年月日			



北側立面図 1/200

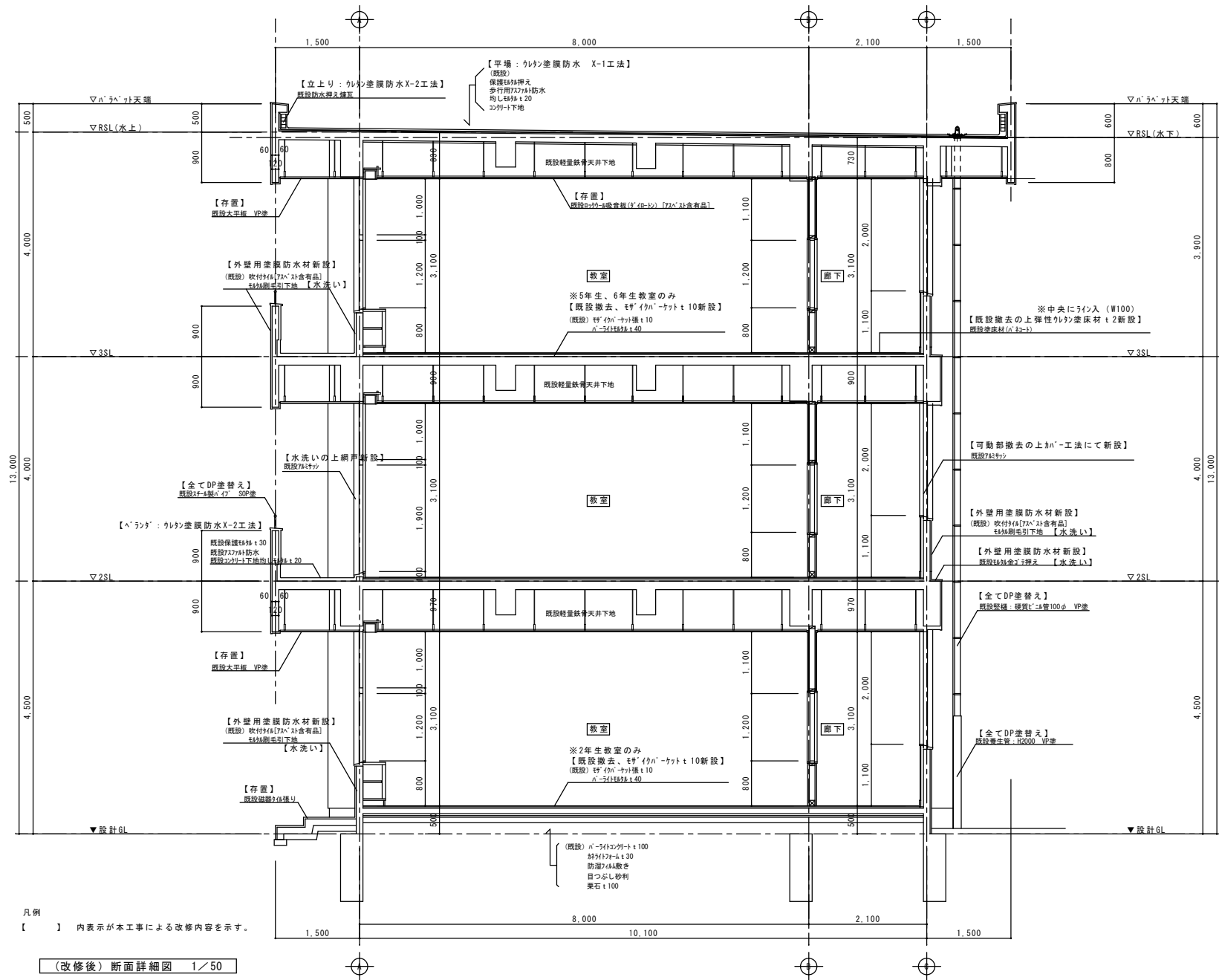


西側立面図 1/200

凡例 ※各仕上の詳細な仕様については、他図面を参照すること。			
記号	仕上	記号	仕上
ア	屋上 (改修前) 歩行用727防水 保護モルタル t30 (改修後) 平場: 9L27遮膜防水X-1工法 立上り: 9L27遮膜防水X-2工法	サ	樋 (改修前) 硬質塩ビ管100φ SGP差 養生管: H2000 (改修後) 堅樋: 既設塩ビ管DP差替 既設養生管: DP差替
イ	ベランダ (改修前) 歩行用727防水 保護モルタル t30 (改修後) 平場・立上り: 9L27遮膜防水X-2工法	シ	玄関前校取石段 (改修前) W70×H750×L130 (台座1270×330×H160) (改修後) 撤去処分
ウ	2階東側ベランダ (改修前) 歩行用727防水 保護モルタル t30の上塗り遮膜防水 (改修後) 平場: 9L27遮膜防水X-1工法 立上り: 9L27遮膜防水X-2工法	ス	ベランダ手摺 (改修前) スチール 42.7φ SGP差 21.7φφ1000 SGP差 (改修後) 撤去処分
エ	2階西側ベランダ (改修前) 歩行用727防水 保護モルタル t30の上塗り727防水 (改修後) 既設防水層撤去処分 平場: 9L27遮膜防水X-1工法 立上り: 9L27遮膜防水X-2工法 (改修後) 既設仕上存置	セ	校章 (改修前) 樹脂製校章 (改修後) 撤去処分の上、新設
オ	ベランダ上裏 (改修前) 大平板 t5 VP差 一部有孔板 (改修後) 既設仕上存置	ソ	玄関前 (改修前) コントラ舗装 (改修後) 既設コタテ舗装撤去切 20-G 新設
カ	外壁 (改修前) モルタル引下地 吹付3L [7A×S]含有品 水洗い(グシ程度) (改修後) 下地調整の上、ケラフ即下地発動緩衝材 外壁用遮膜防水材吹付	タ	屋上ラップ (改修前) 既設SP差 (改修後) DP差替
キ	根廻り (改修前) モルタル引上 (改修後) 既設仕上存置	チ	屋上トラス: 既設存置
ク	開口部 (改修前) 7A377 (改修後) 可動部のみ撤去処分 水洗いの上 加工工法にて新設	ツ	
ケ	開口部 (改修前) 7A377 (改修後) 水洗いの上 5Lのみ取替	テ	
コ	開口部 (改修前) 7A377 (改修後) 水洗いの上 網戸(0-1共) 新設	ト	

※外壁に面する7A377は全て既設周囲コナリ撤去処分の上新設(MS-2)とする。

特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)				承認	後図	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-16
	図面名称	(校舎) 立面図2	縮尺	(A2) 1/200 (A3) 1/282					訂正年月日				

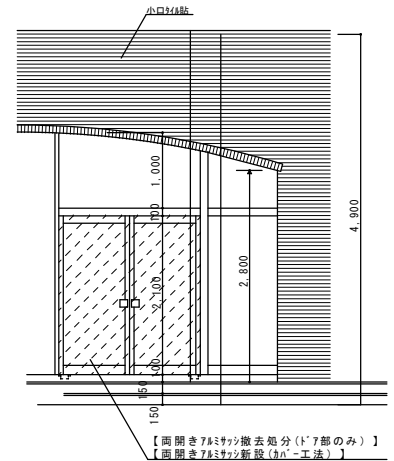
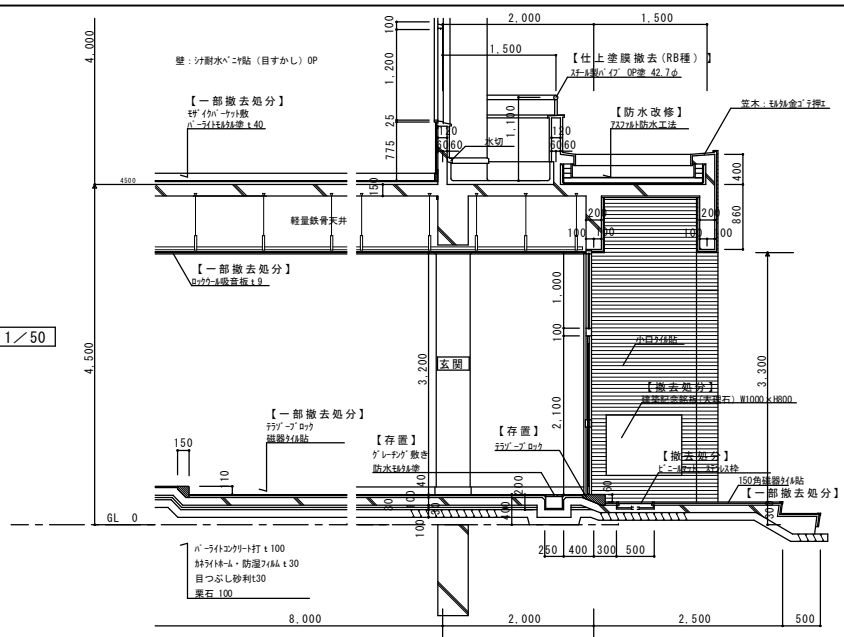


凡例
 【 】 内表示が本工事による改修内容を示す。

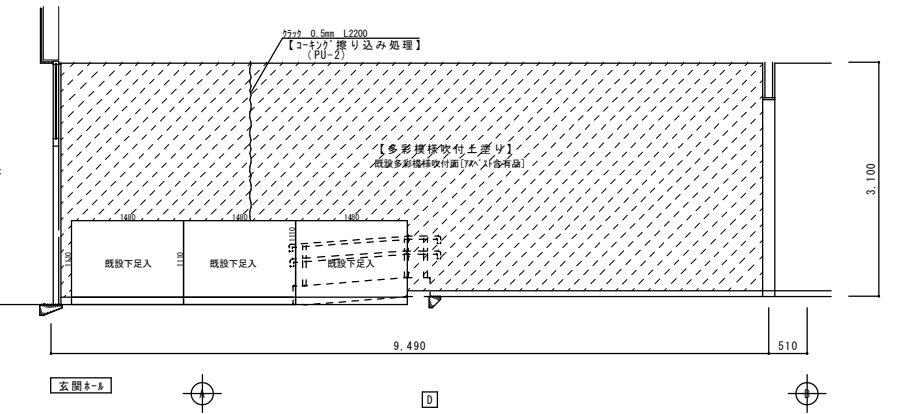
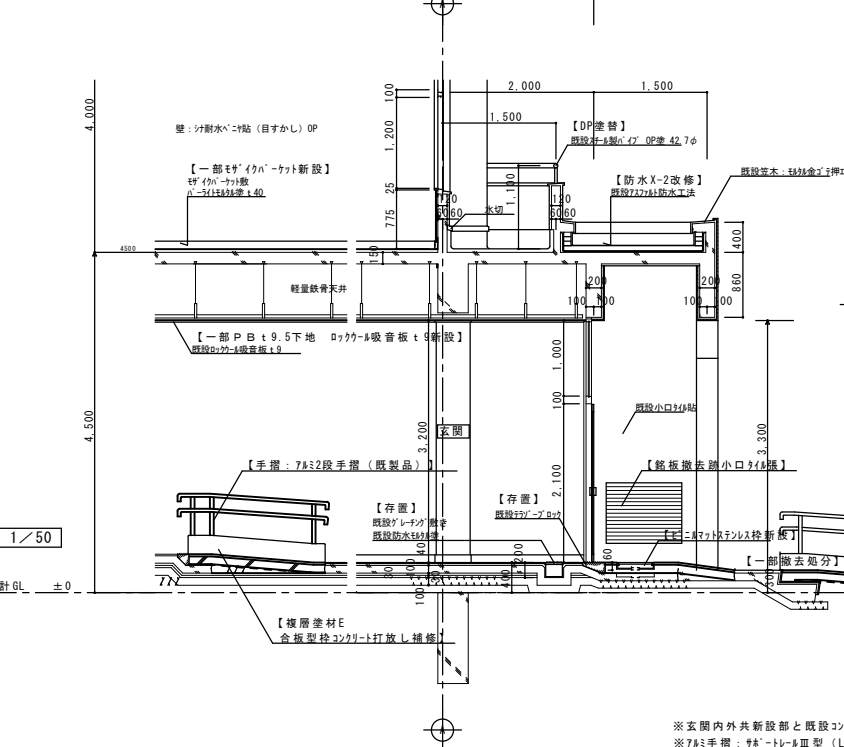
(改修後) 断面詳細図 1/50

特記 各仕上の詳細な仕様については他図面を参照にすること。	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)			承認	後図	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-17
	図面名称	(校舎) 断面詳細図1	普通教室部	縮尺	(A2) 1/50 (A3) 1/70				訂正年月日			

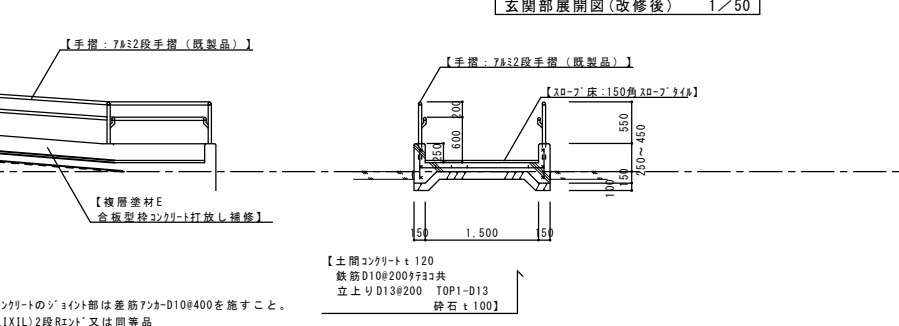
玄関断面詳細図(改修前) 1/50



玄関断面詳細図(改修後) 1/50

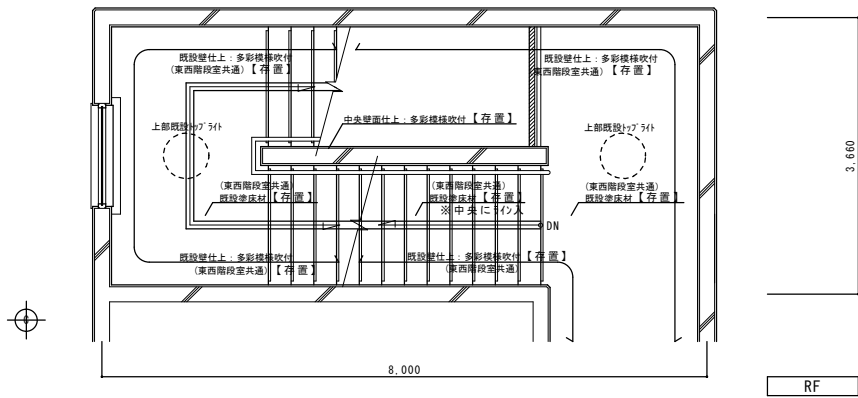


玄関部展開図(改修後) 1/50

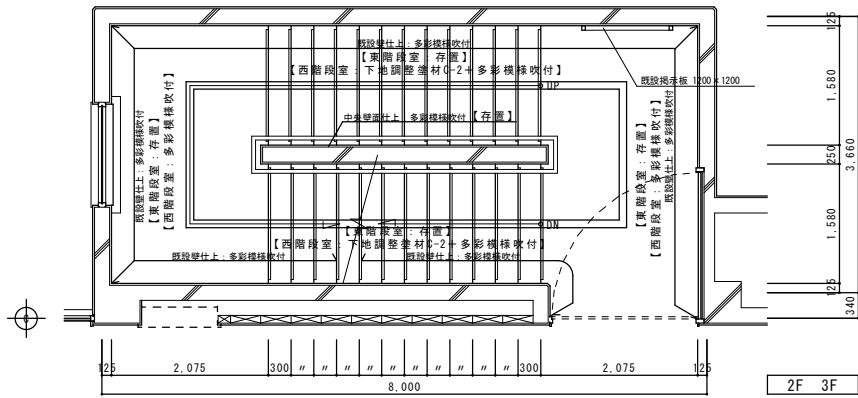


※玄関内外新設部と既設コンクリートのジョイント部は差筋7&ホ-D10&400を施すこと。
 ※7&ミ手摺: 特-トレムⅢ型(LIXIL)2段R&ント又は同等品

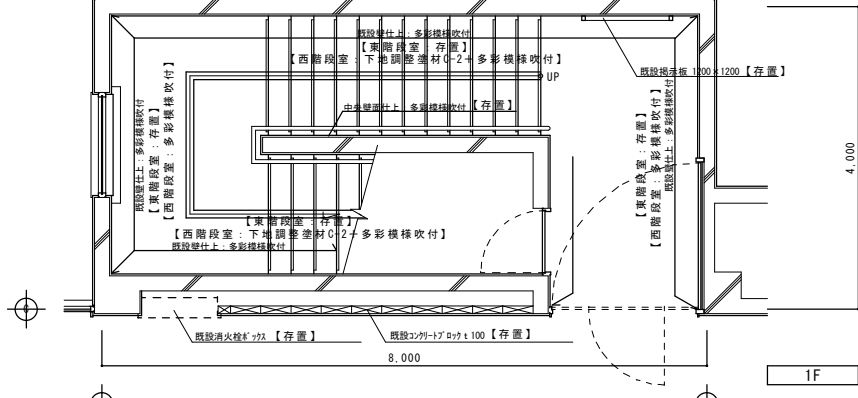
特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)			承認	後援	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-19
	図面名称	(校舎) 断面詳細図3	玄関部	縮尺	(A2) 1/50 (A3) 1/70				訂正年月日			



RF

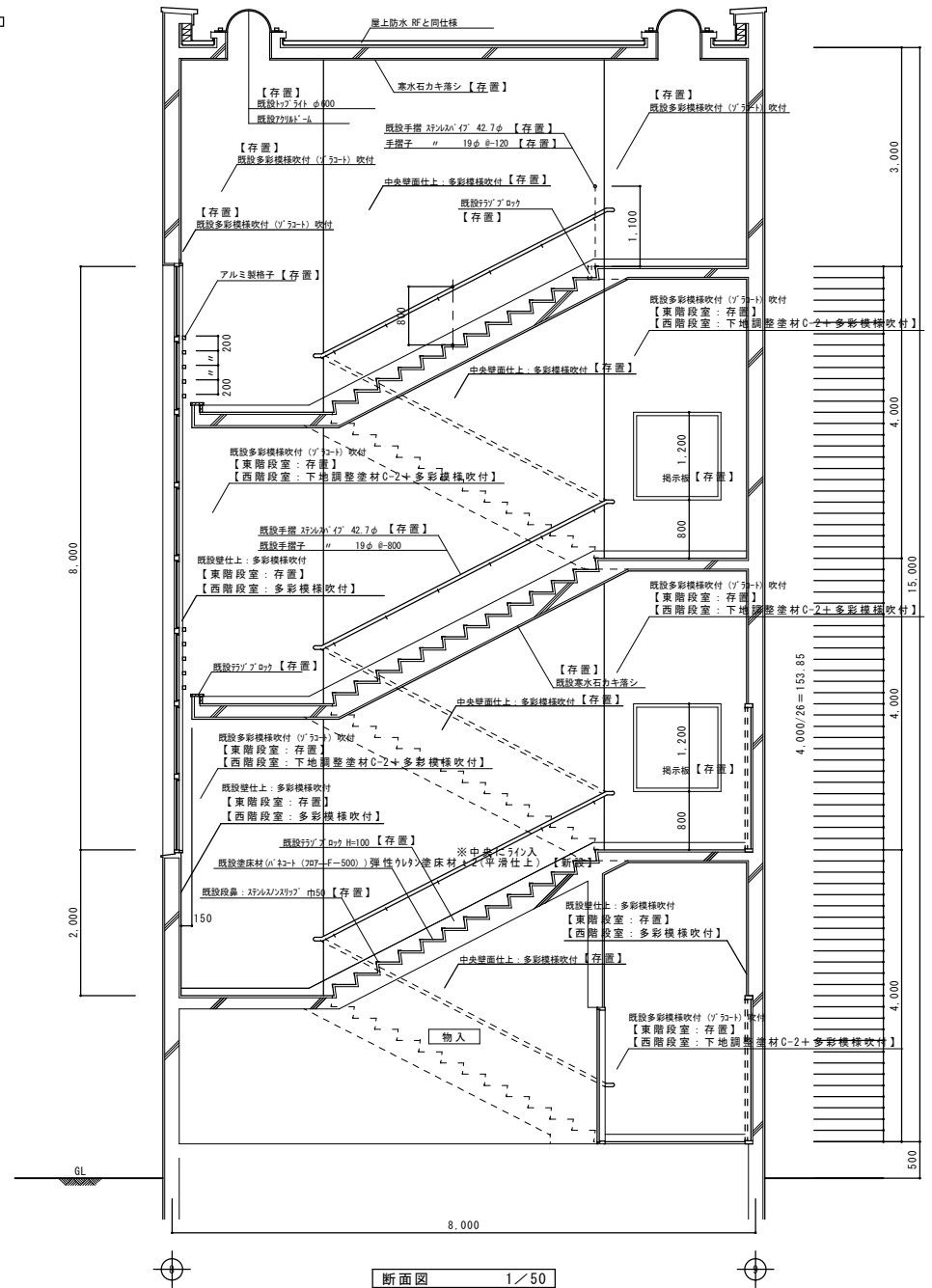
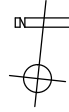


2F 3F



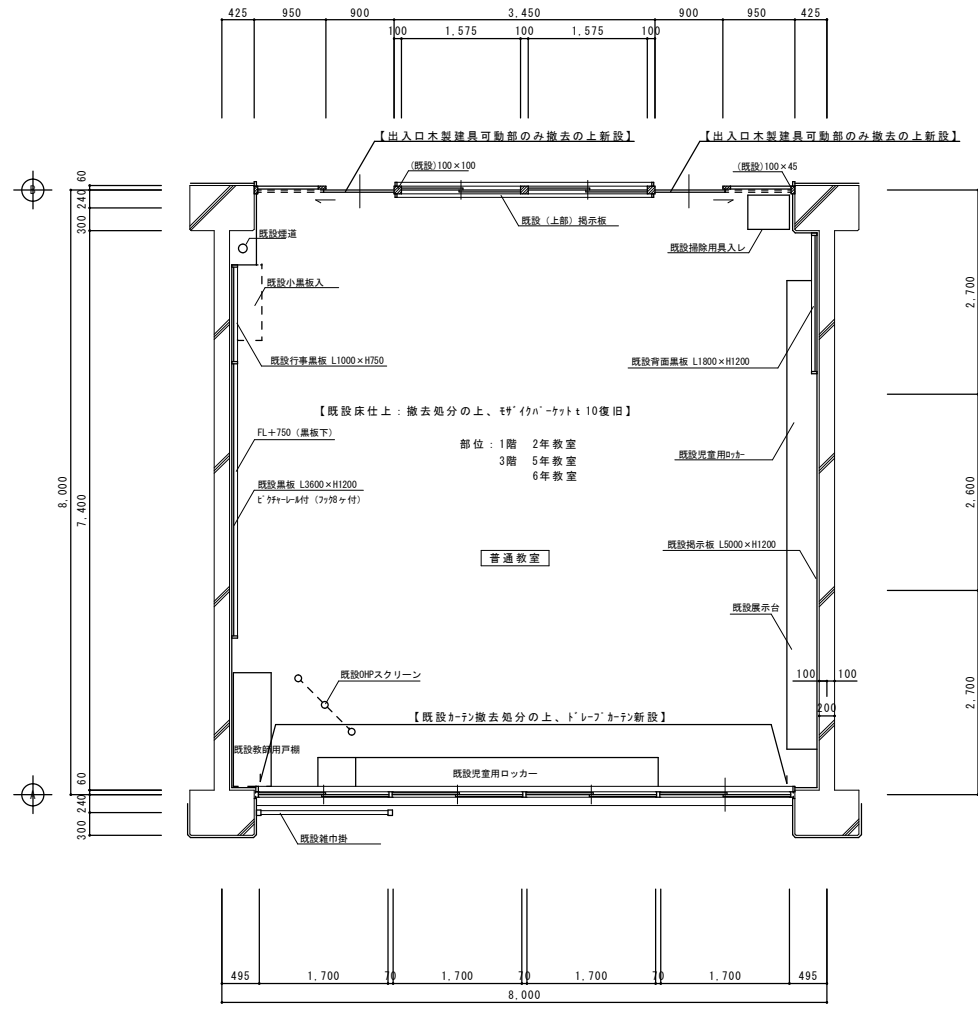
1F

平面詳細図 1/50

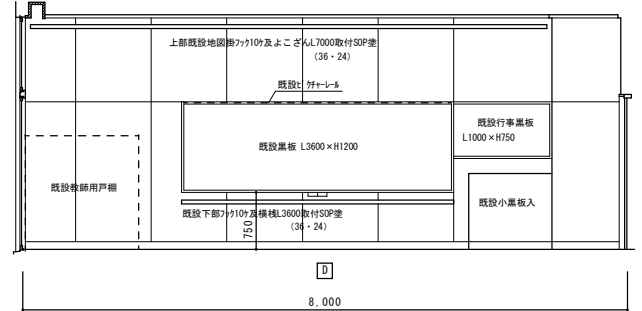
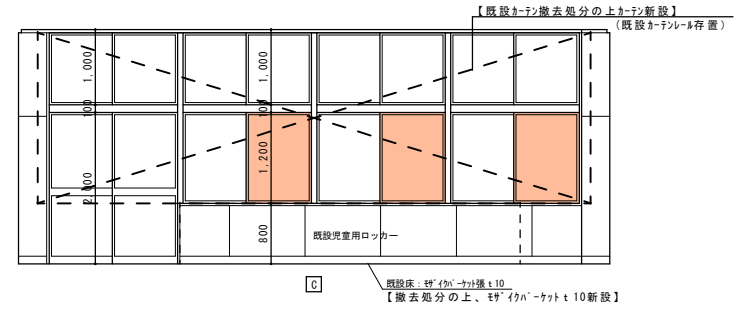
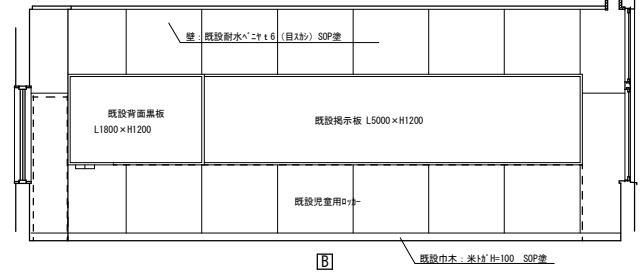
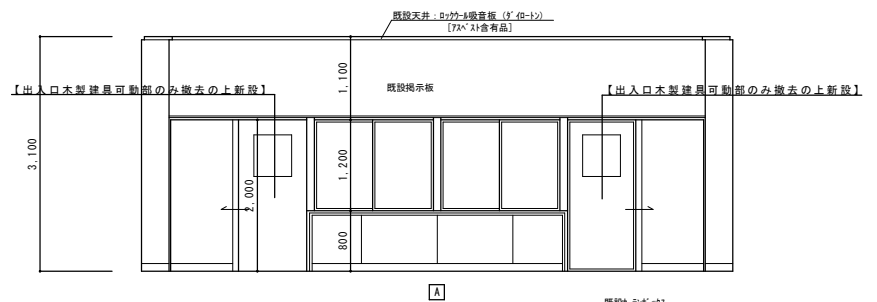
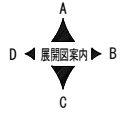


断面図 1/50

特記 壁面改修仕上については、下地調整塗材C-2多彩塗部位には現在、描画されているものである。	工事名称 依那古小学校統合改修工事（建築主体工事）	承認 	後援 	設計 	製図 	作図年月日 2022.01	図面No. KA-21
	図面名称 (校舎)階段詳細図	縮尺 (A2) 1/50 (A3) 1/70			訂正年月日		



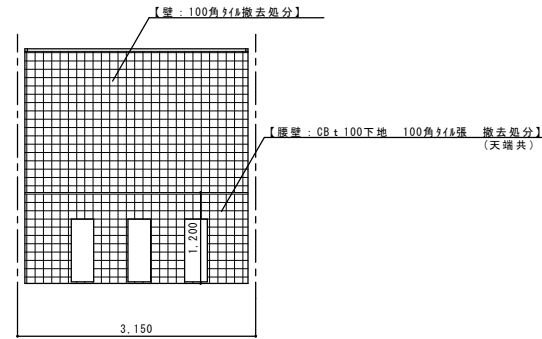
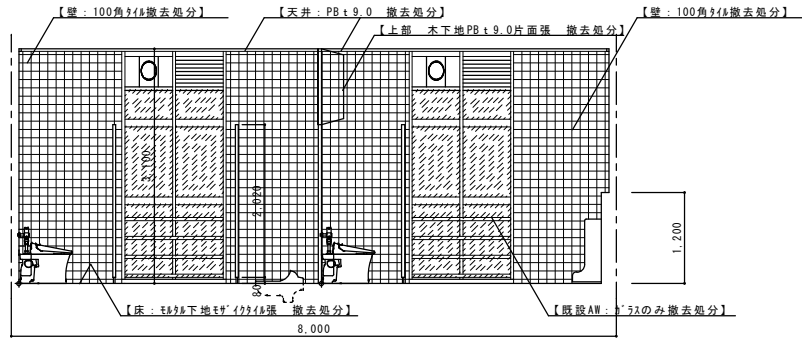
平面詳細図 1/50



展開図 1/50

→ 既設7x10寸水洗いの上、網戸(レール共)新設部を示す。

特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)			承認	後援	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-22
	図面名称	(校舎) 普通教室平面詳細図・展開図	縮尺	(A2) 1/50 (A3) 1/70					訂正年月日			

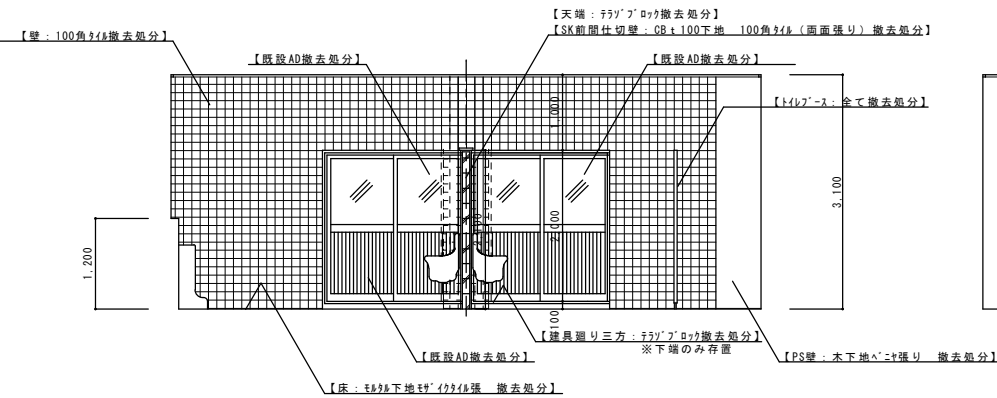


1-3階生徒用便所

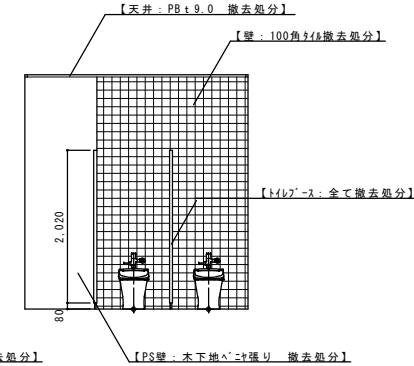
※衛生機器の撤去又は一時撤去再利用については、機械設備図参照

A

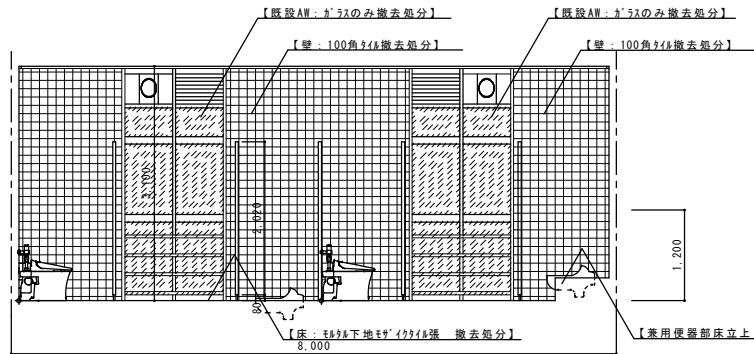
B



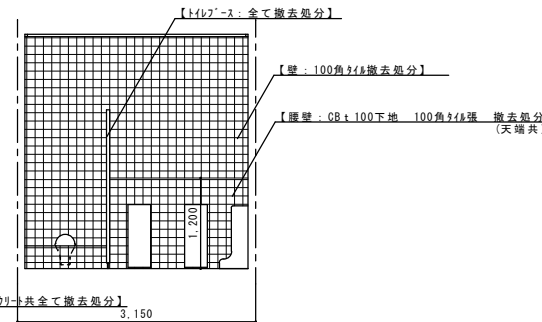
C



D



A



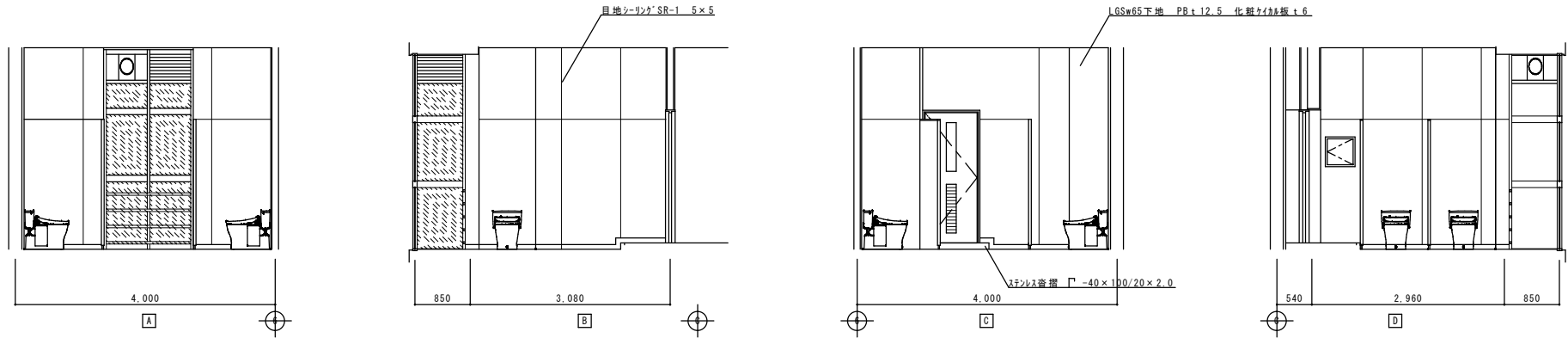
B

2階生徒用便所

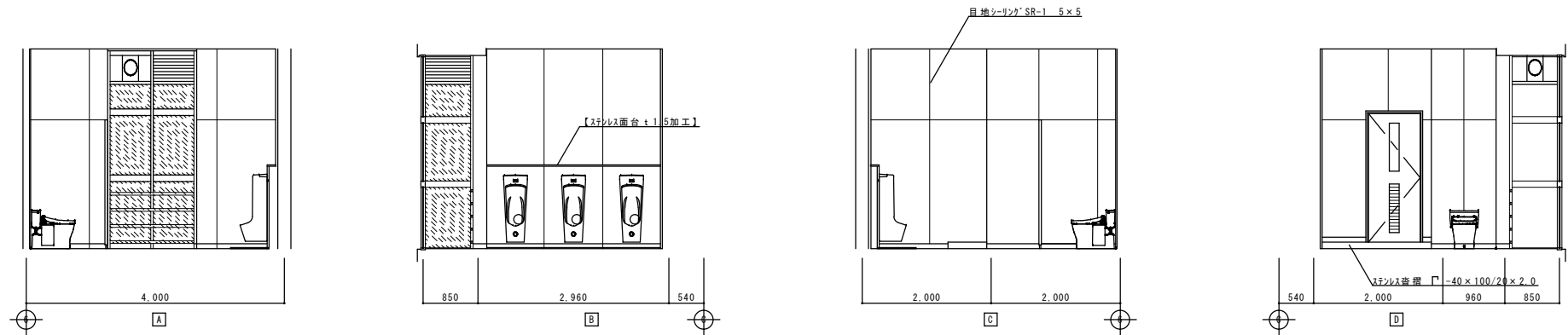
※C面・D面は1階便所と同様

特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)			承認	検閲	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-24
	図面名称	(校舎) 生徒用便所展開図1 (改修前)	縮尺	(A2) 1/50 (A3) 1/70					訂正年月日			

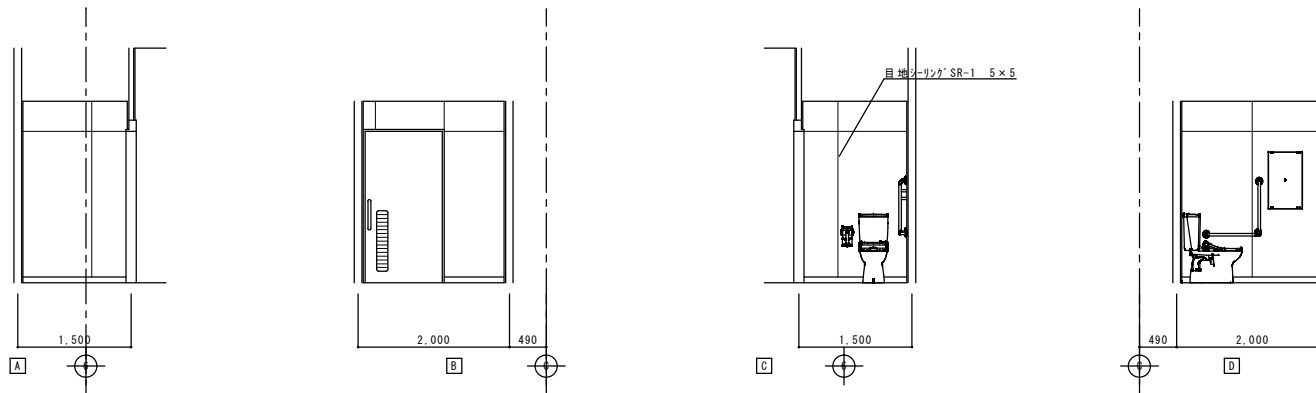
1階女子便所



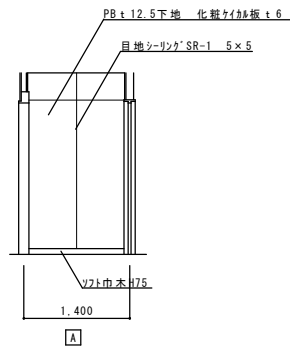
1階男子便所



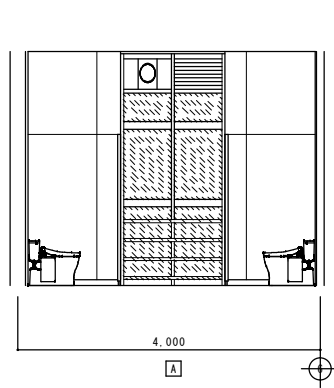
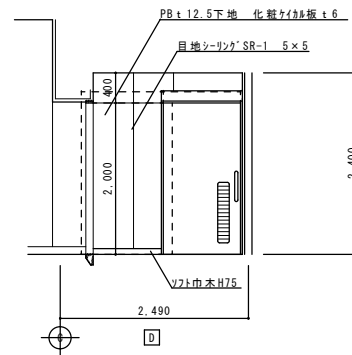
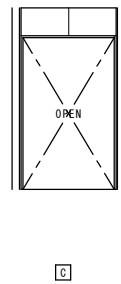
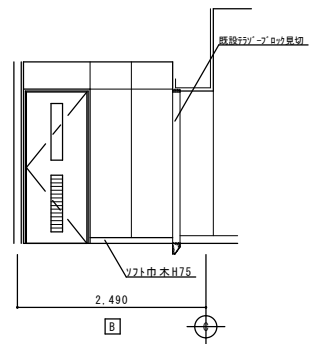
多機能トイレ



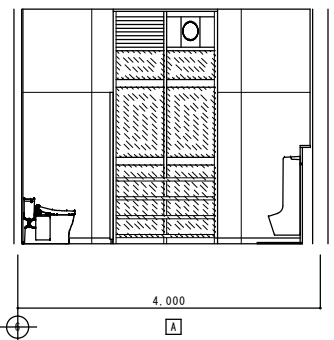
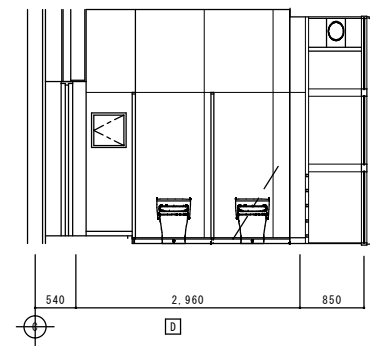
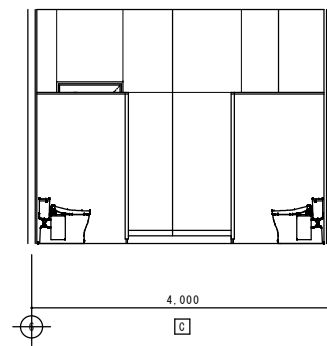
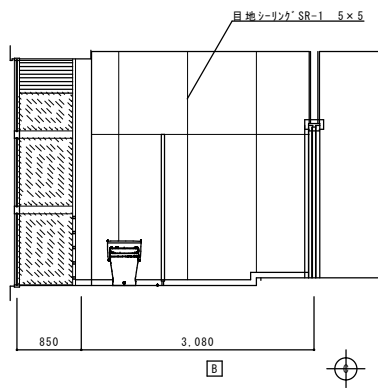
特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)		承認	検閲	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-25
	図面名称	(校舎) 生徒用便所展開図2(改修後)	縮尺	(A2) 1/50 (A3) 1/70				訂正年月日			



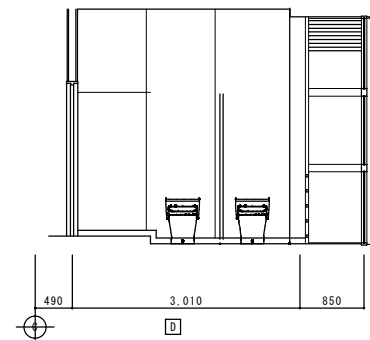
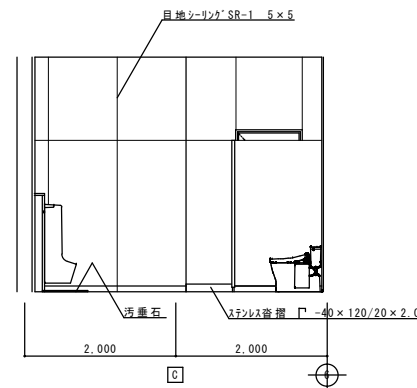
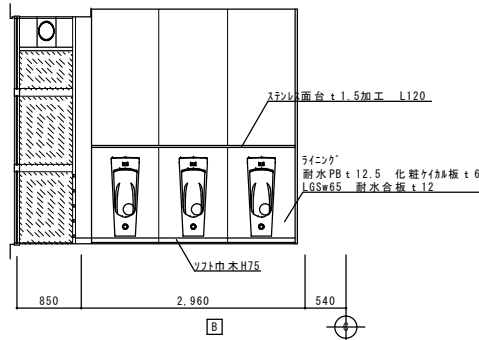
1階便所前通路



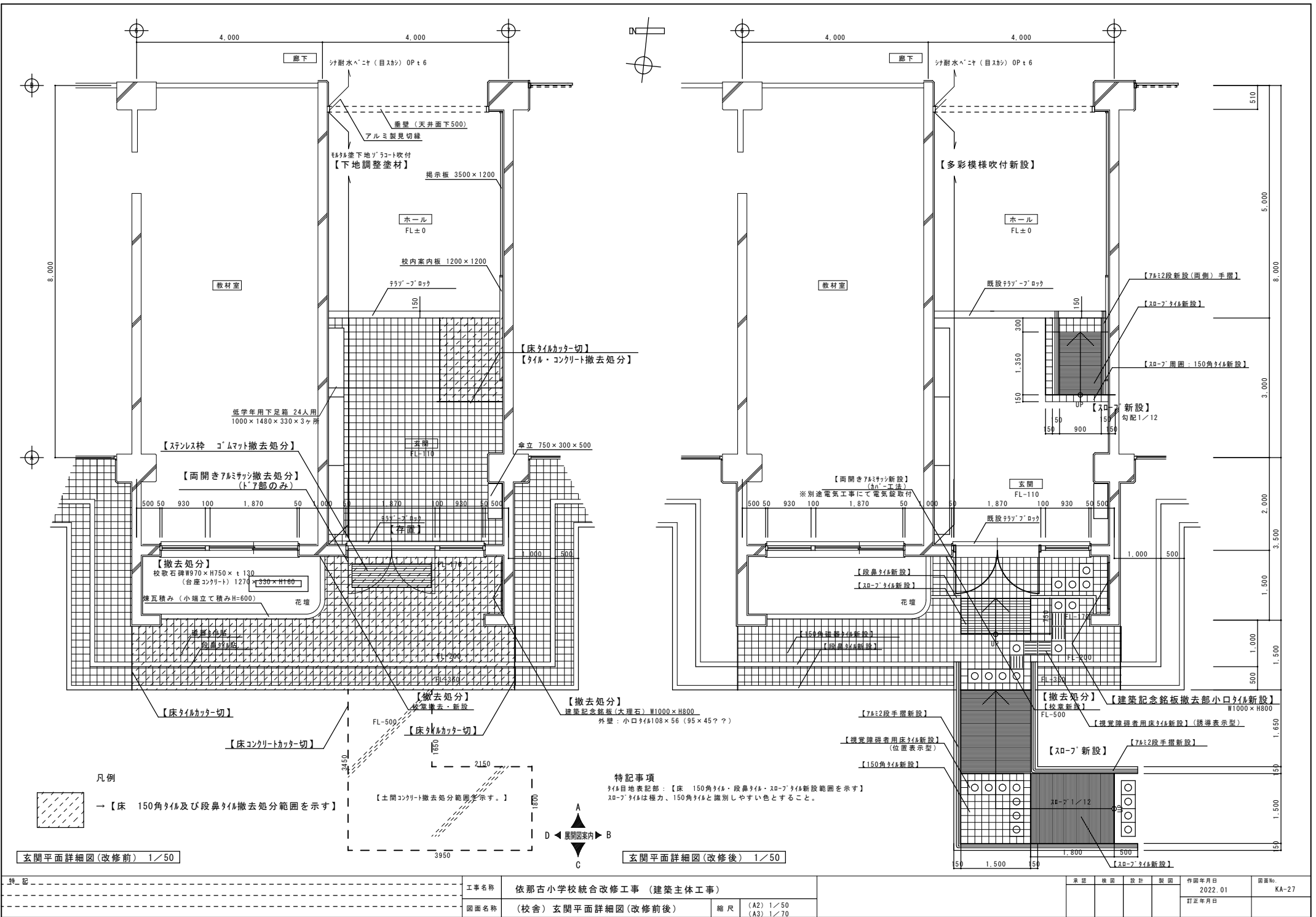
2階-3階女子便所



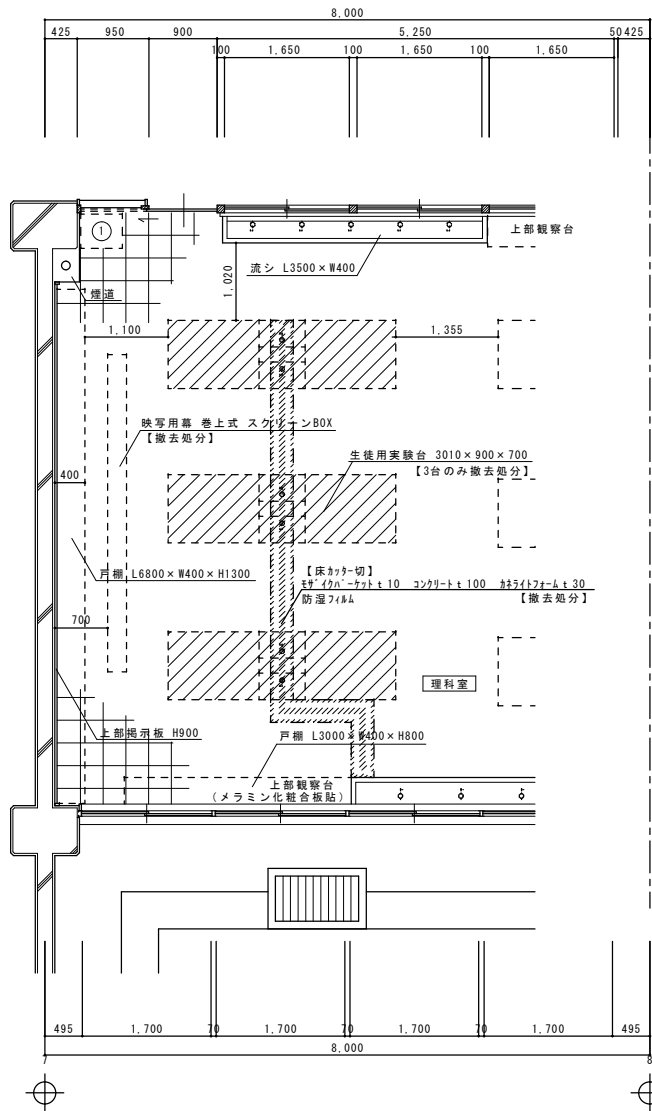
2階3階男子便所



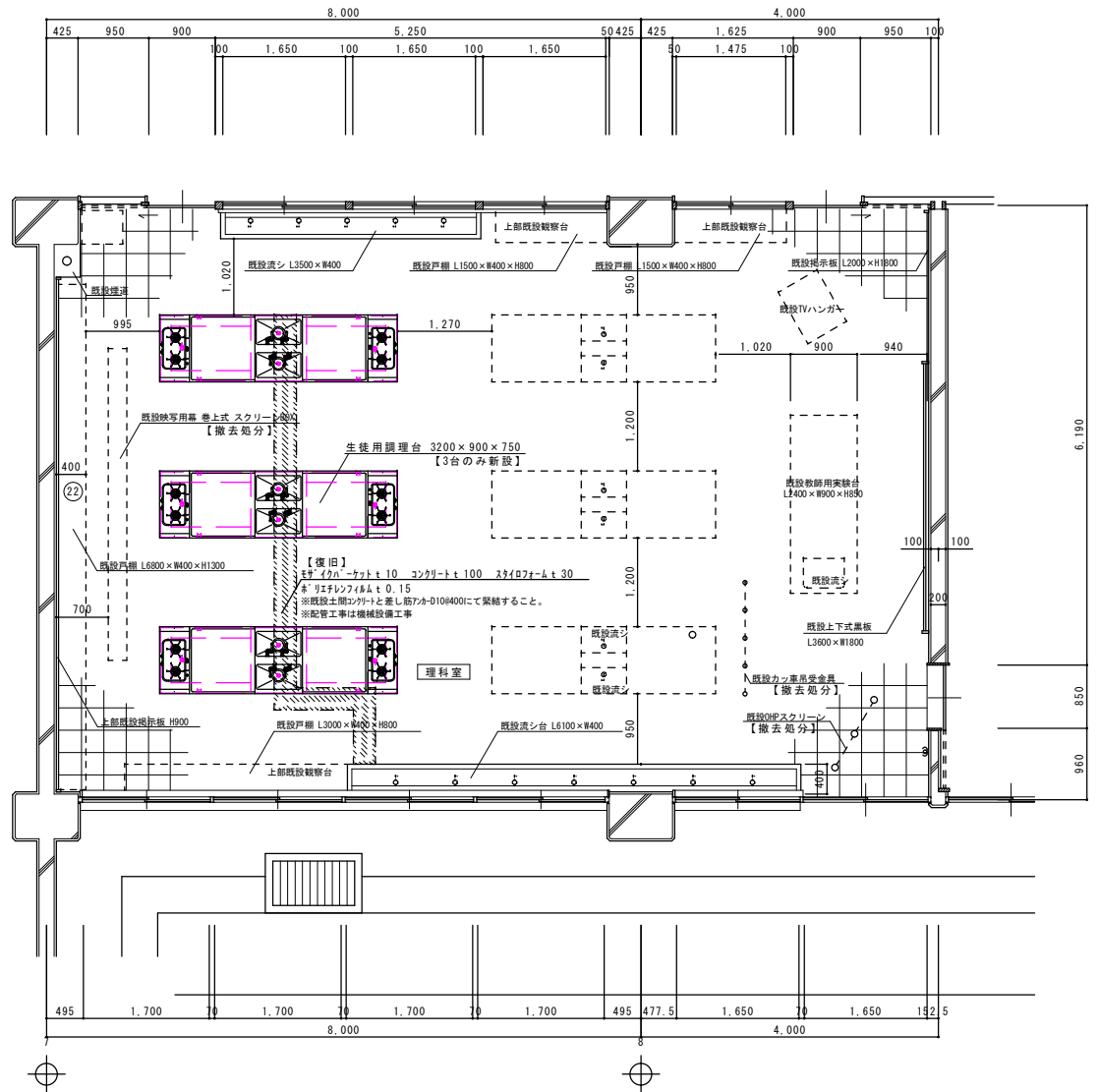
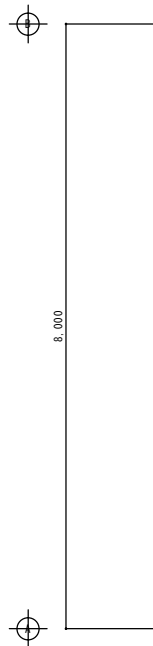
特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)			承認	検閲	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-26
	図面名称	(校舎) 生徒用便所展開図3(改修後)	縮尺	(A2) 1/50 (A3) 1/70					訂正年月日			



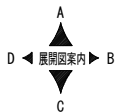
特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)			承認	後援	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-27
	図面名称	(校舎) 玄関平面詳細図(改修前後)	縮尺	(A2) 1/50 (A3) 1/70					訂正年月日			



(改修前) 理科室平面詳細図 1/50

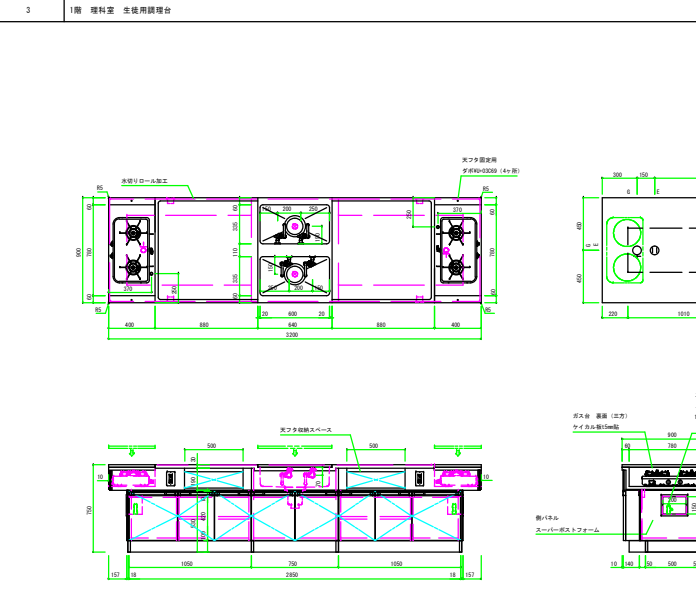
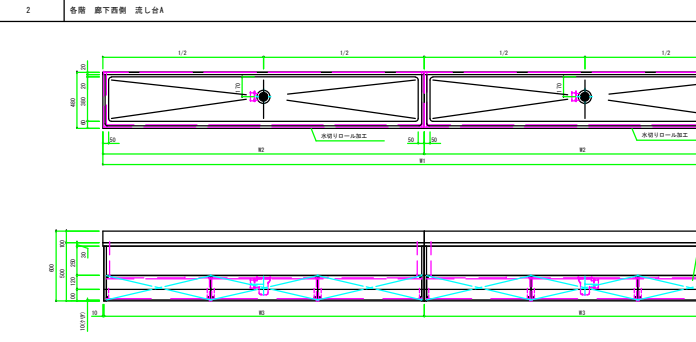
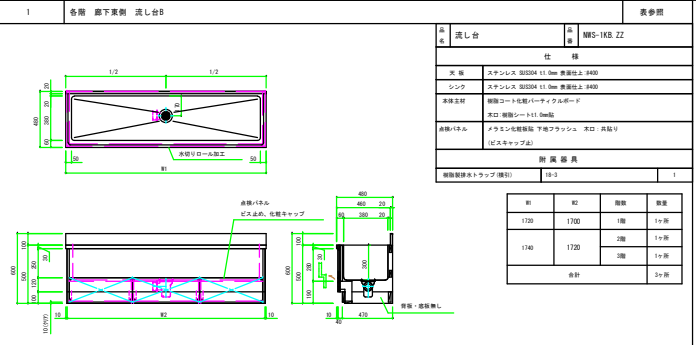
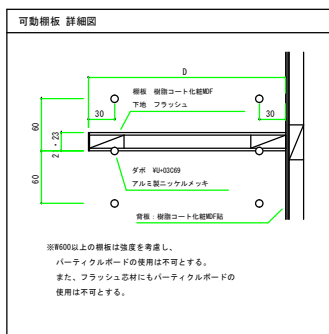
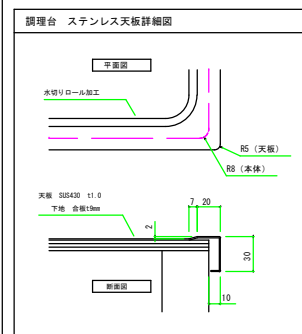
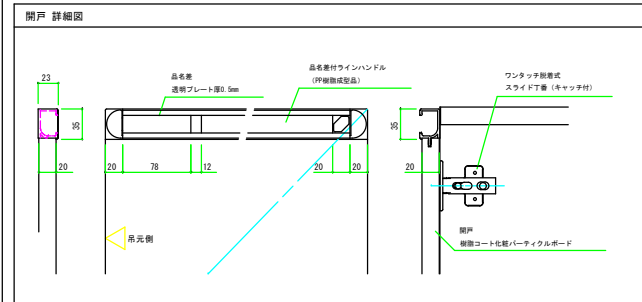


(改修後) 理科室平面詳細図 1/50



特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)			承認	後援	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-28
	図面名称	(校舎) 理科室平面詳細図(改修前後)	縮尺	(A2) 1/50 (A3) 1/70					訂正年月日			

木製家具標準仕様 『特記無き場合は下記の仕様とする』	
地球環境問題(リサイクル、温暖化等)に配慮し、かつ室内におけるホルムアルデヒドの空气中濃度を下げること、主眼を置き、各種有機溶剤や可塑剤等の有害物質についてもその残留、放散を極力抑制する為以下の仕様とする。	
樹脂コート化粧 パーティクルボード (E00ボードプラス)	ホルムアルデヒド放散量「0.04㎎/リ」以下とする。 マテリアルサイズル可能な(スラミン樹脂塗の低圧メラミン等)は使用不可) 「JIS A 5905」適合品の国内生産品とする。 裏面材：黒色は防汚機能を有するメラミンコート、木目柄は天然木の質感を持つ高貴ワレタンコート
樹脂コート化粧MF (NE0ボードプラス)	JIS-F☆☆☆☆適合品 MFは難燃木材の使用比率70%以上とし、「防燃マーク」、「木目さいサイクルマーク」取得品とする 「JIS A 5905」適合品の国内生産品とする。 裏面材：黒色は防汚機能を有するメラミンコート、木目柄は天然木の質感を持つ高貴ワレタンコート
ポリエステル化粧合板	JAS-F☆☆☆☆適合品
各種合板	JAS-F☆☆☆☆適合品
接着剤	厚生労働省のVOC指定13物質を含んでいないものを使用する。『☆☆☆』適合品
本体	主材：樹脂コート化粧パーティクルボード t:20 (E00ボードプラス) 背板、地盤取付板：樹脂コート化粧MF (NE0ボードプラス) 4mm
木口	本体裏面：非塩ビ化粧樹脂シート t:1.0貼 本体裏面：非塩ビ化粧樹脂シート t:0.45貼
開戸(板戸)	樹脂コート化粧パーティクルボード t:20 (E00ボードプラス)、木口：非塩ビ化粧樹脂シート t:0.45貼 ワンタッチ脱着式スライド下蓋(キャッチ機能付) 105KH-0080開き
可動式棚板	樹脂コート化粧MFフラッシュ (NE0ボードプラス) 棚板下面にずれ止めのダボジャッキを施すこと。 ※900以上の棚板は強度を考慮し、パーティクルボードの使用は不可とする。 また、フラッシュ芯材にもパーティクルボードの使用は不可とする。 棚受けがボルト・N-0329mm径 t:3式(114) アルミ製ニッケルメッキ t:60mm 3段
台板	ポリエステル化粧合板貼 下地：ランバーコア合板 t:15 (四方角)
ステンレス天板	SUS304 t:1.0 裏面仕上：#400 低塩アルゴン溶接加工品 下地：合板 t:9mm
ステンレスシownik	SUS304 t:1.0 裏面仕上：#400 低塩アルゴン溶接加工品 ※板厚が厚くなるため、プレス加工品は使用不可とする。
排水トラップ	N-148Pa：樹脂製(ステンレスプレート、大型ゴミカゴ付) トラップ接続径：40A ※給排水管やそれらの接続、及び接続に隣る穴あけ等の二次加工は設備工事とする。
共通	※「日本家具保証協会」認定企業の生産品。及び管理標準とする。 ※施工承認時に製作家具のカタログを提出し、監理者へ商品説明をおこなうこと。 ※「西島家具工業社」製。又は同等品以上とすること。 ※製作家具本体は国内生産品とする。

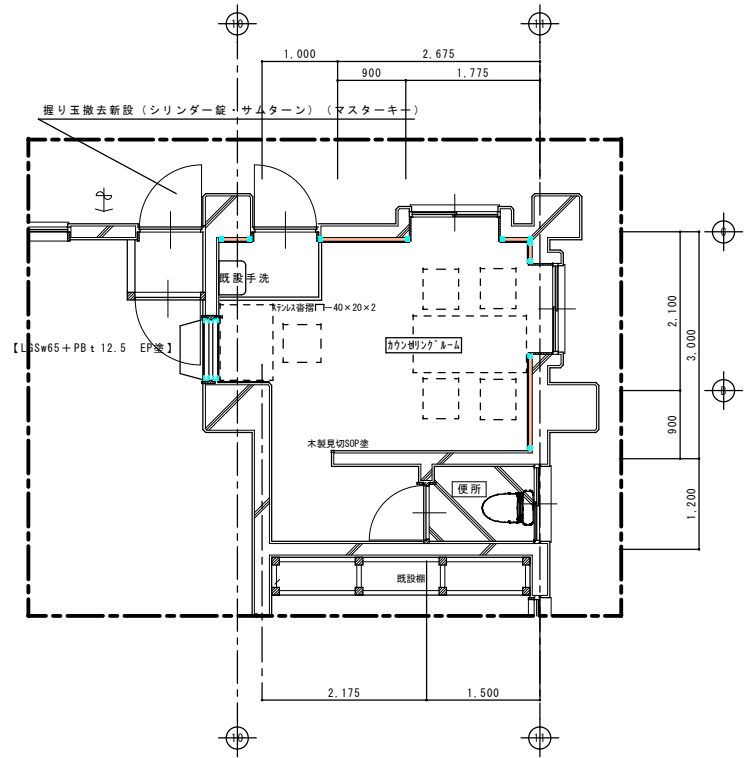
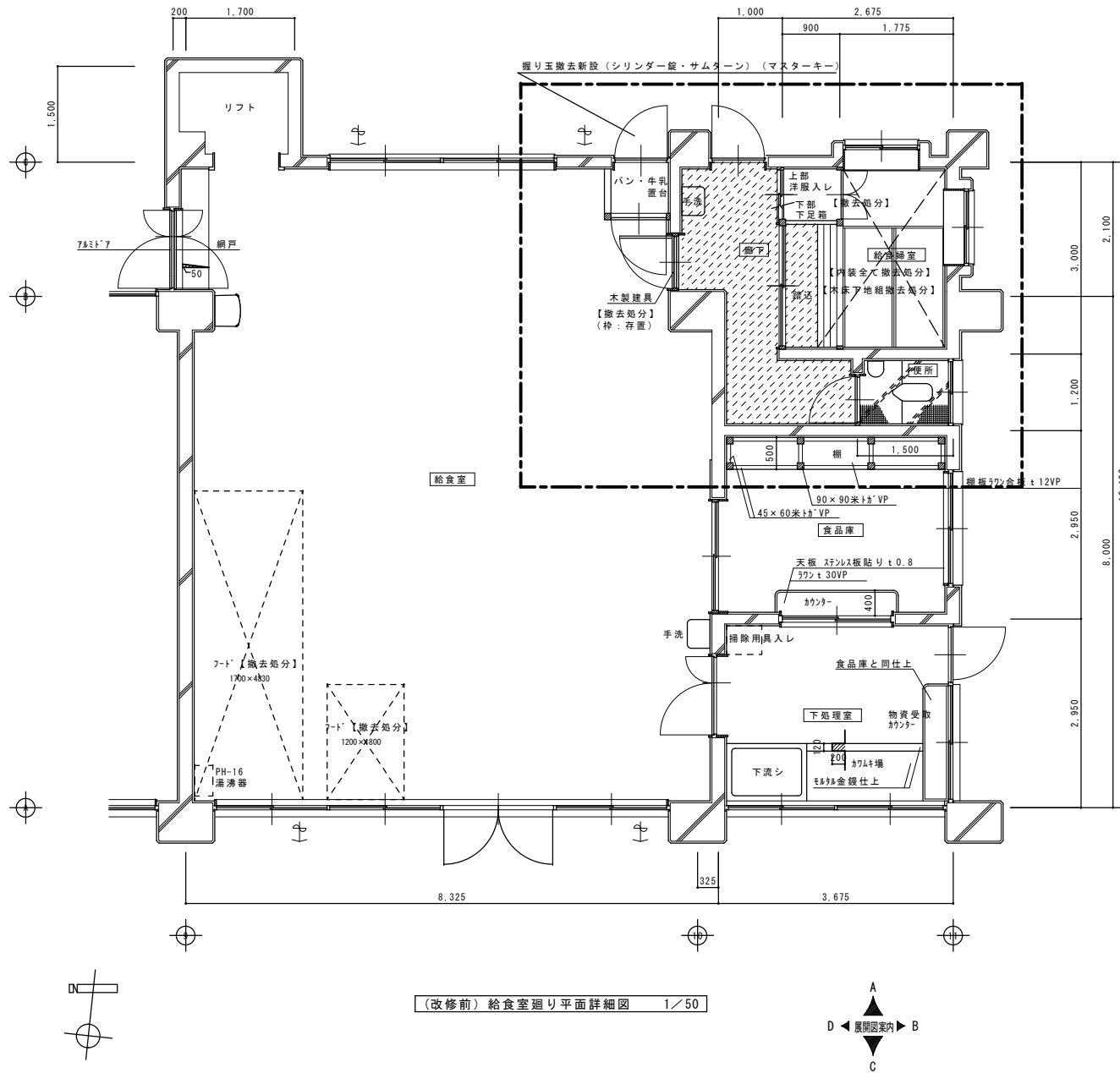


洗し台		品名		数量	
品名	ステンレス SUS304 t:1.0mm 裏面仕上 #400	数量	1個	単位	1ヶ所
シンク	ステンレス SUS304 t:1.0mm 裏面仕上 #400	数量	2個	単位	1ヶ所
本体裏材	樹脂コート化粧パーティクルボード	数量	2700	単位	1ヶ所
天板	ステンレス SUS430 t:1.0mm 裏面仕上 #400	数量	2300	単位	1ヶ所
シンク	ステンレス SUS304 t:1.0mm 裏面仕上 #400	数量	2370	単位	1ヶ所
合計					3ヶ所

洗し台		品名		数量	
品名	ステンレス SUS304 t:1.0mm 裏面仕上 #400	数量	1個	単位	1ヶ所
シンク	ステンレス SUS304 t:1.0mm 裏面仕上 #400	数量	2個	単位	1ヶ所
本体裏材	樹脂コート化粧パーティクルボード	数量	2700	単位	1ヶ所
天板	ステンレス SUS430 t:1.0mm 裏面仕上 #400	数量	2300	単位	1ヶ所
シンク	ステンレス SUS304 t:1.0mm 裏面仕上 #400	数量	2370	単位	1ヶ所
合計					3ヶ所

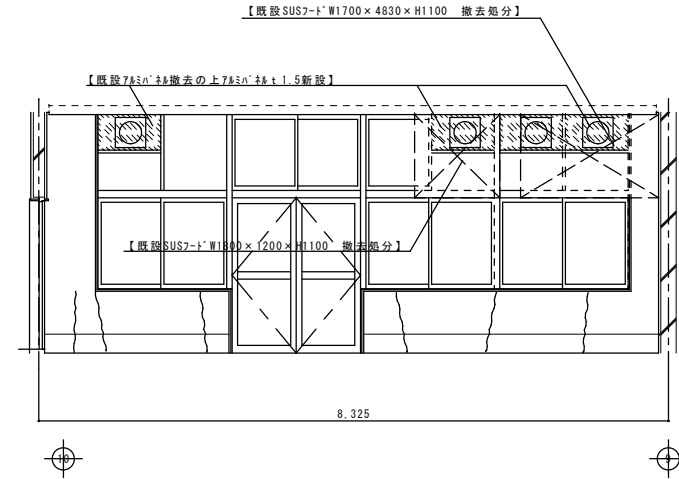
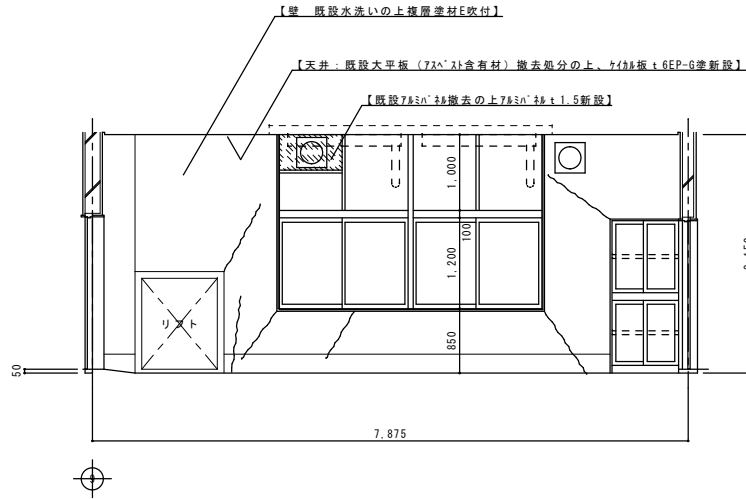
生徒用調理台		品名		数量	
品名	ステンレス SUS304 t:1.0mm 裏面仕上 #400	数量	1個	単位	1ヶ所
シンク	ステンレス SUS304 t:1.0mm 裏面仕上 #400	数量	2個	単位	1ヶ所
本体裏材	樹脂コート化粧パーティクルボード	数量	2700	単位	1ヶ所
天板	ステンレス SUS430 t:1.0mm 裏面仕上 #400	数量	2300	単位	1ヶ所
シンク	ステンレス SUS304 t:1.0mm 裏面仕上 #400	数量	2370	単位	1ヶ所
合計					3ヶ所

特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事(建築主体工事)		承認	概算	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-29
	図面名称	(校舎)理科室家具詳細図	縮尺	(A2) 1/30 (A3) 1/42				訂正年月日			



- 凡例
- 廊下 床モルタル撤去処分 範囲を示す。
 - 便所 床モルタル下地 モノイタイル 塗膜防水 土間 鉄筋コンクリート t100 撤去処分範囲を示す
 - 便所 床モルタル下地 長尺塩ビシート t2.0 土間 鉄筋コンクリート t100 ワイヤメッシュφ150×150 ※既設躯体との取り合い部は差し筋アンカ-D10@400を施すこと。

特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)				承認	検閲	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-30
	図面名称	(校舎) 給食室廻り平面詳細図 (改修前後)	縮尺	(A2) 1/50 (A3) 1/70						訂正年月日			

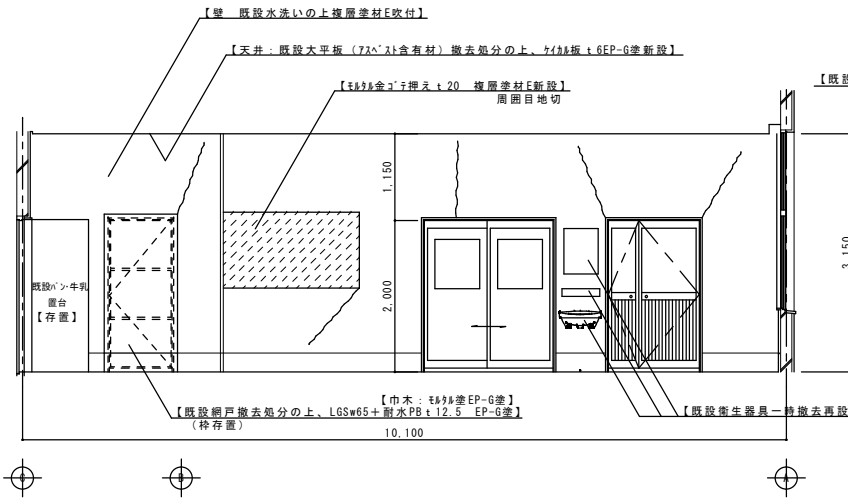


給食室

A

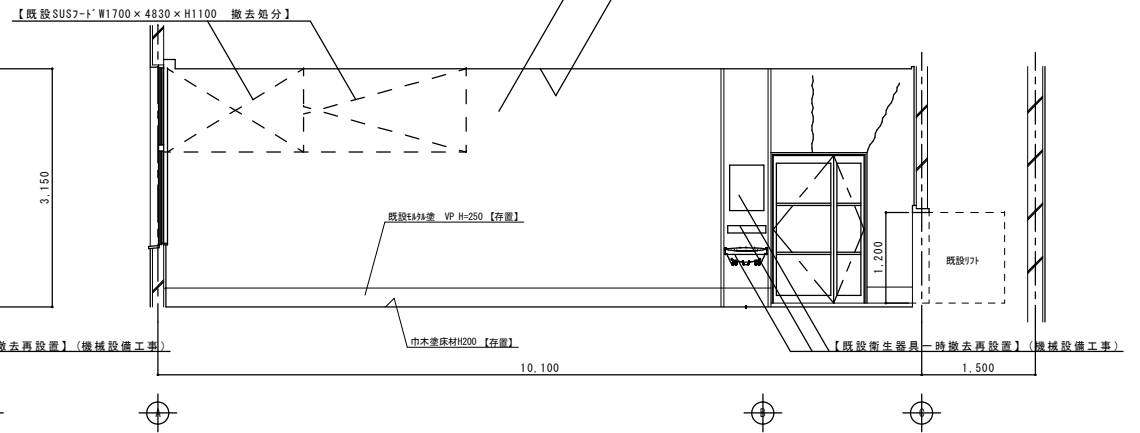
C

既設0.3mm以上のクラック位置を示す。
 L800×8 = 3.60m
 L1000×11 = 11.00m
 L2000×1 = 2.00m
 給食室内計 16.60m
 【補修方法】0.3mm～1.00mm : 樹脂注入工法 軟質系エポキシ樹脂
 1.00mm以上 : Uカットシール材充填工法 シーリング材



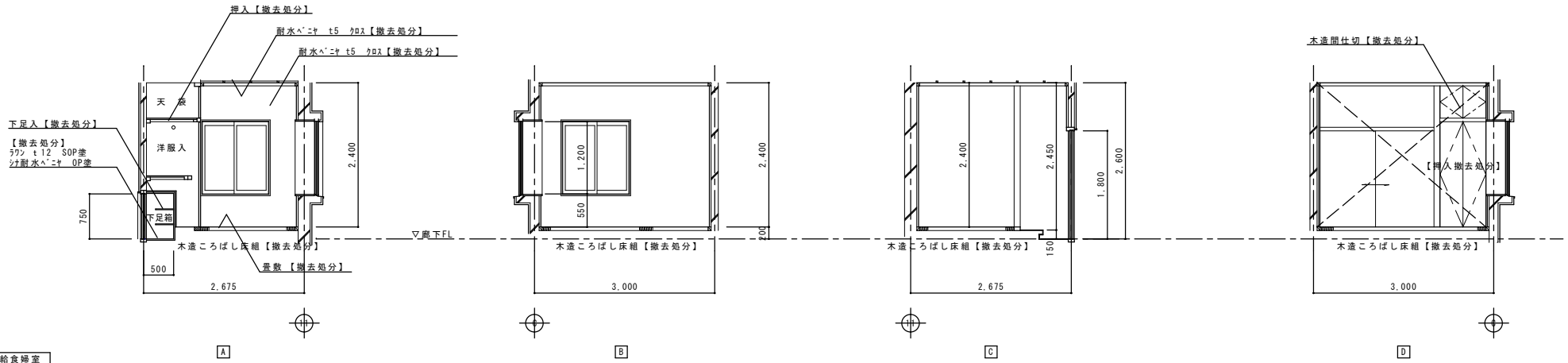
B

給食室展開図 1/50

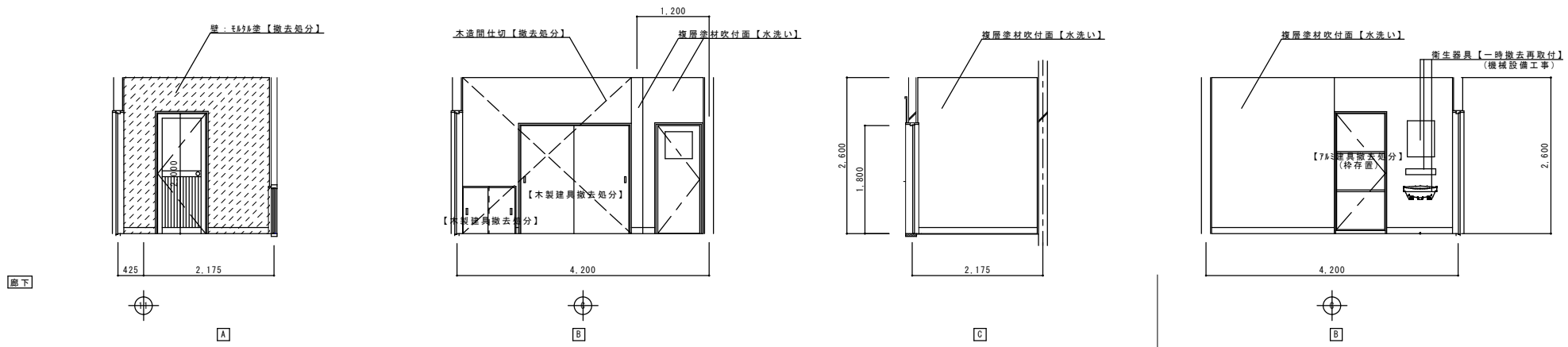


D

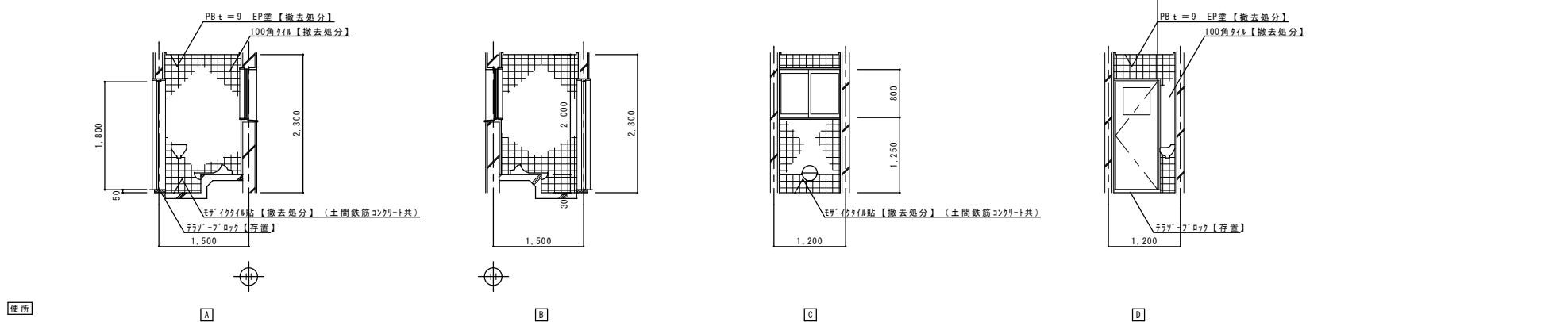
特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)			承認	後援	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-31
	図面名称	(校舎) 給食室展開図	縮尺	(A2) 1/50 (A3) 1/70				訂正年月日				



給食婦室

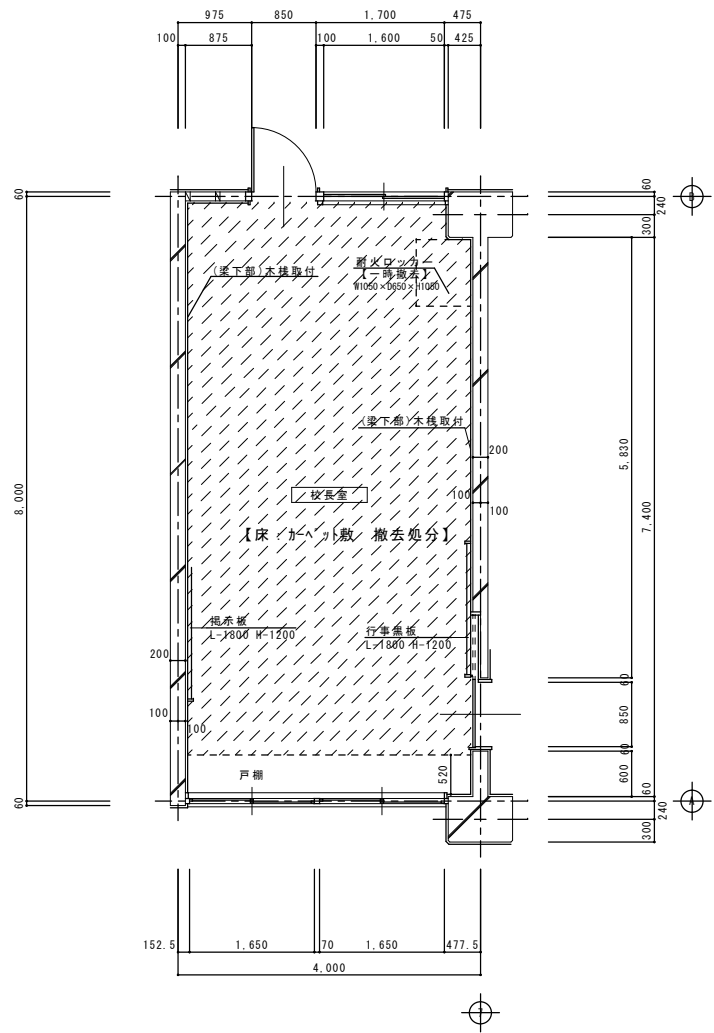


便所

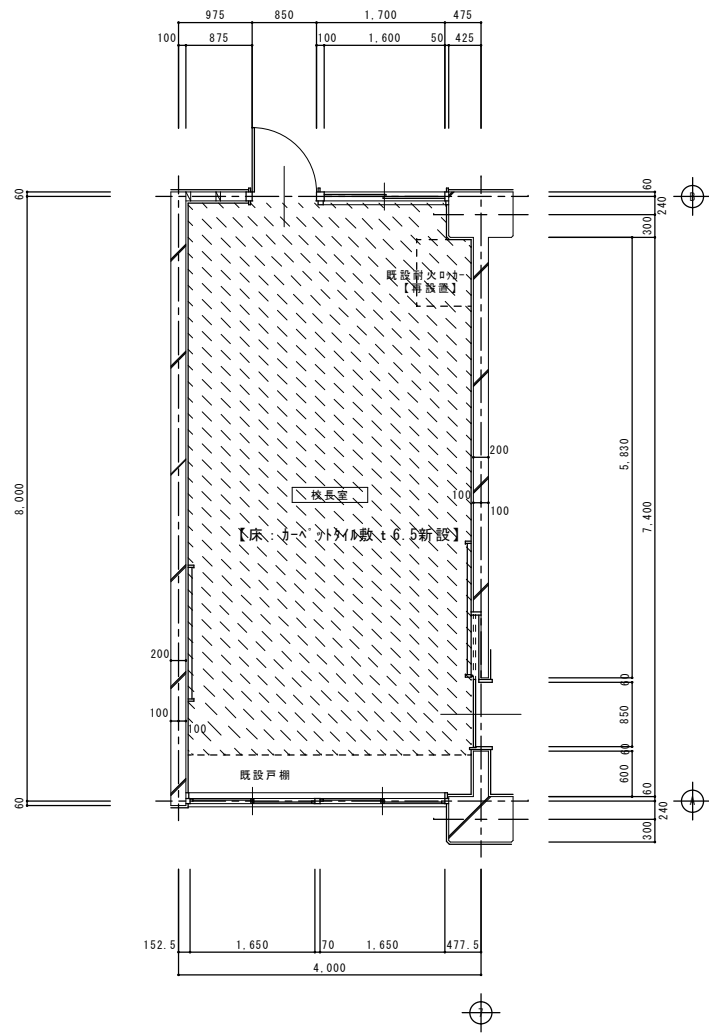


便所

特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)			承認	後図	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-32
	図面名称	(校舎) 給食婦室・便所展開図(改修前)	縮尺	(A2) 1/50 (A3) 1/70				訂正年月日				

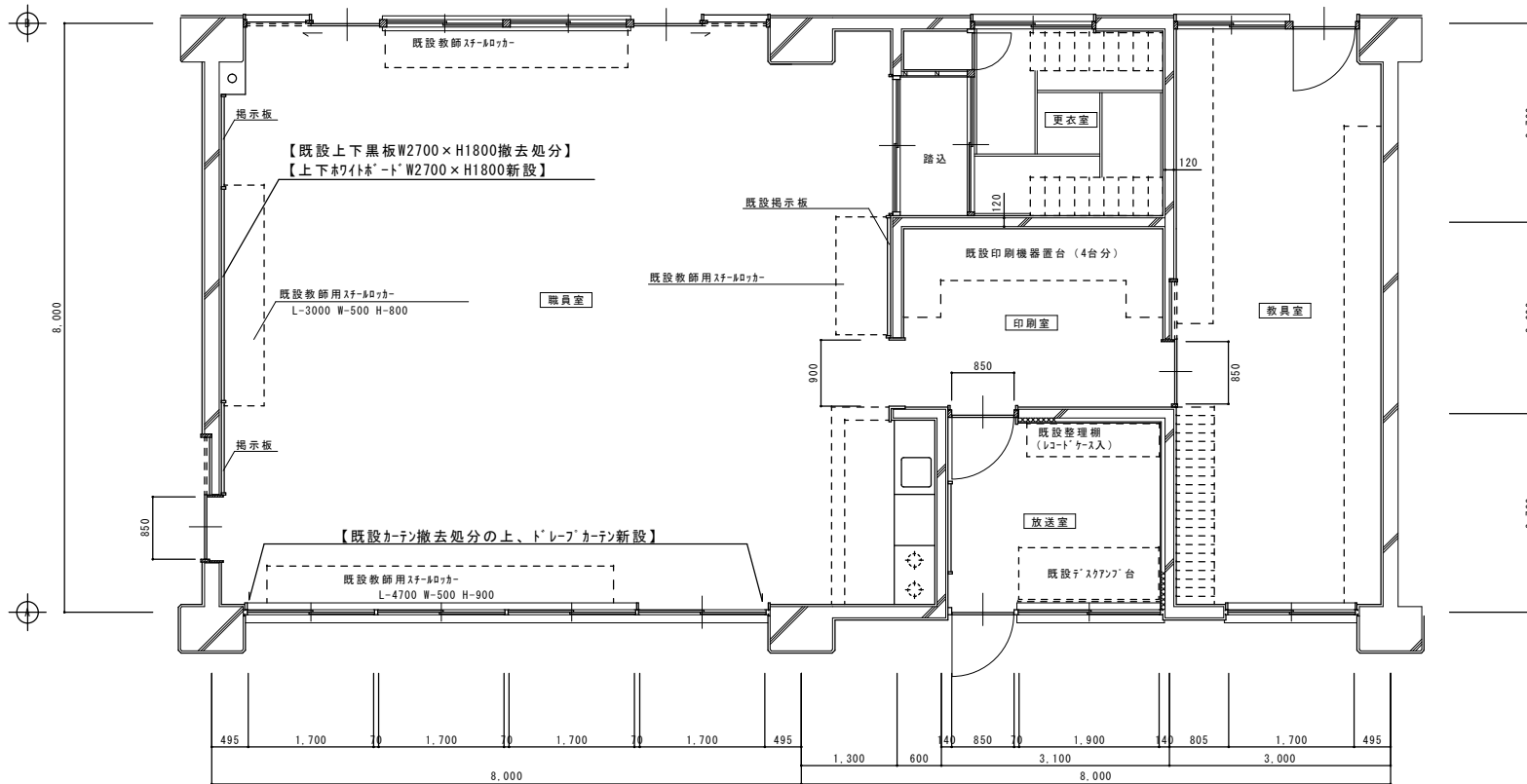
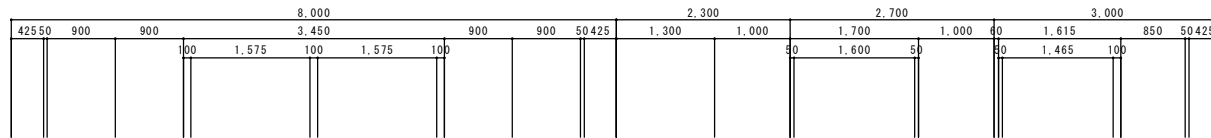


校長室平面詳細図(改修前) 1/50

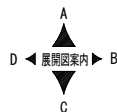


校長室平面詳細図(改修後) 1/50

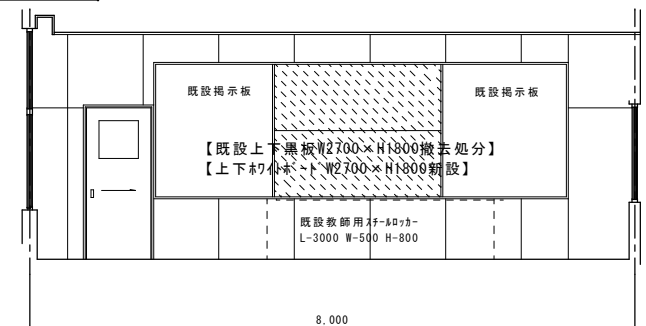
特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)			承認	検閲	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-34
	図面名称	(校舎) 校長室平面詳細図(改修前後)	縮尺	(A2) 1/50 (A3) 1/70	訂正年月日							



職員室・印刷室他平面詳細図 1/50

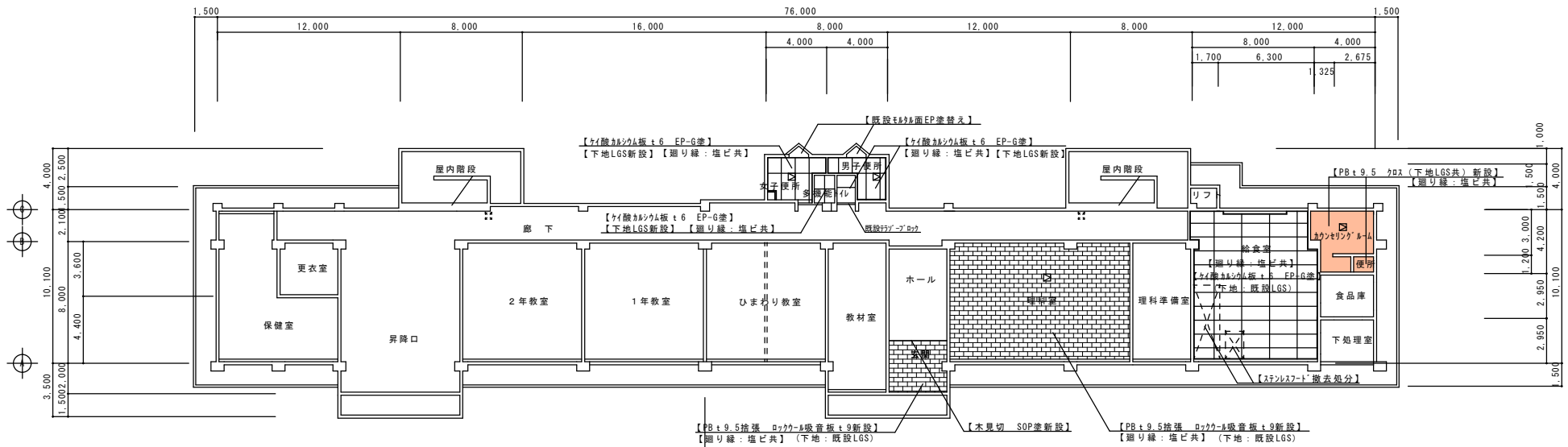


【新設上下ホワイトボード】
 月間予定表・年度児童数表示・児童欠席数表示
 引引き有
 ※具体的な引引きについては、
 現場にて監督員に確認後製作に掛かること。

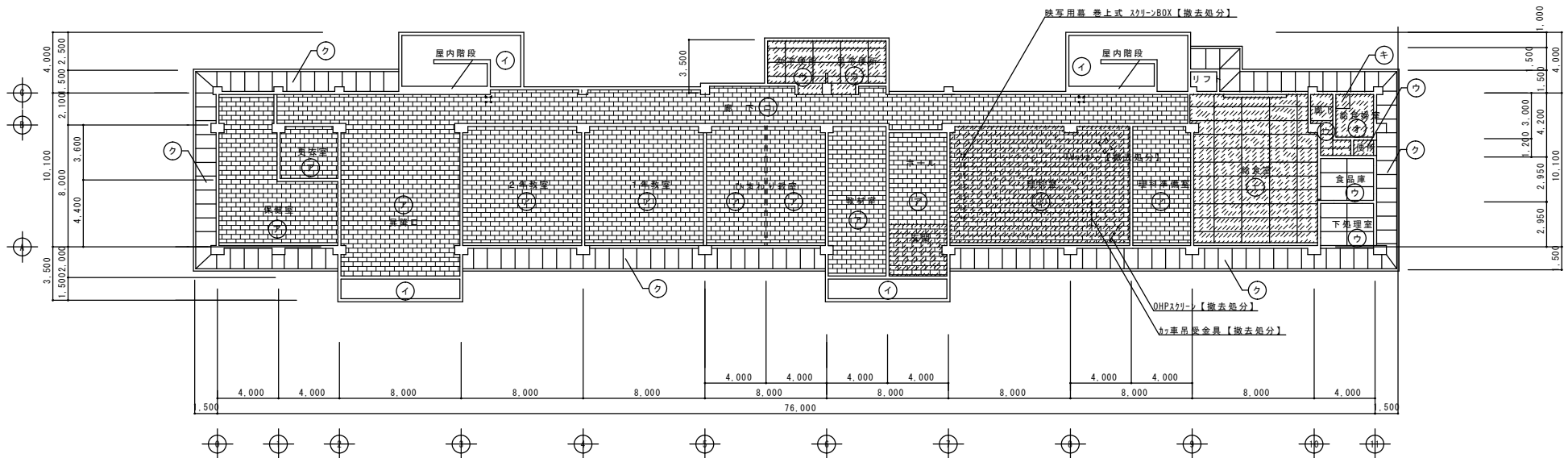


職員室展開図 1/50

特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)				承認	検閲	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-35
	図面名称	(校舍) 職員室他平面詳細図・展開図 (改修前後)	縮尺	(A2) 1/50 (A3) 1/70						訂正年月日			



【改修後】1階天井伏図 1/200

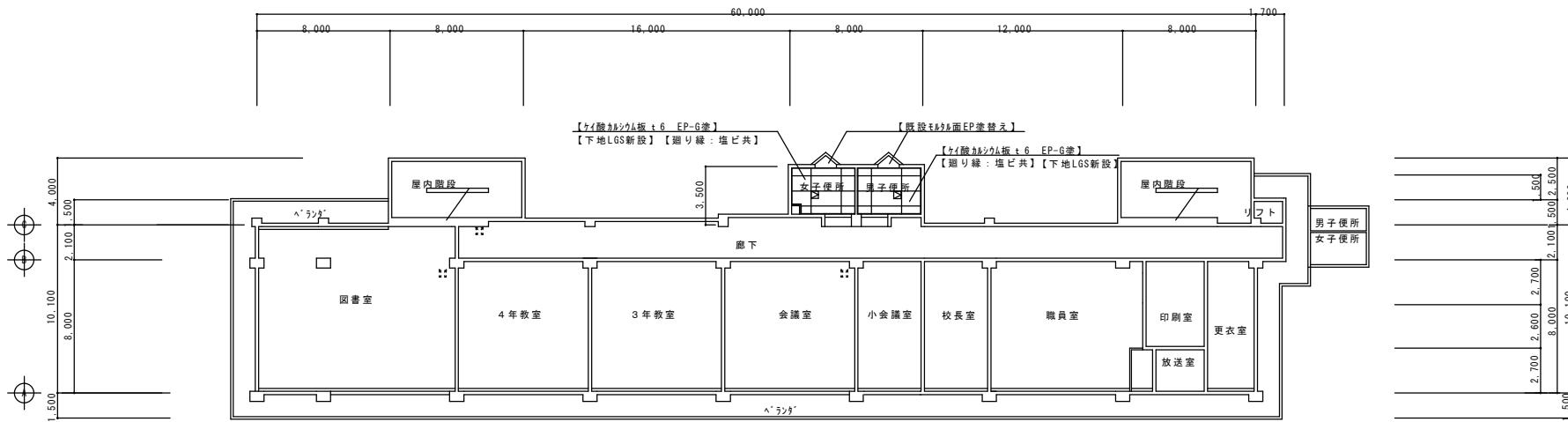


【改修前】1階天井伏図 1/200

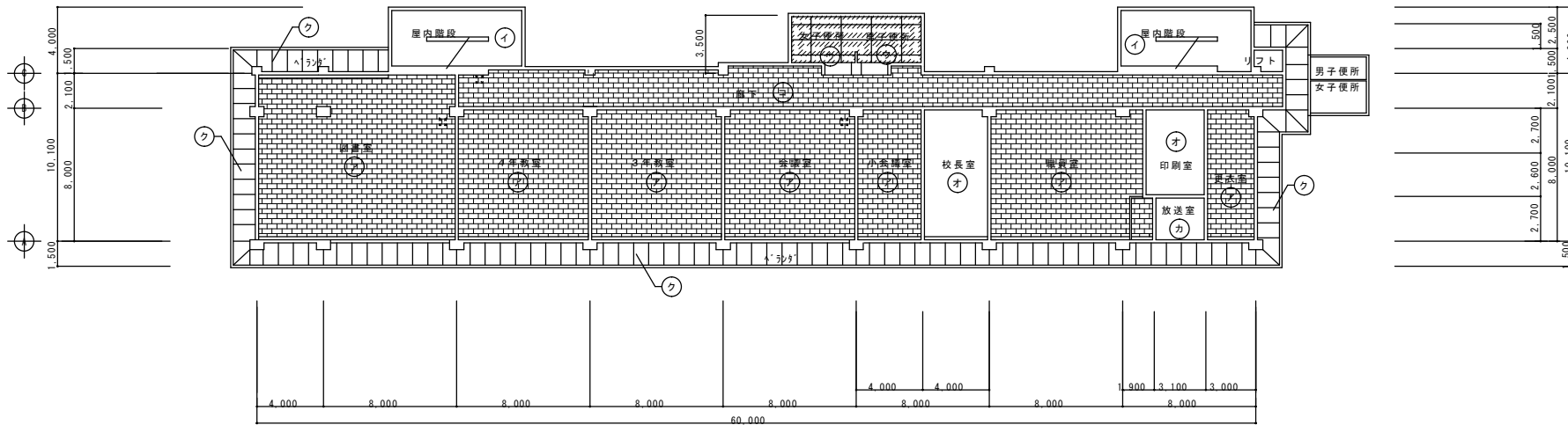
【既設天井仕上材及び廻り縁撤去処分範囲を示す。】

記号	既設仕上	記号	既設仕上	記号	既設仕上	記号	既設仕上
ア	PBt9捨張 ロックウール吸音板 (9'40-トン)	エ	大平板 t5 ムラト吹付	キ	耐水ペーパー t4	コ	化粧石膏ボード t9
イ	素水石かき落し	オ	耐水ペーパー t5 カド	ク	大平板 t5 VP塗 (各スパン1カ所有孔大平板)		
ウ	PBt=9 EP塗	カ	15mm-φ加工化粧ボード (吸音マックス)	ケ	木毛ボード t25	ク	【天井点検口450×450(1階 計5ヶ所)】 【開口補強共新設】

特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)			承認	後援	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-37
	図面名称	(校舎) 1階天井伏図 (改修前後)	縮尺	(A2) 1/200 (A3) 1/282					訂正年月日			



【改修後】2階天井伏図 1/200

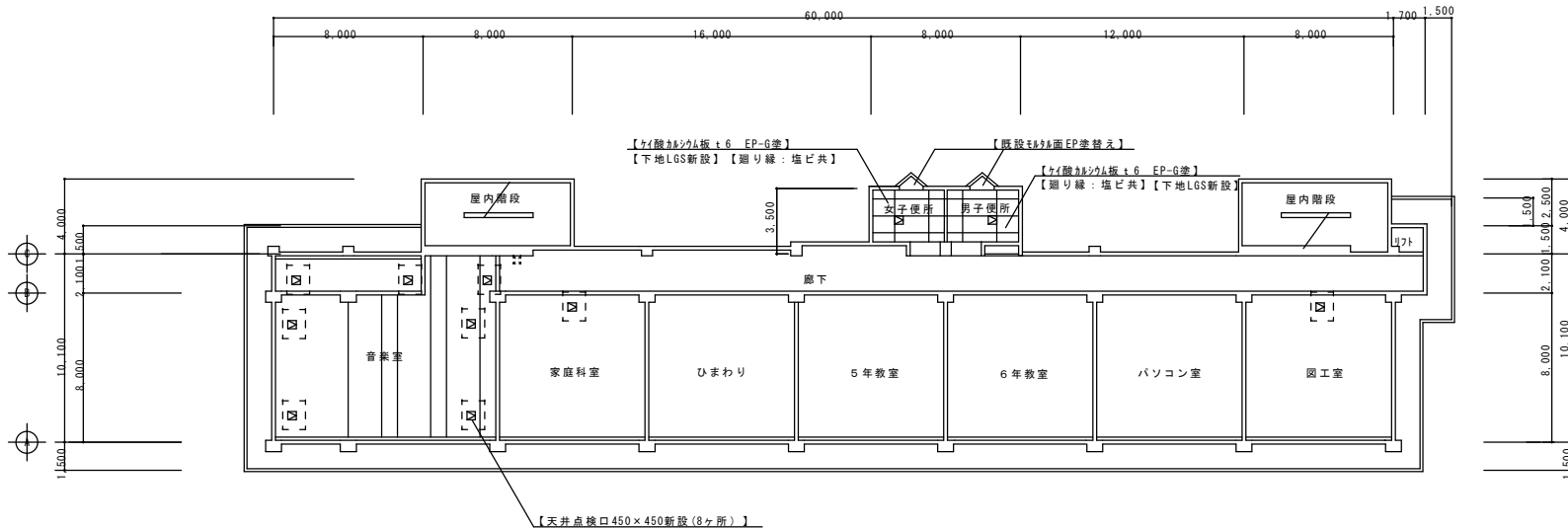


【改修前】2階天井伏図 1/200

【既設天井仕上材及び廻り縁撤去処分範囲を示す。】

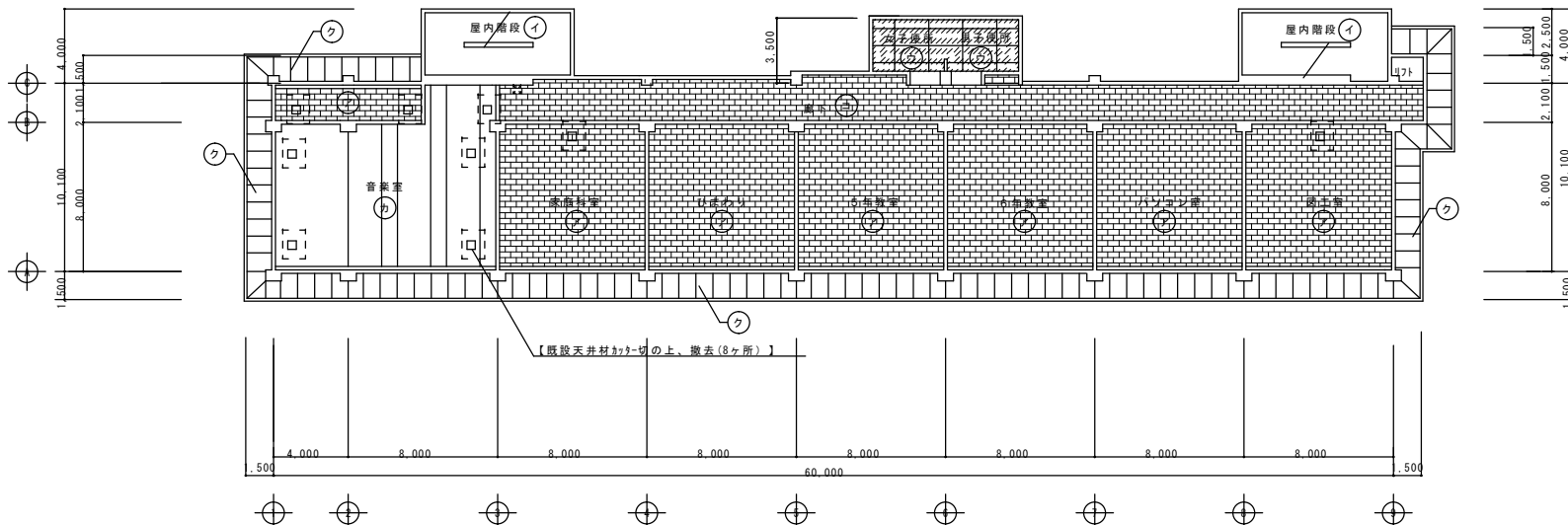
記号	既設仕上	記号	既設仕上	記号	既設仕上	記号	既設仕上
ア	PB t9 捨張 ロック&吸音板 (9'40-トン)	エ	大平板 t5 ヲト吹付	キ	耐水化粧板 t4	コ	化粧石膏板 t9
イ	素水石かき落し	オ	耐水化粧板 t5 カタ	ク	大平板 t5 VP塗 (各スパン1カ所有孔大平板)		
ウ	PB t9 EP塗	カ	トランシ加工化粧板 t' (吸音タイプ)	ケ	木毛化粧板 t25	ク	【天井点検口450×450(2階 計2ヶ所)】 【開口補強共新設】

特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)			承認	検閲	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-38
	図面名称	(校舎) 2階天井伏図(改修前後)	縮尺	(A2) 1/200 (A3) 1/282					訂正年月日			



(改修後) 3階天井伏図 1/200

(改修後) PH階天井伏図 1/200

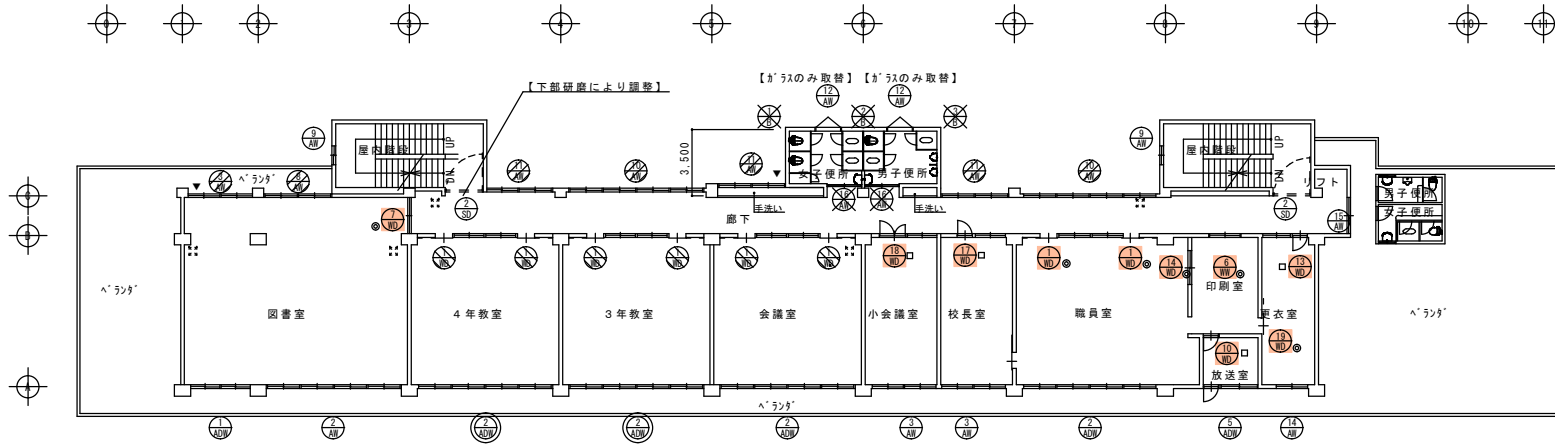


(改修前) 3階天井伏図 1/200

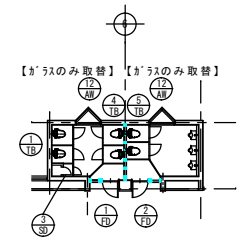
(改修前) PH階天井伏図 1/200

【既存天井仕上材及び廻り縁撤去処分範囲を示す。】

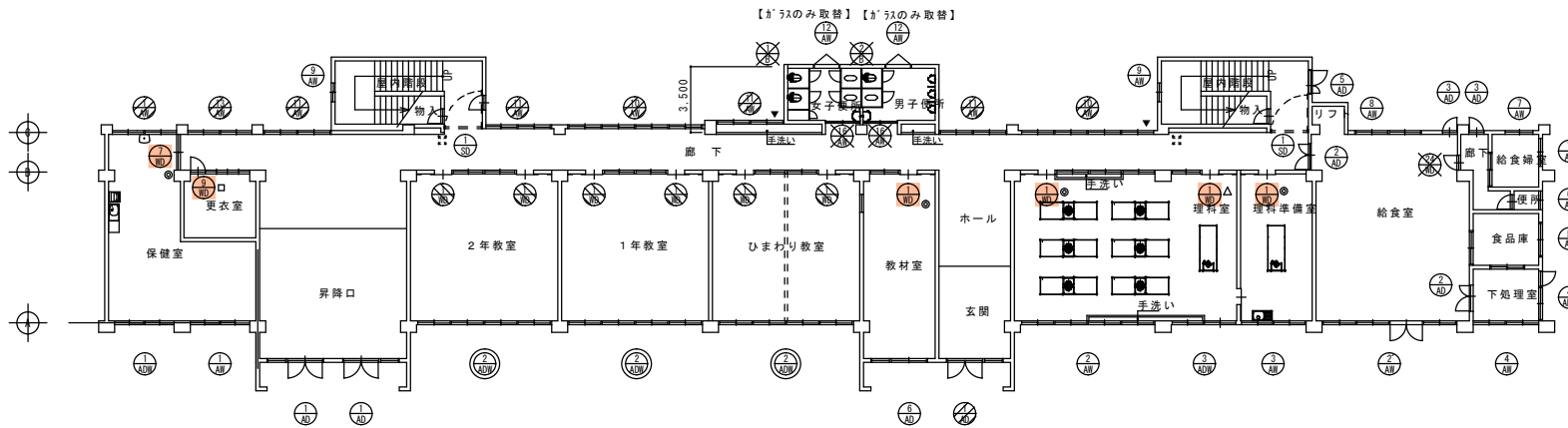
記号	既設仕上	記号	既設仕上	記号	既設仕上	記号	既設仕上
ア	PB t 9 捨張 ロックウール吸音板 (9'40-トン)	エ	大平板 t 5 ヲト吹付	キ	耐水ペーパー t 4	コ	化粧石膏ボード t 9
イ	素水石かき落し	オ	耐水ペーパー t 5 カド	ク	大平板 t 5 VP塗 (各スリカ所有孔大平板)		
ウ	PB t 9 EP塗	カ	15mm-2層加工化粧ボード (吸音タイプ)	ケ	木毛ボード t 25		
						ク	【天井点検口450×450(3階 計10ヶ所)】 【開口補強共新設】



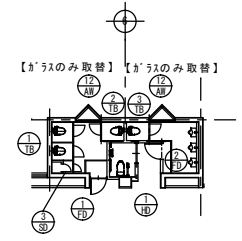
2階キープラン(既設改修) 1/200



2階キープラン(便所新設部) 1/200



1階キープラン(既設改修) 1/200



1階キープラン(便所新設部) 1/200

凡例 ※下記以外は特記による

- 既設7&ミツカン可動部のみ撤去処分(枠存置)の上、加へて工法にて7&ミツカン新設
- 網戸を新設する建具(段室の下段引違い窓部のみ) 既設&ミツカン撤去処分の上、ドレフ&ミツカン新設 (※&ミツカンの撤去及び新設については、会議室・職員室も含む)
- 撤去処分する建具
- 既設引戸錠撤去処分の上引戸錠新設(7&ミツカン)化する建具 ●一引戸錠に取替 △一加錠に取替 □一引戸錠に取替

▼ 空調設備冷媒配管員通部を示す。(ガスの代わりに7&ミツカン t 1.5を設置する。(建築工事)冷媒管の一時撤去復旧は機械設備工事)

特記	工事名称	依那古小学校統合改修工事 (建築主体工事)			承認	検閲	設計	製図	作図年月日	2022.01	図面No.	KA-40
	図面名称	(校舎) 1階・2階キープラン	縮尺	(A2) 1/200 (A3) 1/282					訂正年月日			

